

第2次地域福祉活動計画にともなう

平成25年度 住民座談会 報告書

1. 「地域の暮らしを話す会」実施報告

1-1. 「地域の暮らしを話す会」の実施方法 p 1

1-2. 「地域の暮らしを話す会」結果のまとめと考察 p 5

1-3. 「地域の暮らしを話す会」地区ごとの概要 p 9

2. 「ボランティアセンター座談会」実施報告 p 37

3. 「当事者団体座談会」実施報告 p 39

◆ 資料編（各回で出た意見） p 41

(1) 長坂地区 p 41

(2) 北中地区 p 48

(3) 日新地区 p 52

(4) 佐野台地区 p 57

(5) 中央地区 p 63

(6) 三小地区 p 67

(7) 二小地区 p 73

(8) 一小地区 p 78

(9) 末広地区 p 84

(10) 長滝地区 p 90

(11) 南中地区 p 95

(12) 日根野地区 p 101

(13) 上之郷地区 p 107

(14) 大土地区 p 112

(15) 身よりのない人の金銭管理について p 116

(16) ボランティアセンター座談会 p 134

(17) 当事者団体座談会 p 140

1. 「地域の暮らしを話す会」実施報告

1－1. 「地域の暮らしを話す会」の実施方法

第2次地域福祉計画・地域福祉活動計画の策定にあたり、地区福祉委員会活動の圏域にあわせた14地区において、住民のみなさんが集まって地域について話し合う場を設けさせていただきました。

8月から11月までの間で、14地区で各2回、合計28回開催し、のべ958人の参加をいただきました。

《議論のすすめかた：1回目》

4～10人程度のグループにわかれて、「地域のいいところ」「地域の課題や困りごと」「こんな地域になったらいいな」の3つのテーマについて、各自で思うことをふせんに書いていただきました。

ふせんをもとに、グループ内で意見交換を行い、意見の整理をしていただきました。最後に、各グループでの話し合いの結果を発表していただきました。

《議論のすすめかた：2回目》

4～8人程度のグループにわかれて、社協から提示した3つのテーマについて「1人1人で取り組むこと」「みんなで取り組むこと」を考えていただきました。話し合いのテーマについては、1日目に出たその地域の意見をもとに2つのテーマを決めました。

あわせて、グループ内ででた意見について、「すぐに取り組めそうなもの」には印をつけていただきました。

3つめのテーマについては、「認知症や知的障害、精神障害のある人の金銭管理や書類手続きの支援について、どのような方法が好ましいか」について、「各自が望ましいと思う選択肢」を最初に選んでいただきました。次に、グループごとで、それぞれの選択肢についての各自の意見を話し合ってもらい、テーブル内での議論の結果で、「テーブルとしての意見」をまとめていただきました。

最後に、各グループでの話し合いの結果を発表していただきました。

平成 25 年度「地域の暮らしを話す会」 開催状況

地区	回	日 時	場所	担当CSW	参加状況
長坂	①	9月17日 (火) 19:00	次世代育成交流センター	水平会	40 人
	②	11月26日 (火) 19:00	次世代育成交流センター	水平会	34 人
北中	①	8月31日 (土) 19:00	鶴原町会館	水平会	29 人
	②	10月26日 (土) 19:00	鶴原町会館	水平会	32 人
日新	①	8月24日 (土) 14:00	日新小学校	水平会	29 人
	②	11月16日 (土) 14:00	日新小学校	水平会	23 人
佐野台	①	8月25日 (日) 10:00	佐野台集会所	社協	27 人
	②	10月6日 (日) 10:00	佐野台集会所	社協	27 人
中央	①	9月22日 (日) 10:00	福祉センター	社協	20 人
	②	11月30日 (土) 10:00	福祉センター	社協	12 人
三小	①	8月4日 (日) 10:00	新町会館	泉ヶ丘園	41 人
	②	10月27日 (日) 10:00	新町会館	泉ヶ丘園	39 人
二小	①	8月22日 (木) 18:00	福祉センター	泉ヶ丘園	41 人
	②	9月19日 (木) 18:00	福祉センター	泉ヶ丘園	22 人
一小	①	9月1日 (日) 18:00	西本町会館	泉ヶ丘園	46 人
	②	10月25日 (金) 18:00	西本町会館	泉ヶ丘園	42 人
末広	①	9月11日 (水) 19:00	東羽倉崎南町集会所	泉ヶ丘園	52 人
	②	10月16日 (水) 19:00	東羽倉崎南町集会所	泉ヶ丘園	38 人
長滝	①	8月20日 (火) 19:30	長滝第一町内会館	常茂恵会	49 人
	②	10月30日 (水) 19:30	長滝第一町内会館	常茂恵会	41 人
南中	①	9月20日 (金) 19:00	南部市民交流センター	常茂恵会	44 人
	②	11月15日 (金) 19:00	南部市民交流センター	常茂恵会	37 人
日根野	①	9月10日 (火) 19:00	日根野中学校	常茂恵会	50 人
	②	11月5日 (火) 19:00	日根野中学校	常茂恵会	48 人
上之郷	①	9月20日 (金) 19:00	上之郷小学校	常茂恵会	21 人
	②	10月22日 (火) 19:00	上之郷小学校	常茂恵会	17 人
大土	①	9月6日 (金) 19:00	大木小学校	常茂恵会	35 人
	②	11月1日 (金) 19:00	大木小学校	常茂恵会	22 人
				のべ参加 人数	958 人

「地域の暮らしを話す会」第2回目の地区別トークテーマ

地区	トークテーマ
長坂	①若い世代が参加しやすい地域活動にするには ②子どもや高齢者が安心安全に暮らせる町にするには
北中	①地区福祉委員会、町会の活動を理解していただくためにはどうすればよいか ②住民同士つながりを増やすにはどうすればよいか
日新	①住民同士が気軽に交流できる町にするには ②子どもから高齢者まで、お互いに助け合う意識を高めるには
佐野台	①地域活動の担い手をどうたって確保するか（若いボランティアをどのように増やすか） ②交流の場をどのように増やすのか
中央	①地域活動に関心をもってもらうにはどうしたらよいか ②高齢者や子どもが住みよいまちにするためにどうすればよいか
三小	①若い人が増え、活気のある子育てしやすい町づくり ②長寿で健康な人が多く、明るい町づくり
二小	①いじめや虐待を防ぐ、孤立する人のない地域づくり ②地域活動の担い手（町会役員、民生委員、ボランティアなど）をどうやって確保するか
一小	①地域活動に若い世代が参加できるようにするには？ ②高齢者や障害者が安心して暮らせる町にするには？
末広	①住民同士つながりを増やすためにはどうすればよいか ②高齢者が安心して暮らせるようにするにはどうすればよいか
長滝	①若い人が地域活動に参加するためにはどうしたらよいか ②気軽に交流ができる場を増やすためにはどうしたらよいか
南中	①若い世代がずっと住み続けたいと思う町になるには ②誰もが安全に安心して暮らすにはどうしたら良いか
日根野	①新旧住民のつながりがある地域づくりのために、どうすればいいか ②より魅力ある町づくりのために、どうすればよいか
上之郷	①いつまでも地域で生活が続けられることができるようにするには ②世代間を通して交流でき、日常的に集える場を増やすには
大土	①若い人が住みやすい町をつくるには ②高齢者が住みやすい町をつくるには

地域の暮らしを話す会 討議テーマシート（2回目の全地区共通テーマ）

今回話し合っていたきたいテーマは・・・

親戚が遠方だったりすでに亡くなったりしていて、保証人になってくれる人がいない、認知症の1人暮らしの人、知的障害や精神障害のある人は、金銭管理や、入院・手術、施設入所などの様々な手続きが難しいことがあります。

社会の高齢化と単身世帯の増加によって、そのような人は今後、増えてくることが見込まれます。

そういった人たちの金銭管理や書類手続きを支援するときに、あなたなら、以下の方法のどの方法が好ましいと思いますか？

- ①所得に応じた報酬を支払い、弁護士や司法書士等の専門家に頼む
- ②所得に応じた報酬を支払い、複数の職員がいる社会福祉法人やNPO法人に頼む
- ③以前から知っている、友人に頼む
- ④研修を受けた、市民ボランティアの人に無償（もしくは低額）で頼む
- ⑤その他（自由にアイデアを出してください）

- ①や②については、報酬を支払えない人の分や法人の運営費を、税金や社会保険料で補う必要があるとしたら、どう考えますか？
- ③や④については、自分が頼まれたらどうするか・ボランティアになってもいいと思うか、などもあわせてかんがえてみてください。

正解はありませんので、みなさんのご意見をおきかせください

1-2. 地域の暮らしを話す会 まとめと考察

地域の暮らしを話す会でよく出た地域の強みと課題

市内全域 14 地区で各 2 回ずつ行われた「地域の暮らしを話す会」では、各地区の“いいところ”“課題”“こんな地域になったらいいな”“地域ごとにあわせた取り組み”について話しあっていただきました。

地域の強みとしては、「住民同士の仲が良い」「住みやすい」「災害の経験が少ない」といった意見、地域の課題としては、「地域活動に関わる人の高齢化」「役員のなり手がいない」「ゴミ捨てや動物のフンのマナーが悪い」「交通マナーが悪い」「コミュニケーションの稀薄化」「移動が不便（通院や買い物が不便）」「空き地や空き家の増加による治安の低下」などの意見が挙げられていました。

ゴミ捨てや動物のフンの問題は、ともすれば地域の福祉活動と関係ないようにみえますが、背景には、地域間のコミュニケーションの稀薄化による規範意識や地域への愛着の低下があり、社会的要援護者の孤立や地域社会の高齢化と同じ課題があるのではないか、という意見がありました。

“誰でも”参加できる“気軽な”“日常的な”交流の機会が求められている

高齢者や子どもが住みやすい町づくり、支え合いの町づくりをすすめるための取り組み、いずれのテーマにおいても、“誰でも気軽に利用できる”場所を求める声、多様な世代の人が参加できる活動のアイデアがたくさん出されていました。

これは、日常的な交流があることが、「地域の活動を知ってもらうこと」につながり、そのことが「ボランティアの増加」につながる、という参加者の理解が背景にあります。

そして、日常的な交流があり、住民同士が顔見知りの地域であることが、防犯や防災上、マナーの向上にもつながると考えられるからです。

誰でも参加できる活動として、世代を問わず楽しめる活動、防災に関する活動を切り口にしてはどうか、というなかで、具体的にたくさんのアイデアが挙げられていました。

町会館や空き家を交流拠点に

泉佐野市内の町会館は、地域活動拠点として様々な活動の場として活用されていますが、建設の経緯から、町会の圏域の中心部からは少し離れたところにあるものが多く、子どもや高齢者には利用しにくいという指摘もありました。その中で、防犯上の課題でもある空き家を喫茶など、地域の交流拠点として活用できないか、というアイデアが複数の地域で挙げられていました。

交流の基本はあいさつから

地域の住民同士が顔見知りになるには、まずはあいさつが大事、という声が大きかったです。特に、子どもの登下校の見守り・あいさつ活動に取り組んでいる地域では、子どもとボランティアの関係性ができており、子どものマナーや意識も向上してきている手ごたえを感じている、という声もありました。



実際に参加者から挙げられた交流のアイデアの例（資料参照）

《みんなが参加できる活動のアイデア》

- ・防災訓練 ・町内清掃 ・ゲーム大会 ・ボウリング大会
- ・ハイキング ・運動会 ・スポーツ大会 ・ラジオ体操
- ・歩く会 ・ゲートボール ・グランドゴルフ ・ディスコン
- ・バザー ・フリーマーケット ・野菜販売 ・移動スーパー ・朝市
- ・カラオケ大会 ・囲碁 ・将棋 ・花づくり/野菜づくり（園芸）
- ・ものづくり ・手芸をする場 ・おしゃべり会 ・井戸端会議 ・ミニ集会
- ・お茶のみ会 ・飲み会 ・昼食会
- ・バーベキュー大会 ・たこ焼き ・豚汁 ・ぜんざい ・からあげ
- ・盆踊り ・だんじり祭り ・ハロウィン ・クリスマス会 ・お月見
- ・花見会 ・餅つき大会やシメナワづくり ・夕涼み会 ・枕祭り
- ・バスツアー ・地区対抗で競う ・社交ダンス ・各種サークル

《子どもを通じた地域の交流促進》

- ・登下校の見守りや挨拶活動 ・会館で宿題の手伝い ・親子料理教室
- ・子どもだんじり ・羊を飼う

《地域の交流拠点として活用》

- ・集会所や空き教室の開放 ・お寺や神社に気軽に入れるように
- ・スーパーや公園にベンチを置いて気軽に話せるように
- ・地域に喫茶店や居酒屋、雑貨店をつくる ・足湯 ・マッサージ
- ・運動ができる場所 ・コンビニ ・空き家を地域の拠点に



金銭管理は、信頼が大切であり、公的な支援が求められている

各地区で2回目に行った地域の暮らしを話す会では、地区の状況に合わせた課題に対する取り組みについて話し合った他に、「成年後見制度の担い手を誰に担ってほしいか」について住民のみなさんの意見をきかせていただきました。

これまで支援者側の視点から議論がされることが多かった成年後見制度の担い手について、住民視点で、多様な意見をいただきました。いずれの地域でも、参加者は、要援護者の負担能力や、後見人の信頼性を中心に、様々な意見が話し合われました。

法人後見による複数の人員で金銭管理することへの信頼感をあげる意見、専門職後見による専門性の発揮への期待をあげる意見が多くありました。一方、ボランティアが金銭管理をになうことについては、理解を示す意見とともに、金銭管理を市民が担うことへの不安や支援体制を求める声もあがりました。また、収入の多寡で権利擁護のための制度が利用できないことのないように、公費による支援を求める声も多くありました。

1－3.「地域の暮らしを話す会」地区ごとの概要

地域の暮らしを話す会 in 長坂地区の概要

第1回 日時：平成25年9月17日（火）午後7時00分～9時00分

参加人数：40人

（新泉ヶ丘町1、泉ヶ丘町10、下瓦屋南町7、鶴原北住宅2、貝田町7、新家町6、鶴原東町1、見出住宅4、泉佐野鶴原住宅2）

（町会・福祉委員会関係者40人、福祉施設関係者0人、その他0人）

第2回 日時：平成25年11月26日（火）午後7時00分～9時00分

参加人数：34人

（新泉ヶ丘町1、泉ヶ丘町7、下瓦屋南町6、鶴原北住宅1、貝田町4、新家町7、鶴原東町2、見出住宅4、泉佐野鶴原住宅2）

（町会・福祉委員会関係者34人、その他0人）

長坂地区の主な意見

地域のいいところ

- 元気な高齢者が多い
- 駅、スーパー、病院が近く便利
- 静かできれいな町

地域の困りごと・課題

- 犬のフンの放置が多く、マナーが悪い
- 少子高齢化
- 役員のなり手がいない
- 若い人の参加が少ない
- 坂道が多い
- 道が狭く、信号も少ない
- コミュニケーション不足

こんな地域になったらいいな

- 若い世代の活発な活動参加
- 人にやさしい安心安全な明るいまち
- 防災に強い町作り
- 子どもの遊び場、広い公園がほしい
- あいさつが交わされる町



こんな取り組みが必要

①若い世代が参加しやすい地域活動にするには

- 若い世代に積極的に呼び掛ける
- 若い人の意見をきく機会をつくる
- 同年代が企画運営をする
- 若い人たちや家族ぐるみで参加できる催しの開催
- 子どもを預かるシステムなど、若い人の空き時間を増やす

②子どもや高齢者が安心安全に暮らせる街にするには

- 挨拶や声かけを活発にする
- 呼びかけを多くして集まるようにする（ラジオ体操など）
- 登下校時の見守り・交通事故防止に取り組む
- 街灯の充実
- 遊ぶ場所を増やす
- 防災・防犯活動にとりくむ

地域の暮らしを話す会 in 北中地区の概要

- 第1回 日時：平成25年8月31日（土）19時00分～21時00分
参加人数：29人（中央住宅9、下瓦屋7、鶴原13）
（町会・福祉委員会関係者28人、福祉施設関係者1人、その他0人）
- 第2回 日時：平成25年10月26日（土）19時00分～21時00分
参加人数：32人（中央住宅9、下瓦屋7、鶴原13）
（地区福祉委員会25人、その他7人）

北中地区の主な意見

地域のいいところ

- 地域住民同士の仲が良い・あいさつが多い
- 親切な人・思いやりがある人が多い、福祉活動に熱心な人が多い
- 災害が少ない気候・風土
- 駅、スーパー、病院が近く生活が便利である
- 元気な人が多い

地域の困りごと・課題

- ゴミ捨てのマナーが悪い
- 交通マナーが悪い
- 動物（犬、猫）の糞が多い
- 高齢者が多く、若者が少ない
- 道が狭くて、夜道が暗い
- 無関心で協調性が無い
- 災害時、不安が大きい
- 養成

こんな地域になったらいいな

- 若い人が増えてほしい。若者が残る町づくり
- 駅を改善してほしい
- 安全な町になってほしい
- 娯楽施設、無料のサービスを増やしてほしい
- きれいな町になってほしい
- 住民同士つながりのある町になってほしい
- 活気ある町になってほしい



こんな取り組みが必要

① 地区福祉委員会、町会の活動を理解していただくためにはどうすればよいか

- 近所の人を誘って参加する
- 町会の新聞発行
- 集まりやすい活動をする
- 定期的にメンバーを交替して、多くの人が経験できる体制をつくる

② 住民同士のつながりを増やすためにはどうすればよいか

- 地域の行事がある時は近所、友達に声をかける
- まず名前を知り、名前呼び合うことで親しみを覚える。
- 集会所を開放してコミュニケーションをとる
- 趣味を生かしたサークル活動を増やす

地域の暮らしを話す会 in 日新地区の概要

- 第1回 日時：平成25年8月24日（土）午後2時00分～4時00分
参加人数：29人（中庄8、上瓦屋10、湊4、泉陽ヶ丘7）
（町会・福祉委員会関係者27人、福祉施設関係者2人、その他0人）
- 第2回 日時：平成25年11月16日（土）午後2時00分～4時00分
参加人数：23人（中庄8、上瓦屋2、湊6、泉陽ヶ丘7）
（町会・福祉委員会関係者21人、福祉施設関係者2人）

日新地区の主な意見

地域のいいところ

- 静かで緑が多く暮らしやすい環境
- 夜が明るく事件・事故が少ない
- あいさつが多く協力的でまとまりがある
- 長く住んでいる人が多く、近隣住民の仲が良い
- 親切で優しく、人情味のある人が多い
- 小学校、神社や高齢者施設があり、施設・建物が充実している
- 祭り・行事が活発
- 健康・生活を意識している人が多い

地域の困りごと・課題

- ゴミや動物の糞などのマナーが悪い
- 高齢化が進み子どもが少ない
- 転入者との問題
- コミュニケーションの希薄化
- 不法駐車や通り抜けをする人がおり、また道が狭く危険で不便
- 駅や学校が遠く、お店も減ってきており環境が不便

こんな地域になったらいいな

- 安心、安全な町
- 明るくみんながあいさつ出来る町
- 自然豊かできれいで明るい町
- 繋がりが強く連帯感のある町
- 住民同士が交流できる場が活発にある町
- 世代間交流の出来る町



こんな取り組みが必要

①住民同士が気軽に交流えきる町にするには

- 挨拶を積極的に行い、進んで人の輪に入っていく
- 会館をもっと活用する
- 親睦会や行事の開催
- 自治会組織の強化
- 世代間交流の促進
- 気軽に集まりやすい場の設定（喫茶など）
- 伝統行事の強化と見直し

②子どもから高齢者まで、お互いに助け合う意識を高めるには

- 自分から積極的にあいさつや話しかけることを心がける
- 自治会行事や活動に子どもに参加してもらう
- 交流の機会を持ち、人間関係を深める
- 子どもの意見を取り入れる
- 大人、子どもが意見交換できる機会をつくる
- 世代を越えて交流できる機会をつくる
- 団体間での連携を行う

地域の暮らしを話す会 in 佐野台地区の概要

第1回 日時：平成25年8月25日（日）

参加人数：27人（町会・福祉委員会関係者27人）

（佐野台町11人、東佐野台4人、西佐野台5人、南泉ヶ丘7人）

第2回 日時：平成25年10月6日（日）

参加人数：27人（町会・福祉委員会関係者27人）

（佐野台10人、東佐野台3人、西佐野台5人、南泉ヶ丘9人）

佐野台地区の主な意見

地域のいいところ

- 人間関係が良く、地域内での交流もできている
- 静かであったり、にぎやかであったりだが、住みやすいと感じている
- 駅に近く、医療機関もあり、便利である

地域の困りごと・課題

- 高齢化が進み、子どもが少ない
- 気軽に集える場所がない
- ゴミや犬の糞など、マナーが悪い
- 坂道が多く、町によっては商店が遠く買い物が不便
- 地域に公園が少なく、子どもが安心して遊べる場所が少ない
- 新しいボランティアがなかなか入らず、新旧交代できない

こんな地域になったらいいな

- あいさつ、笑顔のある町
- 元気な子どもの声のする町
- 高齢者に生きがいを与えられる町
- 声をかけあって励ましあって生きる町
- 活力のある町
- 会館だけでなく、気軽に集えるたまり場が欲しい
- 住民同士の交流がもっと盛んになって欲しい



こんな取り組みが必要

①地域活動の担い手をどのように確保するか

(若いボランティアをどのように増やすか)

- 日頃からコミュニケーションをとり合って親しくしておく
- 学校（PTA など）の行事などに参加し、親子を知る
- 若い方（60歳前後）に声をかける
- 地域福祉やボランティアの必要性を理解してもらえよう話をする
ことが大切である
- 福祉委員会の運営の透明化する

②交流の場をどのように増やすのか

- 町会館・集会所を開放し、利用する機会を増やす
- 空き家をコミュニティの場にする（小さな交流の場を増やす）
- 小学校の空き教室を利用させてもらう
- サークルやグループの数を増やす（得意なことを一緒にする）
- ゲーム大会（世代間交流）の場を増やす
- コミュニティバスの回数（土日など）を増やし、行事に参加しやすく
してほしい

地域の暮らしを話す会 in 中央地区の概要

第1回 日時：平成25年9月22日（日）午前10時00分～12時00分

参加人数：20人

（市場町7、中町4、葵町2、松風台3、幸町3、日根野西1）

（町会・福祉委員会関係者20人、福祉施設関係者0人、その他0人）

第2回 日時：平成25年11月30日（土）午前10時00分～12時00分

参加人数：12人（市場町6、中町2、松風台4）

（町会・地区福祉委員会 12人、その他 0人）

中央地区の主な意見

地域のいいところ

- 人間関係が良い
- 公共施設や病院等が近く便利
- 災害が少ない
- まとまりがあり地域活動に取り組んでいる

地域の困りごと・課題

- ゴミだしのマナーや動物のフン害
- 不法駐車が多い
- 地域活動の担い手不足
- 高齢化しており若者が少ない
- 町会加入者が減少している

こんな地域になったらいいな

- 助け合えるまち
- 集える場のあるまち
- 担い手のあるまち
- 高齢者が住みよいまち
- 子どもが住みよいまち



こんな取り組みが必要

①地域活動に関心をもってもらうにはどうしたらよいか

- 各役員の仕事内容をよく確認し合い、負担が平等になるようにする
- みんなで一緒に楽しめる活動を行う
- 情報を伝える（回覧板や広報紙の活用）

②高齢者や子どもがすみよい町にするためにどうすればよいか

- あいさつ・声かけ運動
- 各自が家にこもらないようにする
- 町民全体の交流、茶話会で互いに知り合う
- 交流会を長生会・子ども会一緒にする
- 車歩道の分離と段差解消

地域の暮らしを話す会 in 三小地区の概要

第1回 日時：平成25年8月4日（日）午前10時00分～12時00分

参加人数：41人（新町14、春日町12、旭町15）

（町会・福祉委員会関係者37人、福祉施設関係者1人、その他3人）

第2回 日時：平成25年10月27日（日）午前10時00分～12時00分

参加人数：39人（新町13、春日町11、旭町15）

（町会・福祉委員会関係者35人、その他4人）

三小地区の主な意見

地域のいいところ

- 地域住民同士の仲が良い・あいさつが多い
- 親切な人・思いやりのある人が多い
- 団結力がある
- 災害が少ない気候・風土である
- 駅・空港・幹線道路に近く、郵便局もあり、生活が便利である
- 静かで住みやすい

地域の困りごと・課題

- ゴミ捨てのマナーが悪い
- 動物（犬、猫、カラス、鳩）の糞が多い
- 野良猫やカラスが多い
- 犬やカラスの鳴き声がうるさい
- 空き地が増えてきている
- 高齢者が多く、若者が少ない
- 道が狭くて不便である
- 災害が起こった時のことが不安

こんな地域になったらいいな

- 若い人が増えてほしい。若い人が住みやすい町になってほしい。
- 安全な町になってほしい。
- きれいな町になってほしい。
- 買い物しやすい町になってほしい。
- 健康な人の多い町になってほしい。
- 住民同士のつながりのある町になってほしい。
- みんなで協力して共に楽しく出来たらいい。
- 活気のある町になってほしい。



こんな取り組みが必要

①若い人が増え、活気のある子育てしやすい町づくり

- 子育て中の世代、新しく引っ越してきた家に積極的に声をかけ、親しくなっていく
- 安全な町づくりをすすめる（門灯をつける呼びかけ運動など）
- 空き家・空き地を活用し、若い世代が住めるようにする
- 道路を含めた区画整理
- 子ども会やサロン、青年団などの充実
- 商店街の活性化
- 若い人が地元で働けるようにする（保育園や就労場所の充実）
- 防災活動に中高生をひきこむ

②長寿で健康な人が多く、明るい町づくり

- 健康に気を使う。介護予防に取り組む
- 色々な行事や交流の機会に参加する
- いきいきサロンなど交流する機会の充実（回数増加や参加者の拡大）
- いつでも集まって話できる場所をつくる。お茶会など。
- 足の悪い人でも歩けるように道を整備

地域の暮らしを話す会 in 二小地区の概要

第1回 日時：平成25年8月22日（木）18時00分～20時00分

参加人数：41人（栄町5、上町4、大西町2、若宮町0、大宮町6、
高松東6、高松西11、高松南3、高松北4、）

（町会・福祉委員会関係者38人、福祉施設関係者2人、その他1人）

第2回 日時：平成25年9月19日（木）18時00分～20時00分

参加人数：22人（地区福祉委員会21人、その他1人）

二小地区での主な意見

地域のいいところ

- 駅が近く、商店や医療機関などが多く、何をするにも生活がしやすい
- 静かで落ち着いている
- 地域内での近所づきあい・交流がある

地域の困りごと・課題

- 高齢化が進み子どもが少ない
- 地域内での交流に乏しく家庭の状況が把握しにくい
- 町会の役員や、民生委員、ボランティアになってくれる人がいない
- ゴミや動物の糞などのマナーが悪い
- 車の交通量が多い（危険、騒音、埃、排気ガスなど）
- 治安面で不安がある

こんな地域になったらいいな

- いじめや虐待のない町
- あいさつ、声かけができる町
- 住民同士の交流が増えてほしい
- 互いに思いやりあえる関係がある町
- 町会の加入率上昇
- 街灯が明るく、安全な町
- 清潔できれいな町
- 店舗の発展、人通りの多い町



こんな取り組みが必要

①いじめや虐待を防ぐ、孤立する人のない地域づくり

- 声かけや挨拶を積極的にかわす
- 町会・子ども会の加入率アップ（世帯を把握しやすくなる）
- 地域の行事や交流会を増やす・参加率をあげる
（子どもと高齢者の交流会、祭り、清掃、防災をキーワードに集まる、など）
- 地域や行政の情報交換を図り、気軽に相談・通報できるようにする
- 家庭や学校での教育

②地域活動の担い手（町会役員、民生委員、ボランティアなど）をどうやって確保するか

- 町会や地域活動の意義を知ってもらう
- 仕事を特定の人に集中させずに分担して、1人当たりの負担を減らす
- 他の人たちも役員に協力する
- 直接、繰り返し依頼する

地域の暮らしを話す会 in 一小地区の概要

第1回 日時：平成25年9月1日（日）午後6時00分～8時00分

参加人数：46人

（笠松町6人、西本町8人、野出町6人、元町5人

本町5人、松原町4人、松原団地住宅5人、羽倉崎7人）

（町会・福祉委員会関係者43人、福祉施設関係者3人、その他0人）

第2回 日時：平成25年10月25日（金）午後6時00分～8時00分

参加人数：42人

（笠松町6人、西本町5人、野出町4人、元町4人

本町3人、松原町5人、松原団地住宅6人、羽倉崎9人）

（地区福祉委員会42人、その他 0人）

一小地区での主な意見

地域のいいところ

- 生活が便利である（空港、駅、病院、スーパーなどが近い）
- 地域住民同士の関係性がよい
- 地域の行事やイベントを通じたつながりがある
- 人柄のよい人がいる

地域の困りごと・課題

- ペットの飼い主のマナーが悪い、ゴミ問題、動物に関する害など
- 高齢化と若者の減少
- 道路が細い・でこぼこ
- 空き地や空き家の増加
- 空き巣や暴走族など、治安面の悪化

こんな地域になったらいいな

- 若い人が増えてほしい
- みんなで（ゴミや側溝など）地域の美化にとりくんでほしい
- 住民同士のつながりがある地域
- 環境面が充実してほしい



こんな取り組みが必要

①地域活動に若い世代が参加できるようにするには？

- 町会への参加を呼び掛ける
- 若い世代の意見が通りやすくする
- 若い世代向けや親子で楽しめるような行事を行う（料理教室、街コンなど）
- すべての世代が楽しめるような行事を行う（餅つき、夕涼み回、ボウリング、カラオケなど）
- 地域に若い人に住んでもらう

②高齢者や障害者が安心して暮らせる町にするには？

- 近隣の見守りや声かけ
- 買い物支援の充実
- 移動支援の充実。交通の安全の確保
- ゴミ出しなど、生活する上での支援
- ボランティアの増加
- 集まる場所や機会を増やす。そこに参加してもらう。
- 災害への備えをする
- 防犯の取り組みを地域でおこなう

地域の暮らしを話す会 in 末広地区の概要

第1回 日時：平成25年9月11日（日）午後7時00分～9時00分

参加人数： 52人

（新安松13、東羽倉崎南町7、羽倉崎上町6、長滝第一住宅5、
東羽倉崎自治会14、東羽倉崎7）

（町会・福祉委員会関係者47人、福祉施設関係者2、その他3人）

第2回 日時：平成25年10月16日（水）

参加人数： 38人

（新安松9、東羽倉崎南町3、羽倉崎上町4、長滝第一住宅3、東羽倉崎自治会10、
東羽倉崎9）

（町会・福祉委員会関係者38人）

末広地区の主な意見

地域のいいところ

- 地域住民同士の仲が良い・あいさつが多い
- 親切な人・思いやりのある人が多い
- 元気な人が多い
- 地域の活動が活発である（子どもの見守り、体操など）

地域の困りごと・課題

- ゴミ捨てのマナーが悪い ○動物（犬、猫、カラス、鳩）の糞が多い
- ペットの飼い主のマナーが悪い
- 車、自転車のマナーが悪い
- 高齢者が多く、若者が少ない
- 道が狭い、暗い、危ない ○災害対策ができていない

こんな地域になったらいいな

- 若い人が増えてほしい。若い人が住みやすい町になってほしい。
- 高齢者が元気に過ごせるまちになってほしい
- きれいな町になってほしい。○風通しの良い町へ
- マナーを守れる町へ
- 住民同士のつながりのある町になってほしい。
- 町の活動の活発化
- 防犯、防災の整備をしてほしい



こんな取り組みが必要

① 住民同士つながりを増やすためにはどうすればよいか

- あいさつや、声かけをおこなう
- 学校行事や、町内行事に参加しコミュニケーションを図る
- 優しい心をもち、何事も自分に置き換えて行動する
- 皆で参加できる行事や、町内のイベントを増やし、終了後も交流会を開く
- 町会が住民の声を聞く機会をもつ

② 高齢者が安心して暮らせるようにするにはどうすればよいか

- 不安を持った高齢者や、一人暮らし高齢者に声をかけ、相談相手となる
- 隣近所に住んでいる高齢者に声をかけ、買物の支援をおこなう
- 相手の立場に立ち、高齢者が相談しやすいような雰囲気づくりに努める
- 介護予防を充実させ、介護保険制度（ヘルパーやデイ）を知っていただくようにする
- もし倒れた時にすぐ連絡できるような情報など、高齢者に優しい情報の共有を行う
- （仮称）お年寄り 110 番を立ち上げる

地域の暮らしを話す会 in 長滝地区の概要

- 第1回 日時：平成25年8月20日（火）午後7時30分～9時00分
参加人数：49人（東の番17、中の番11、西の番16、長滝住宅5）
（町会・福祉委員会関係者46人、福祉施設関係者3人、その他0人）
- 第2回 日時：平成25年10月30日（水）午後7時30分～9時00分
参加人数：41人（東の番13、中の番7、西の番14、長滝住宅7）
（町会・地区福祉委員会 39人、福祉施設関係者2人、その他0人）

長滝地区の主な意見

地域のいいところ

- 親しみやすい良い人が多い
- ご近所づきあいが深い
- 祭りを通して昔ながらの地域の団結力があり、地域活動が活発
- 災害が少なくおだやかな環境

地域の困りごと・課題

- ゴミや犬のフンのマナーが悪い人がいる
- 地域活動の担い手不足
- 新しく入ってきた人との関係が薄い
- 若者や子どもが減り、少子高齢化がすすんでいる
- 災害時の対応

こんな地域になったらいいな

- 若い人（新しく入ってきた人）も地域と交流できる
- 気軽にあつまることのできる場がある
- 近隣で助け合えるまち
- マナーを守ってきれいなまち
- 子どもが安心して遊べるまち
- 道が広く交通の便のよいまち
- 活気があるまち



こんな取り組みが必要

①若い人が地域活動に参加するためにはどうしたらよいか

- 若い人と話し合う機会をつくる
- 活動内容を知ってもらう
- 若い人の集まりやすい時間とリーダーを考える
- 地域活動・イベントを増やし、活動内容を知ってもらう
- 若い人が本当に喜ぶ内容・参加しやすい雰囲気にする
- メリットがあることを知ってもらう

②気軽に交流ができる場を増やすためにはどうしたらよいか

- 町会館やお寺に気軽に集まれるようにする。常設の交流スペースをつくる。
- 交流の場に託児スペースを設ける
- ペットと一緒に交流できる場所をつくる
- バザーや朝市を行う
- 安全な公園や遊び場所をもうける

地域の暮らしを話す会 in 南中地区の概要

- 第1回 日時：平成25年9月20日（金）午後19時00分～21時00分
参加人数：43人（安松8、岡本10、樫井西11、樫井東14）
（町会・福祉委員会関係者43人、福祉施設関係者0人、その他0人）
- 第2回 日時：平成25年11月15日（金）
参加人数：37人（安松10、岡本10、樫井西7、樫井東10）
（町会・福祉委員会関係者37人）

南中地区の主な意見

地域のいいところ

- 静かな町でがやがやしていない
- 災害が少なく災害に強い町
- 地区内のまとまりが良く、地区全体が仲が良い
- 顔見知りが多く、お互いに声を掛け合える関係
- 町会の皆が一つにまとまっており、団結力がある
- 親切な人、人情味のある人が多い
- 行事が活発で団結力がある
- 健康面を意識している人が多い

地域の困りごと・課題

- 若い人が流出し、子どもの声が聞こえない
- 高齢者が増加している
- ルールを守らない方が多い
- 高齢者と子どもの会話が少なく、人間関係が希薄化している
- 建物、生活資源が少ない
- 親密過ぎて、プライバシーが確保できない

こんな地域になったらいいな

- 若年層が多く、賑やかな声が聞こえる町
- 若い人たちがここで住み続けたいと思う町
- コミュニケーションが多く、活気のある町
- 街灯が多く、安全に安心して暮らせる町
- 交通の便が充実している町
- 建物、生活資源が充実している町



こんな取り組みが必要

①若い世代がずっと住み続けたいと思う町になるには

- 町内をきれいにする
- あいさつを心がける
- サロンやイベントに誘い合って参加する
- 子育てしやすい環境をつくっていく（協力し合えるようにする。
子どもとの遊び場を多くするなど。若い世代の人々の意見を参考に）
- 交通ルールを守っていく
- 若者が就労し安心して住みやすい町づくり
- 世代間交流（祭りやスポーツ大会、サークル活動など）を活発に行う
- 交通機関を充実し、買い物がしやすい町に
- 街灯を増やすなど、安全な町づくりを行う

②誰もが安全に安心して暮らすにはどうしたら良いか

- あいさつ等をとおしてコミュニケーションをとりあう
- 防犯対策に取り組む
- 車の通り抜けを禁止したり、交通マナーの向上にとりくむ
- 道路の歩車分離やミラー設置、段差解消をすすめる
- 夜でも1人歩きができるように、街灯・防犯灯を増やす
- 町会館を気軽に立ち寄れる場所にしていく
- 災害時の対策に取り組む
- みなで町会や子ども会に入って仲良くする

地域の暮らしを話す会 in 日根野地区の概要

第1回 日時：平成25年9月10日（火）午前19時00分～21時00分

参加人数：50人（東上6、西出7、野口6、俵屋5、久之木5、
野乃地藏9、西上5、新道出7）

（町会・福祉委員会関係者47、その他3人）

第2回 日時：平成25年11月5日（火）

参加人数：48人（東上6、西出5、野口4、俵屋4、久之木6、
野乃地藏11、西上6、新道出6）

（町会・福祉委員会関係者48）

日根野地区の主な意見

地域のいいところ

- 地域住民同士の仲が良い・あいさつが多い
- 親切な人・思いやりがある人が多い、福祉活動に熱心な人が多い
- 災害が少ない気候・風土 ○生活が便利、交通の便が良い
- 自然が豊か

地域の困りごと・課題

- ゴミ捨てのマナーが悪い ○交通マナーが悪い
- 動物（犬、猫）の糞が多い ○高齢者が多く、若者が少ない
- 地域の交流が無い ○下水道が整備されていない
- 道が狭くて、道路が整備されていない
- カラスが多く、悪さする
- 交通の便が悪い ○生活の便が悪い
- 災害対策がなっていない ○町内会の加入率が低い

こんな地域になったらいいな

- 若い人が増えてほしい。若者が集まる地域へ
- 災害対策の充実 ○安全な町になってほしい
- ゴミの無いまちへ ○伝統行事の復活
- 子ども高齢者が使えるの施設が欲しい
- 住民同士繋がりのある町になってほしい
- 下水道の整備をして欲しい
- 生活の便が良くなってほしい



こんな取り組みが必要

① 住民のつながりがある地域づくりのために、どうすればよいか

- 町会加入を働きかける
- 地域の活動、ボランティア、清掃活動に参加する
- 地域をあげて出来ることを探す
- 子ども会や保護者同士の交流を盛んにする
- 防災活動や防災訓練をおこなう
- マンション単位の自治会運営
- 町会館の利用者、使用用途を緩和
- 集える場をふやす

② より魅力のある町づくりのために、どうすればよいか

- ポイ捨てをやめ、地域全体での清掃活動を行う
- 町の魅力あるもの、場所を見つけ発信する
- 貸し農園や家庭菜園を行う
- だんじりや祭りなどイベントを増やす
- 災害時、避難場所が身近にあり、全住民が避難できる町作り
- 桜公園、国宝をアピールするイベントの開催
- 小中学校の有効利用など、交流できる場所を探す
- クラブ、サークルでの仲間作り
- 交通手段を増やす

地域の暮らしを話す会 in 上之郷地区の概要

第1回 日時：平成25年9月20日（金）午後7時00分～9時00分

参加人数：21人（母山2、女形2、机場2、中村5下村4、上村4、郷田2）
（町会・福祉委員会関係者20人、福祉施設関係者0人、その他1人）

第2回 日時：平成25年10月22日（火）午後7時00分～9時00分

参加人数：17人（母山2、女形2、机場2、中村4、下村3、上村2、郷田2）
（町会・福祉委員会関係者15人、その他2人）

上之郷地区の主な意見

地域のいいところ

- 隣組の付き合いがあり、団結力がある
- 優しく親切な人が多く、人情味がある
- 祭りや行事が多く、若者が活躍してくれている
- 空気が良く、緑も多く、自然豊かな環境
- 災害が少なく、安全なところ
- 新鮮な野菜や魚が手に入りやすく、食べ物がおいしい

地域の困りごと・課題

- 車がないと生活を維持するのが難しくなるくらい不便
- ガソリンスタンドや病院、買物できる所など、生活に直結する資源がない
- 喫茶や子どもの遊び場などがなく、集える場所が少ない
- 街灯が少なく、夜は暗いため、危険
- 町会、福祉委員会等の担い手不足
- 一人暮らしの方が多く、空き家が増えた
- 新興住宅とこれまでからある住宅との交流不足
- 保守的な方が多く、なかなか課題に取り組めない
- ゴミ捨てなどが多く、マナーが悪い
- 動物による被害が多い

こんな地域になったらいいな

- 生活資源が充実し、車がなくても生活できる町
- 電車やバス等が充実し、交通アクセスが便利に
- 喫茶店やコミュニティ広場等、人が集える場所がある町
- 無断駐車やマナー違反がなく、ルールが守られる町
- 新しい人を受け入れ、若い人が定着しやすい町
- 地域で人を育てることが出来る、結びつきの強い町



- 自然豊かな状態が残っている環境
- 他のモデルになれるような地域

こんな取り組みが必要

①いつまでも地域で生活が続けることが出来るようにするには

- 声かけ、あいさつを積極的に行う
- 顔見知りを増やし、近所の人を大切にする
- 子どもの遊び場所を増やす
- 健康を意識する
- 移動手段の充実・確保（駅・スーパーへの送迎、バスの便数増加、ガソリンの配達やガソリンスタンドの新設など）
- 朝市や食料品配達などで、食料品を地域で手に入れられるようにする
- 病院・郵便局などの生活に密着した施設の設置、充実

②世代間を通して交流でき、日常的に集える場を増やすには

- 会館や神社、お寺、小学校などを活用する（ミニ集会や喫茶の開催など）
- 催し物や行事などへの参加促し
- 趣味を通しての繋がりづくり
- 喫茶店や居酒屋、雑貨店など、人が集まりやすい場をつくる
- 町会費や町会加入条件の緩和など、町会組織体制を見直す

地域の暮らしを話す会 in 大土地区の概要

第1回 日時：平成25年9月6日（金）午後7時00分～9時00分

参加人数：35人（上大木10人、中大木10人、下大木7人、土丸8人）
（町会・福祉委員会関係者33人、福祉施設関係者2人、その他0人）

第2回 日時：平成25年11月1日（金）午後7時00分～9時00分

参加人数：22人（上大木5人、中大木7人、下大木4人、土丸6人）
（町会・地区福祉委員会22人）

大土地区の主な意見

地域のいいところ

- 地域住民同士の仲が良く、まとまりがある
- みんな笑顔で親切、温かみがある
- 自然豊かで静かな環境である
- 特色のある小学校
- 伝統や重要文化財がある
- 自給率が高い

地域の困りごと・課題

- ゴミ捨てや犬のフンなどのマナーが悪い
- 高齢化、若者の減少
- コンビニや店が少なく、車がないと生活できない
- 空き家や休耕田の増加
- ボランティアの数が少ない

こんな地域になったらいいな

- 若い人が増えてほしい
- 地元出身者が帰ってくる
- お年寄りの買い物の出来る場所があったらいいな
- コンビニ、スーパー、病院、診療所がほしい
- 大木の特産物
- 農業の継続
- 活性化してほしい
- 大人から子供まで楽しめる集会場のある町



こんな取り組みが必要

①若い人が住みやすい町をつくるには

- 若い人の意見を尊重する
- 交通の便の改善（コミュニティバスが来てほしい。バスの本数増加など）
- 保育所や高校大学など、教育施設が地域に必要
- 宅地を増やす
- 村おこしをして、若い人が働ける職場を地域につくる

②高齢者が住みやすい町をつくるには

- 交通の便の改善（コミュニティバスが来てほしい。通院支援）
- 病院が近くにほしい
- 集まって話せる場所や機会を多くする
- 自分で買い物ができる店・場所をつくる



2. ボランティアセンター座談会 実施報告

地域福祉の担い手である、ボランティアセンターの登録ボランティアのみなさんが、泉佐野をどんなふうに捉えて、どんな活動をしたいと思っているか、について共有する機会を設けました。

ボランティアセンター座談会の概要

日 時 : 平成 25 年 9 月 25 日 (水) 14 : 10 ~ 16 : 00

(サロン・ド・ボランティア終了後)

参加人数 : 45 人 (ボランティアセンター登録ボランティア)

進行方法 :

8 グループにわかれ、グループごとで【①地域のいいところ】【②地域の困りごと・課題】【③こんな地域になったらいいな】【④こんなボランティア活動がしてみたい】の4つのテーマについてふせんに書き出し、意見交換を行いました。

座談会での主な意見

地域のいいところ

- 自然環境に恵まれている
- 大規模な災害の経験が少ない
- 近隣住民間の仲が良い
- ウォーキングなど、健康増進のための取り組みが行われている
- ボランティア活動が充実している
- ボランティア間の関係性がよい

地域の困りごと・課題

- 犬や猫など動物のフンの処分、ゴミ出しのマナーが悪い
- 交通量が多い、道路が狭いなど道路環境が悪い
- 地域のつきあい・関わり合いが減っている
- 災害対策のとりくみに不安がある
- 少子高齢化が進んでいる
- 店や病院、交通などの生活資源の面で不便である
- 泉佐野市の経済状況が低迷している

こんな地域になったらいいな

- 互いに仲の良い町
- 楽しく笑顔の町
- 市の経済的な発展
- 道路やインフラの充実

○移動しやすい町

○治安やマナーの向上

○緑の多くゴミの少ない町

○医療の充実

こんなボランティア活動がしてみたい

○ボランティア自身を楽しめる活動

○相手に喜んでもらえる活動

○受入先の体制が整っている活動

○子供・若者と交流する活動

○青少年の健全育成

○現状の活動に満足している（今のままでよい）

○具体的な活動メニューの提案

- ◆ 災害ボランティア活動
- ◆ 高齢者の食生活の改善のお手伝い
- ◆ 高齢者・身体障害者の買い物・通院などのお手伝い
- ◆ ハイキング
- ◆ あいさつ運動
- ◆ 公園や空き地に花を植えたりする活動
- ◆ さびしい人の話をじっくり聞いてあげたい
- ◆ 独居老人宅の訪問
- ◆ 家内の簡単な作業
- ◆ 囲碁の対局



3. 当事者団体座談会 実施報告

地域福祉の担い手である、当事者団体（なんらかの社会的課題に直面している人たちがお互いの情報交換や助け合いを目的として活動している団体）の方々に集まっていただき、泉佐野をどんなふうに捉えて、どんな活動をしたいと思っているか、について共有する機会を設けました。

残念ながら、参加いただけた団体数は少なかったのですが、地域福祉の仕組みを考えるうえで、大切な意見をたくさんいただきました。

当事者団体座談会の概要

日 時 ：平成 25 年 9 月 27 日（金）13：30～15：30

参加人数：9人

（郵送や市報、社協だよりにて、各団体2～5人程度の参加を呼び掛け）

長生会 4 人、泉佐野市障害児（者）を守る会 3 人、

乳がん患者会すみれ会 2 人

進行方法：

2グループにわかれ、グループごとで【A）当事者団体を運営していく上での組織や地域の強み】【B）当事者団体活動をするうえでの課題や困りごと】【C）こんな町（地域）になったらいいな】【D）当事者団体として取り組みたいこと】の4つのテーマについてふせんに書き出し、意見交換を行いました。

座談会での主な意見

当事者団体活動の強み・魅力

- 団体になることで対外的な発信力を得られる
- 会員間のつながりによって、情報交換や相互の支え合いができる
- 活動によって、会員が楽しめる
- 団体となることで、地域にも貢献できる



地域の強み

- 周囲が協力的であると感じられる場面がある

当事者団体活動をするうえでの課題や困りごと

- 会に対象の人が入会してくれない
- 役員の負担が大きい

- 会員の意見集約が難しい
- 会員に対して支援するなかで難しいと感じる場面がある



これらの課題は、「全国共通のなやみ。他の団体も一緒」という声がありました。

こんな地域になったらいいな

- 困った時に助け合える町
- あいさつや交流のある町
- 親なき後も安心して暮らせる地域
- 相談しやすい相談窓口がほしい
(複数の課題に対して専門機関どうしが連携して対応してほしい。
その支援をコーディネートしてくれる一本化された窓口がほしい)
- ペットや駐車など住民マナーの向上
- 道路状況の改善(車いすや杖でも移動しやすい町)
- 働き手(特に女性)が、介護や病気があっても働きやすい町に
(保育園などで預かってもらえない数時間をみてもらえる、など)



当事者団体として取り組みたい活動

- 勉強会や講座をしたい
- 女性役員や若い役員の増加
- 具体的な活動アイデア
 - 会独自の専門相談の開設(できれば出張で、会員による相談)
 - 入院や通院時に、子供や介護のカバーをする
 - 病院の相談室にコーディネーターとして活動したい
 - 他の会との交流

参加者の声

「自分たちの会でも同じ課題を考えていた」
「お互いの活動を知れてよかった」「他の会の方と交流するのもいいかも」
「他の団体も一緒のことで悩んでいる」 など

◇資料編◇

各地区で行った話し合いの際にだされた、ふせんを書き出しました。

長坂地区

1 回目の意見

平成 25 年 9 月 17 日(火) 19:00~21:00

地域のいいところ

地域住民同士の関係性・人柄に関するいいところ	
連帯感がある	人間関係が良い
人の和	人が優しい
人情豊か	絆で結ばれている
穏やかな方が多い	年齢層のバランスが良い
お元気な高齢者が多い	団結力がある
町内が協力的である	町内まとまりがある
美人が多い	誰とでも話ができる
元気者が多い	町内が明るい
声かけしてる	やさしい人が多い
町会全体が仲が良い	近所付き合いが深い・よい
つながりが強い	家族的
フレンドリー	若い人が協力してくれる（クリーン・グリーン）
若い人と老人の接点が多い	どなたでも受け入れていくところ
地域のイベント・行事・楽しみ・利点など	
福祉充実	福祉に優しい町
町内会が充実している	クリーン・グリーン清掃している
祭りで団結する	柿つかしの行事が有る
町内会活動等に積極的	みんなで花を植えること
生活の便利なところ	
駅が近い	会館の大きさ
病院やスーパーが近くにある	買い物が便利
小学校が近い	スーパーが多い
物価が安い	公園がある
老人の集う場がある	老人憩いの家アスティがある
レストランが多い	

環境面のいいところ(自然・治安など)	
緑豊か	静か
きれいな町	自然災害が少ない
通過交通がなく静か	街灯が充実
防犯面が良い	住宅内にゴミがない
道がすいてる	自然が多い
田が多い	天候に恵まれている
安全	安心
その他	
墓の整地が整っている	墓地を守っている

地域の課題・困りごと

ペットの飼い主のマナーが悪い、ゴミ問題、動物に関する害など	
鳥・猫のゴミ荒らし	犬のフン
ゴミのポイ捨て	犬のフンがまだ処理できていない
犬のフンを持ち帰らない	車の中からタバコの吸い殻やペットボトル、空き缶のポイ捨て
犬のフンの放置・多い	ポイ捨て、ゴミの始末が悪い
犬のフンこまっている	犬のフン始末が悪い（マナーが悪い）
犬のフン看板立てているが、マナーを守らない	ノラ猫へのエサを与える
タバコの吸い殻を階段に捨てる	ペットのしつけをするように
ゴミ出しルールを守れない人	のらネコ
犬のフンをそのまま持って帰らない	ゴミの出し方
不法投棄	他所からの持ち込み
犬のフンが多い	犬のフンをしまつてほしい
ゴミを捨てにくるのが困る	缶のポイ捨てが目につく
虫が多い	タバコの吸い殻のポイステ
川にゴミを捨てる	蚊が多い
高齢化、若者の減少	
高齢化が進み大変	少子高齢化
子どもが少ない	子供会に入会する人が少ない
若い人の参加が少ない	ボランティアに若い人が少ない
自治会の役員のなり手なし	老人が多く若い人が少ないので長生会が困っている
子どもが少ない	祭りの参加者が少なくなっている
道、交通に関する困りごと・課題	
信号が少ない	車の通行が多い

通学路、一方通行にしてほしい	道路に Center Line が無い
道がせまい	必要な場所に信号がない
テニスコート信号ほしい	道の舗装の充実
車が多く騒音が大きい	交通渋滞が起こる
坂道が多すぎる	坂が多い
車の事故が多い	車の通り抜け
マナー・環境・生活・設備に関する困りごと・課題	
自転車放置	路上駐車
花の枝を折る人がいる	公園がない
駐車に少し気を使ってほしい	生活環境（地域整備）
子ども達のイタズラ	会館をきれいに使ってほしい
コンビニ（スーパー）が多い	近くにコンビニがない
外灯が少ない	下水道がない
薬局が多い	会館が古い
会館が古い	喫茶が欲しい（ワイワイガヤガヤいえる所）
ポストが少ない	街灯について検討
駅構内に階段しかない	利便施設がない
買い物（食品・日用品等）が若干遠い	下水工事ができていない
公共機関が少ない	小学校にプールがない
外灯がよくきれ	
そのほかの困りごと	
協調性がない	クリーンGREENの朝速早い
人がちょっと少ない	祭りに苦情が多い（たいこ等）
青年団に苦情が多い	集会に人が集まりにくい
町内の旅行があってもよい	不審者
夜道がこわい	古い行事、文化がない
自己主義、利己主義の方が多く思う	何をやっても地域の協力が少ない
団地内のコミュニケーションがない	一生懸命やってくれる人はやってくれるんですが
各家との会話が少い	コミュニケーション不足

こんな地域になったらいいな

若い人が増えてほしい・若い人に対する希望	
若い人が住んでたのしい町になってほしい	青年団があと 10 人は増えてほしい
子どもが多い	子ども達の声があちらこちらから聞こえる町
若い世代がほしい	若い世代の活発な活動参加
若い世代の人の入居を望む	子どもが増えてほしい
男性（お父さん）の参加が…	

道の充実した町になってほしい	
町に通じる道を広く	信号の設置
電信柱を無くす	広い道路があったら良い
道幅が広くなれば	歩道が欲しい
安全な町になってほしい	
交通事故の少ない町	子どもを安心して学校に行かせたい
安心で安全	防災に強い町作り
人にやさしい安全安心な明るいまち	災害に強い町
安全な場所がほしい	自主防災の組織
環境面が充実した町になってほしい	
きめ細かいコミュニティバスのサービス	イオンがとりあえず出来て！
デカイせんとうが出来て！	若い人があそべる所がほしい
もっと子どもの遊び場所がほしい	急行が止まる駅
公園が欲しい	高齢者の集まる場所があったら
駅前にコンビニがあると良い	コンビニ駅近辺に
喫茶店がほしい	東佐野駅に改札口が踏切側にあれば良い
コミュニティバスの回数が増えて、高齢者が自由に外出できればよいナー	広い公園
子どもの遊び場所がほしい	子どもの遊び場所が多く欲しい
広い公園がほしい	
きれいな町になってほしい	
ゴミのないきれいな町	桜の木が増えれば
むくとり、カラスよりウグイスがふえれば	車の少ない静かな町
季節の花がいっぱい	
住民同士の絆のある町になってほしい	
助け合う心、おもいやりの心が少ないので希望	老若男女街角にてダベリング
挨拶が交わされる街	人間関係、コミュニケーション
上下トナリ話がしたい	皆さんがあいさつが出来るように
下校時に少しでも表に出るように	
その他	
ゴミ袋高いし、現在 10、20、50 ですが 20 円なしで 30 円つくる	泉佐野全体が水道代が高いので安くおねがい
他の地域の方との交流	他所から入りたいなあと思ってもらえる
福祉が充実	生活全てがまかなえる町
町の財政が楽になれば	税金が安い
上場企業がくれば	事業所がもう少しあれば
情報の共有化	

2回目の意見

平成 25 年 11 月 26 日(火) 19:00~21:00

こんな取り組みが必要

テーマ①「若い世代が参加しやすい地域活動にするには」	
《1人1人で取り組むこと》	
活動・意識づくり	
◎その地域の先輩などから誘う	◎毎月の掃除は若い男性に出てほしい
◎年寄と孫とのふれあい（ハイキング・ものづくりなど）	催し物（たこ焼き・豚汁・ぜんざい・からあげ等）を行い住民とのふれあいを
若い子達が興味をもつこと	若い世代に呼びかけ宣伝などをする
あいさつから始めましょう	老人の方々より若い人に話しかけてコミュニケーションをとれたらいい
若い方々はあまりにも忙しすぎる	
こういう場に若い人を連れてくる	毎日曜日に集会所に集い草花を植える会を
《みんなで取り組むこと》	
活動・意識づくり	
◎青年団への声かけ	世代間交流の場を増やす
ゲーム感覚を取り入れる	横のつながりを強くする
敷居が高い	子供も一緒に参加の企画
町を明るくする	青年団など団体参加から始める
地域活動の意義を周知	活動する場所がない
若い世代が参加しやすいようにアピールや雰囲気をつくる	それをしたことよっての結果を、もっとわかりやすくする
参加しやすくなるような活動内容	同年代が企画運営する
若い人のイベントの参加を充実する	若向きの行事をする
若人の意見を聞く場を作る	年寄りには参加させない
催し物・イベント	
家族ぐるみで参加できる催しの開催（町内花見会・運動会・防災訓練）	趣味が活かせる催しの行事
	全体で参加する行事
若人のイベント	子供が参加する活動を多くする×2
親子で参加する行事を多く行う	子供と若い人達が参加できる行事を多くすれば良い
若い人達が参加できる活動を考える	
だんじり祭りなどよい	盆踊り大会
スポーツ大会を行う	
システム作り等	
子供さんを預かるシステム	サークル部門設立
文化作り	活動助成

子育て支援充実し、若い人の空き時間を増やす	町内会役員に若手を起用
	青年団があったら良いと思う
リーダーがいない	補助金が少ない
専門「若い子」のボランティア団体結成	社会構造を変える

テーマ②「子どもや高齢者が安心安全に暮らせる町にするには」	
《1人1人で取り組むこと》	
地域活動	
◎誰もが声をかけ合う優しい町	◎挨拶・声かけ×3
◎近所との付き合いを大切にする×2	◎高齢の人達がすすんで表で会話をして、子供達を見守ってコミュニケーションをとる
◎近所同士、連絡を取り合う	
◎ボランティアを増やしてほしい	◎個別訪問、日頃の生活を聞く
学校の下校時に大人が出向く	若い人の活発な活動参加
住民の責任感を大事にする	罪を犯さない、非行に走らないよう地域活動へ呼びかけを多くして集まるようにする
「こうしていれば安心だ!」と言えるような自己管理	
運転マナーをよくしたらよい	ラジオ体操をする
《みんなで取り組むこと》	
地域活動	
◎小中学生の通学時の見守り、交通事故防止活動、下校時も	健康について話し合う
	若い人と高齢者が集まる場所がほしい
町役員さんは色々工夫して活動して下さっているがなかなかむづかしい	引きこもり防止のためのサロンを作る
	福祉の充実とコミュニケーションが大事
福祉の充実	高齢者の健康増進
生きがいを持ってもらう活動（子供見守り）	情報提供システム
一人暮らしになっても声かけしてくれたりお弁当などほしい	医療・介護が充実してくる町にしたい
	困っている時に相談できる人がほしい
環境整備等	
◎街灯の充実×3	高齢者の遊び場所がほしい
高齢になっても（病気）すぐに対応してくれる施設があればよい	歩道の充実
	子供達の遊ぶ場所がない
公園を増やす	歩道を広げる×2 平坦に
車の交通が危険	高齢者が暮らしやすいような施設をもっと作る
人に優しい町づくり、バリアフリー化	
防災関係	
◎防災、防犯組織の設置	◎パトロールの強化

◎防災、防犯活動	◎月 1 回防犯パトロール実施
交番を増やす	防犯カメラの設置
不審者への対応を早くする	自主防犯組織を作る
町内の防犯の充実を図る	子供、高齢者を安心させるために、住民全員で防災 訓練する
災害時、地震、火事、年に 1 回くらい訓練	

◎＝すぐに取り組めること
※同じ意見は集約しています

北中地区

1 回目の意見

平成 25 年 8 月 31 日(土) 19:00~21:00

地域のいいところ

地域住民同士の仲が良い	
住民同士話しやすい	隣近所のつきあいが盛ん
隣近所の仲が良い	登下校の見守りがある
子どもが挨拶をする	若者の関心が高い（町内行事など）
町内会が組織している	
親切な人・思いやりのある人が多い	
親切な人が多い	住民同士が協力的
住民同士助け合い	福祉活動に熱心な人が多い
災害が少ない気候・風土	
災害が少ない	気候がよい
生活が便利である	
買物が便利	交通の便が良い（駅が近い）
病院が近い	公園が多い
お墓、神社がある	
その他	
元気な人が多い	子ども、高齢者が元気
美人が多い	町がきれい
盆踊り、だんじりがある	会館の事務員さんの愛想がいい

地域の課題・困りごと

ゴミ出しのマナーが悪い、ペットの飼い主のマナーが悪い、交通マナー悪い、動物（犬猫鳥鳩）の糞害など	
ゴミ出しのマナーが悪い	ゴミの分別出来ていない
車がスピードを出して道を走る	自転車のマナー悪い
糞害（犬、猫糞尿の放置）	放置自転車が多い
野良猫に餌を与える	
高齢者が多く、若者が少ない	
高齢者が多く将来に不安がある	若者が少ない
町内会の指導者不足	
道が狭くて、夜道が暗い	
道が狭い	夜に暗い道が多い
そのほかの困りごと	

無関心の人が多い	協調性に欠ける
商店街がさびしい、お店が少ない	顔の知らない人が増えた
災害対策がなっていない	街が大きすぎる
治安が悪い	町内会入らない人が多い
人通り少ない	店が少ない
飲み屋がない	本屋が無い
公園汚い	

こんな地域になったらいいな

若い人が増えてほしい	
若者が増えて欲しい	学園都市になってほしい
若者が都市部へ出ていかない街づくり	
駅の改善してほしい	
駅のバリアフリー化	鶴原駅を急行の止まる駅へ
駅に高架をつくってほしい	
安全な町になってほしい	
事故の無いまちへ	道の溝に蓋をしてほしい
子どもが安心して住めるまちへ	
新しい施設、事業の提案	
娯楽施設を増やしてほしい	もっと高齢者が楽しめる施設、環境が欲しい
スポーツセンターがほしい	高齢者が無料で使えるサービスを増やしてほしい
きれいな町になってほしい	
ゴミの無いまちへ	美しいまちへ
住民同士のつながりのある町になってほしい	
子ども高齢者に優しいまちへ	挨拶し合えるまちへ
品物の貸し借りが自由にできるまちへ	町内会費住民全て払ってほしい
子ども会をつくってほしい	町内会のさらなる充実
その他	
町に活気を	生活保護世帯を減らす
中学校を良くする	安心システムの加入者を増やす

2回目の意見

平成 25 年 10 月 26 日(土) 19:00~21:00

テーマ①地区福祉委員会、町会の活動を理解していただくためにはどうすればよいか

《一人一人で取り組むこと》

◎回覧板にして回す	◎町内会未加入世帯に勧誘を行う
◎頻繁に町内放送をする	◎町内の掃除全員参加
◎町内でラジオ体操をする	◎挨拶し合える町に
◎声かけ	◎町内で福祉委員の活動を知ってもらう
◎公園のゴミ箱設置	◎町内の知らない人にも話しかける
近所の人を誘って参加する	町会の新聞発行
町内で何か参加できることをする	町内行事の時に福祉のPRをする
町会の掲示板	市役所からのPR
もっと広報をやる	掃除のときに声をかける
町内行事にもっと参加してもらう	集会のときに話を出してみる
信号を守る	

《みんなで取り組むこと》

町内会に入ってほしい	隣組ではなしあう
町内会に無関心すぎる（関心を持ってほしい）	集会だけでなく、楽しい行事をつくっていく
町内会費を全ての住民に払ってほしい	もっとみんなで掃除をした方がいい
掲示板を利用しPRする	参加しやすい行事を考える
大きく広い公園が欲しい	子どもが参加しやすい行事を増やす
お店が少ない（お店がほしい）	溝掃除をもっとする（近所で）
福祉関係にもっと若者が参加してほしい	集まりやすい活動をする
鶴原福祉委員会は頑張っているとPRする	育成会の活動を知ってもらう（回覧など）
ボランティアが増えてほしい	もっと広報をやる
社協会員をもっと増やしたい	まず町内会に入る
若い人がもっとボランティアに参加してほしい	定期的にメンバーを交替して、多くの人が経験出来る体制をつくる
他人に無関心（関心をもってほしい）	
駅の階段 → エスカレーター	小学校時代から、一貫した教育が大事。大人になってからでは遅い。
高齢者があんしんして暮らせる町にする	
町民になんでも参加してもらう	各棟で話し合いをする

テーマ②住民同士のつながりを増やすためにはどうすればよいか	
《一人一人で取り組むこと》	
◎挨拶をし合う	◎外出する機会を増やす
◎自分の殻に閉じ困らない	◎笑顔で挨拶
近所同士のつきあい	祭り、運動会に参加する
隣近所仲良く	会食の場を増やす
こまった時の助け合い	まず名前を知り、名前呼び合うことで、 親しみを覚える。
町内行事になるべく出席する	
学校行事や地域行事に参加する	声を掛け合う
コミュニケーションを増やす	
地域の行事がある時は、近所友達に声かけする	
高齢者が多いので自分で買物が出来ない時は、代わりに買物に行ってあげる	
《みんなで取り組むこと》	
◎くつろぎクラブでおしゃべりをする会の輪をもっと広げていく	老若男女が集いお茶でも飲める場所が欲しい
夏休みのラジオ体操を町内がする	広い公園を2, 3か所作り子ども、高齢者 い世代が、常にコミュニケーションを
誰でも集まれる喫茶店が欲しい	
月に一回程度、隣組単位でお茶会を行う	趣味を生かしたサークル活動を増やす
老人がたのしんで遊べる場所が欲しい	福祉に関心をもってほしい
集会所を開放してコミュニケーションをとる	町内会の集まりに出来るだけ参加する
皆で集まってスポーツを楽しむ所が欲しい	。

◎すぐに取り組めること

日新地区

1 回目の意見

平成 25 年 8 月 24 日 (日) 14:00~16:00

地域のいいところ

暮らしやすい環境	
静かな環境	災害が発生しにくい
緑が多い	公園が近くにある
市役所が近い	駅が近い
高台で津波の心配がない	近くにスーパーがある
これといった問題がない	こじんまりしている
道路がきれい	涼しい風が良く通る
事件・事故が少ない	夜が明るい
町会費が少ない	
住民同士の仲が良い	
仲が良い	あいさつが多い
協力的	団結力
町のまとまりがある	会議での意見がだしやすい
清掃活動にも青年団等の他団体も協力的	集まりが良い
会館の利用者が多い	長く住んでいる人が多く、大体顔見知り
近隣がとても仲が良い	
親切な人・人情味のある人が多い	
親切な方が多い	周りの人がみんな良い人
人が優しい	悪口を聞かない
町会長の性格が良すぎる	責任感が強い
昔からの人情が残っている	
施設・建物が充実している	
小学校がある	神社がある
高齢者施設が出来て良かった	
祭り・行事が活発	
だんじり祭りがある	祭りや行事が人を結びつける
盆踊りを開催している	サークル活動が活発
健康・生活を意識している人が多い	
生活が安定している人が多い	地域全体の生活レベルが安定している
健康に留意している	文化的なことに意欲大
年配者が多い	長生きが出来る

地域の課題・困りごと

ゴミ出しのマナーが悪い、ペットの飼い主のマナーが悪い、動物（犬猫烏鳩）の糞害など	
犬の糞の処理	ゴミや不法投棄が多い
野良猫に餌をあげる人がいる	家の周りにタバコの吸い殻が落ちている
カラスの公害が増えている	
高齢者が多く、若者が少ない	
一人暮らしの高齢者が多い	高齢者夫婦が多い
空き家が増えた	子どもが減少
各種団体の人数が減少	子ども会がない
高齢者対策がなされていない	老々介護
小家族が多い	
転入者との問題、コミュニケーションの希薄化	
新旧の住宅で統一性にやや欠ける	新しい家が増加
連帯感の欠如	町会費が少なくなっている
会館の使用について町内で話し合う必要がある	コミュニケーションの希薄
自治会会員を退会する人が増えてきている	自治会に入っていないわがままな人が増えてきている
地域に関心ない人が増えてきている	論理的思考に欠けている人が多い
男性高齢者にあいさつしない人が多い	人の意見に耳を傾けない人が多い
近所の人と会話が少ない	町会費の負担が気になる人がいる
道が狭くて不便である	
道路が狭い	車両通行数が多い
町内を抜け道として利用する人、車があり、危険	家の近くまで消防車が入ってくることが出来ない
不法駐車等があり、駐車に協力なし	
環境が不便	
駅まで遠い	八百屋、魚屋等がなくなってきた
小学生の通学距離が長い	公園での遊びで決まり事が多い
教育力が弱まっている	
家庭の力が弱くなっている	小学校土日授業の再開が必要
子育て環境が問題	社会貢献をするという教育がなされていない
そのほかの困りごと	
並木の手入れ	町会の役員の一期を2年交代にしてほしい

こんな地域になったらいいな

安全な町になってほしい	
安心、安全な町	静かな住宅環境
高齢者から子どもまで安心して暮らせる町	一人暮らしの高齢者が安心して暮らせる

きれいで明るい町になってほしい	
きれいな町、明るい町	美しい花いっぱい
自然豊かで安全な地域	活力ある地域
住民同士のつながりのある町になってほしい	
明るく皆があいさつ出来る町	笑顔で何事にも助け合う心
各団体が独自で活動するのではなく、お互い協力し合う、活動が欲しい	各種団体が福祉に関心を持つように
だんじり以外でも活動があれば	秋祭りの子どもタイムのような活動
隣組の制度が活発になれば	盆踊りの活性化
向こう3軒両隣のお付き合い	高齢者が来易く集まれる民家があれば
連帯感のある町	地域の人と交流が出来たら良い
囲碁やオセロ、手芸などを通して皆が集まれば	孤独な方がいない町
地域住民参加で盛り上がる行事開催	新しい住民の町会への参画
世代間交流のできる町になって欲しい	
子どもから高齢者まで混在する町	高齢者も若い人もお互いに助け合う町
親と子の絆を深める町を作る	町会館年代を越えて集まれるようになる
小学校と地域が多く関わる町	大人も子どもも気持ちよく挨拶出来る町
その他	
小・中学校の土日授業の再開	町会館内での健康診断、予防接種をして欲しい

2回目の意見

平成25年11月16日(土)14:00~16:00

こんな取り組みが必要

テーマ①住民同士が気軽に交流できる町にするには	
《1人1人で取り組むこと》	
挨拶を積極的に行い、進んで人の輪に入っていく	
◎挨拶する人を増やす	◎街灯をつける
◎交流をするには挨拶から (朝・夕のあいさつをしっかりと)	近所の人ともっとコミュニケーションを増やす
進んで人の輪に入る	
《みんなで取り組むこと》	
会館の活用	
◎集会に積極的に顔を出す	◎住民が会館等で気軽に集まる時間を多くする
月に一回は会員が集えるようにする	会館でお茶をする
会館を誰もが話せて集まれる場所に	会館をよりたくさんの方が利用出来るようになれば

親睦会や行事の開催	
◎班内の親睦会	◎懇親会のような場を設ける
◎町会 OB 会の開催	男性間の親睦会
2 班以上にまたがる親睦会	趣味の集まり
空き地でのラジオ体操	気軽に参加できる行事を考える
自治会組織の強化	
住民同士対等な立場で	隣組の活性化（横の関係の強化）
自治会だよりを出す	自治会未加入者への加入勧誘を活発に行う
世代間交流	
◎子どもと大人が話し合う機会をつくる	子どもの中にリーダーになれる人が欲しい
子どもがみんなで楽しめる遊びを考える	お年寄りの活躍できる場をつくる
子どもと一緒にお年寄りの自宅を訪問する	子どもからお年寄りまで集まれる楽しい会を毎月行う
子どもが楽しめる場所をつくる	
気軽に集まりやすい場の設定	
コーヒーサロンを作る	趣味の会を作る
井戸端会議のような話し合いの出来る場づくり	だんじり、盆踊り以外のことをやっていく
イベントを多く行い外に出る機会を増やす	喫茶店を月に 1 回開催する （皆から 100 円程度ずつ集める）
伝統行事の強化と見直し	
盆踊りをもっと充実していく	古い風習を打破する
だんじりに偏りすぎていることについて議論する	
その他	
サロンに出来るだけ出席してもらう	閉鎖社会を意識改革
新しい家の人たちとも仲良く出来るようにする	

テーマ②子どもから高齢者まで、お互いに助け合う意識を高めるには	
《1 人 1 人で取り組むこと》	
自分から積極的にあいさつや話しかけることを心がける	
◎大人から積極的に挨拶を行う	◎自分から子どもや高齢者に話しかけることを心がける様にする
◎買い物に行って高齢者の方を見つけた時は声をかけて助けてあげる	◎学校の行きかえりに表に立って、声をかけることから始める
自治会行事や活動に子どもに参加してもらう	
自治会行事に子どもを参加させる	町内清掃の際に子どもと一緒に

自主防災への子どもの参加	
交流の機会を持ち、人間関係を深める	
◎個人個人の人間関係を深める	夏休みに会館にて宿題の手伝いを行い、御礼として子どもに水やりをしてもらう
交流、遊びの機会をつくる	親が子どもに高齢者を大切にする話をする
小学校、町会への行事参加	子育てサロンを卒業した親子にボランティアとして参加してもらう
その他	
◎ゴミや糞のない町にする	
《みんなで取り組むこと》	
子どもの意見を取り入れる	
◎家庭で親から子へ伝える	◎家庭内で話あうこと（まず親子の絆を深めること）
今日のような会議を子どもだけの集まりで話し合ってもらおう	親と子、大人と子どもの接する会合を多くする
子ども心をもっと社会へ反映すべき	社会へもっと子どもの心を伝えさす会v
大人、子どもが意見交換できる機会をつくる	
◎子ども達の登下校時に自宅前でのあいさつ運動	お年寄りの方に昔の知恵や手法などを教えてもらう機会をつくる
高齢者と子どもがふれあえる場所が欲しい	現在開催されている集まりに出向いて語る
学校の夏休みに会館等でラジオ体操を	
世代を越えて交流できる機会をつくる	
月に一度の清掃活動	防災訓練（バケツリレー）
戸外に出るようなイベント	自治会・長生会・福祉委員会の交流を持つ
高齢者、子どもの合流イベント	
団体間での連携を行う	
各種団体の茶話会を開く	他班との交流会を実施する
各種団体が集まって地域福祉の現状を知る	団体間の調整（誰が主体となっていくか）
定期的に団体が集まって話し合う	
その他	
福祉について住民への啓発活動	障がい者体験コーナー
学校教育の中で子どもに教える	

佐野台地区

1 回目の意見

平成 25 年 8 月 25 日 (火) 10 : 00 ~ 12 : 00

地域のいいところ

人との結びつき・人に関すること	
協力的	仲がいい
顔見知りが多い	友達みたい
情報の伝達が速い	行事に高齢者の方もたくさん参加している
和気あいあいとしている	まとまっている
安否確認すること、全て	40 年来の近所
世話好きな方が多い	助け合いの心がある
お人好しが多い	皆さん活動的
話をよく聞いてくれる	新・旧のふれあいがある
人が元気	親切
高齢者が元気	公共心が強い
知識人が多く住む	優しい
教育レベルが高い	特定検診を多くの方が受診している
生活のしやすさ	
医者に近い	駅に近い
お店に近い	生活困窮者がいない
町会加入率が高い	全てが平常だと思う
大トラブルなし(事故など)	
環境	
景観がよい	自然災害なし？
にぎやか(佐野台)	地域が美しい、美化
地域内が整然としている(静かでいい) (西佐野台)	住宅環境が良い(立地条件)
桜並木が美しい	街区が清潔である
のんびりできる	住みやすい
明るい	

地域の課題・困りごと

人に関すること	
高齢化	外に出てこない人がいる
超高齢化が進んでいる（都市の限界集落）	ルールを守らない人がいる
独居高齢者について	自己中心的な人がいる
一人暮らし安否	他人のことを気にしすぎる
小学生（児童の減少）	回覧を見ない人がいる
最近引越してきた人に色々と町の決まりを教えること	マナーが悪い
地域の担い手不足	
町会退会者が目立つ	横のつながりがない
まとめ役がやめられない（かわってくれない）	全住民に行事などの情報が行き届いていない
町内行事が限られる	
環境	
ゴミの分別	買い物が少し不便
ゴミのポイ捨てが多い	近くにコンビニがない
最近市の回収の（ゴミ類）をよく残されて最後の掃除担当の人が困っている	小学校に行くのが不便
騒音	通学路が狭い
違法駐車	公園がない
車の交通量が多い	坂道が多い
交通安全	子どもが安心して遊べる場所がない
犬の糞	町会館が小さい
カラスが多い	集会所がない
救急病院がない	コミュニティ的な場所がない
大きな病院がない	たまり場がない
空き家が多い	緊急の災害避難所がない
公共施設に遠い	エレベーター内に捨てたチラシがある

こんな地域になったらいいな

人の結びつき・人に関すること	
あいさつにあふれる町	今以上に住民が参加する行事が欲しい
笑顔のある町	高齢者に生きがいをあたえられる
助け合いのできる町	高齢者が参加できる遊びの考案が欲しい
声をかけあってはげましあって生きる町	鍵をかけなくても出入りが自由にできる
思いやりの精神のある町	相互扶助の徹底
元気で参加を誘いあう町	困ったことがあったら相談できる人がいる
必要最低限でいいのでは？	話し合いの場が多い
住みやすい町	
子どもが多い地域	孤独死のない町
新しい人が入居し、町全体が活性化する	介護関係の充実
元気な子どもの声がする町	足が不自由な人でも安心して外出できる
若い人が増えて欲しい	ケアを受けなくても良い町
町の若返り	町の中をみんなで見学する
2世帯住宅の多い町	活力のある町（行事交流）
主体性のある地域	文化活動（クラブの隆盛）
個人個人が住み心地が良ければ、善	町会・長生会・福祉が一つになればいい
心のかよいあう近所づきあいができる地区	医療の関心のある町
自立した町	安心安全な町
みんなが美化活動に参加する町	
環境	
2～3カ所で空部屋をたまり場にして欲しい	空き地を利用して日除けイス付の場所を設ける
子どもたちが遊べる場所	広い道が欲しい
公園が欲しい	遊歩道のある町
バリアフリー	大型バスが転回できること、場所（道路）
花のある町	防災放送設備（市全体）
近隣センターの復活	巡回図書館を増やして欲しい
通路を洗う元栓が欲しい	駐車場の拡大
市役所の出張所が欲しい	行政のきめ細かい関与が必要でないか

2回目の意見

平成 25 年 10 月 6 日(日) 10:00～12:00

テーマ①地域活動の担い手をどのように確保するか (若いボランティアをどのように増やすか)

一人で取り組めること	
役員が終わってもアドバイザーとして残ってもらえるように声をかける	若いボランティア（60歳前後）に声をかける
◎PTA と連携できるような声をかける	◎行事の内容を良く知ってもらう
◎お互いにコミュニケーションをとり合うことで仲良くなり、取り入れていく	◎行事に招待して活動内容を知ってもらい、会に入ってもらう
◎若い人に声をかける	◎行事の時丁寧に案内して参加してもらう
日常の会話を増し親しみやすくしておく	◎内容を雑談的に話して中に引き入れる
みんなで取り組むこと	
活動を多くの人に知ってもらう	
◎地域の友人・知人に声をかけ誘う	◎活動の都度誘ってみる
町会の回覧に依頼する	長生会ニュースに出す
普段行われている活動を可能な限り若い人に知らせる	◎年配者でも余暇のありそうな人に声をかける
地域の学生（体大・観光大）の協力を求める	女性の力に期待
男性の方に力を入れていただく	◎退職後、2～3か月の人をリストアップ
◎広告を作り一軒一軒配布	◎ポスターを作って回覧する
地域内でボランティアの必要性を話し合う	地域福祉とは何かを理解してもらえれば、手伝ってもらえる人は増えると思う
市 OB に地域活動に参加してもらえるよう教育	
若い年代の人が参加しやすい活動を行う	
◎行事の企画に若い人を入れる	若い人の意見を聞く場所を設ける
佐野台のだんじり引き	町内の行事を増やす
青年団組織を作る	若い人が興味を持ちそうなサークルを町会に
子ども会、育成会中心の盆踊り	学校の行事などに共に参加し、人を知る
地域内に若い年代の住人を増やす	
若い人の移入を図る	公営住宅に若者の枠を作る
空家に大学生を入居させ、ボランティアに登録してもらう	学生に公営宿舎を提供する
若年層の入居を勧める	住宅政策の見直し
空き家に集合住宅を建てる	若い人の勤める仕事を作る（市の課題）
組織や役員のあり方の見直し・強化	
全市民が町会に入ることが先決	町会・班が子ども会に入ることが基本

子ども会→福祉→町会→長生会	会の運営を透明化する
高校卒業後、青年団に入会	古いボランティアが辞める
小・中・高校生のいる家を中心に話し合う	世代交代をすすめる
世代間の話し合いの場を作る	人材を広く募集する
子ども達との連携	お金を払う
ある年齢に達すると強制的に役を与える	
その他	
特別な技術集団を作り、登録してもらう	

テーマ②交流の場をどのように増やすのか	
一人で取り組むこと	
健康に関する話をする	人と病気の話をする
みんなで取り組むこと	
場所の確保	
まず交流する場の確保	◎小さな交流の場を考える
少人数で集えるたまり場を	会館を常開放する
◎町会館をもっと利用する	土日に集会所を開放
集会所の一部開放	集会所の場所
小学校の空き教室を利用させてもらう	◎空き教室の活用
各棟での空き部屋利用	空き家をコミュニティの場に利用する
◎保育所など既存の市施設の活用	憩いの家の定期開放（10時～14時）
◎個人の自宅でグループで寄り合う	空屋の活用
会館の建設を促進する	コミュニティセンター（公民館）が必要
公民館をつくる（私立）	小学校を活用する
公園などで集えるようにする（屋根・椅子）	公園の一部に屋根付きの座席を作る（パラスोलでもよい）
公園などで集えるように屋根・椅子を作る	
運動場所をつくる	
グループ活動の機会を増やす	
◎全住民でカラオケ大会をする	クラブを立ち上げる（将棋・囲碁）
ゲーム大会（昔の遊び）	何かの同好会にできるだけ参加する
◎ゲートボールにみんなで誘い合って参加	サークルの数を増やす
花づくりグループを結成	
行事の参加を増やす	
勤めている人も参加できる行事にする	◎行事の都度声をかけあって参加する
若い年代中心の行事	若い人が参加したくなるイベントを企画
◎活動の楽しさを知らせる	◎活動のテーマを連絡し参加してもらう
抽選会をする	◎交流の場を増やす

茶話会の発展をはかる	◎お話をする機会を多く作る
地域行事を盛り上げる	楽しいイベントを作る（増やす）
町民全体で取り組む行事をつくる	今ある会を広く案内する
多くの人たちで花の種を持ち寄り、花壇を作る	◎花・野菜づくりを紹介しあう（得意なことを一緒にする）
世話をする（代表者）の問題	
その他	
食堂・喫茶店を招致する	お互いに見守り活動をする
生活支援の場をつくる	お祭・お正月などの行事を復活する
各地域団体の活動を援助する	回覧を手渡しする
市のコミュニティバスの回数を増やしてほしい	市の行事の際、コミュニティバスを出してほしい（休日が多いので）

中央地区

1 回目の意見

平成 25 年 9 月 22 日(日) 10:00~12:00

地域のいいところ

人間関係	
人の良さ	人間関係が良い
以外に古風である	近所の人が親切
芸人が多い	世話好きが多い
近所がまとまっている	
便利なまち	
泉の森ホールに近い	公共施設に近い
病院に近い	駅に近い
静か	中学校に近い
近くに公園がある	空気がキレイ
スーパーが近く買い物に便利	街が美しい
市役所に近い	生活しやすい
自然環境	
災害が少ない	自然がある程度ある
海・山に近い	
地域活動に関すること	
福祉委員会が充実している	犬のフンが少なくなった
町役員が一丸となって町のためにがんばっている	長生会が方が清掃等をきれいに行ってくれている
まとまりがある	話し合いで決まったことは皆で実行
古紙・アルミ缶回収	

地域の課題・困りごと

ゴミだし、フン害	
ゴミだしに問題あり	カラス多い
ネコ	野良猫が多い
犬や猫のフン	野良猫に餌をやる人がいる
交流の場	
高齢者のスポーツの場がない	公園が少ない
親(子どもをもつ) コミュニケーションの場がない	
人材の不足	
民生委員のなり手がいない	町会、各種団体の役員をいやがる

人のつながり	
町民の協力がもっとほしい	人と人とのいたわりがほしい
自分勝手な人がいる	横のつながりがほしい
地域を知らない人がいる	
町会加入者の減少	
グループで町内会を脱退	町会への加入者が減少
子供会の入会が少ない	育成会の入会者の減少
若い人に会のメリットがわからない	町会員が少ない
単身者世帯が増加	
単身者世帯が増加	障害者の一人暮らしの方が困った事、思いついたことを連絡してくる
交通に関すること	
子どもの飛び出しが多い	駐車違反の車
不法駐車が多い	自宅前に駐車が多い
大型車が多く通る	
少子高齢化	
高齢化が進んでいる	若い人が少ない
空き家が多くなった	
その他	
表札がない家	マンションの住人さんの不在に困っている
スーパーが近くにほしい	特になし

こんな地域になったらいいな

助け合えるまち	
隣近所同士助け合いができる	向こう三軒両隣の精神をもって隣人関係を良くする
年齢を問わず交流できるまち	町会入会者増になればいいな
昔のようにとなり近所と仲良く暮らす	町会のきまりを守っていく
困ったことがあった場合相談できる体制づくり	福祉の町にしたい
集える場のあるまち	
町会館の拡張	町会館の解放
住民全員で楽しい町づくりができる	町内で体力づくりができる
町の中に会館があればいいな	もっと大きな公園のあるまち
担い手のあるまち	
子ども会育成会の未来を担う人があればいいな	町会・各種団体、民生委員になってくれる人がいるといいな

高齢者や子どもの住みやすいまち	
子どもの多い町	子どもの遊べるまちに
子ども達がのびのびと育つまち	町に若者がほしい
高齢者の住みよいまちに	お年寄りが生き生きと暮らせる街
その他	
月に 1 回でも役所を日曜に開けてほしい	市立の老人ホームにすぐに入居できるように
町名の変更（幸町）	交通事故のないまち

2 回目の意見

平成 25 年 1 1 月 3 0 日 (火) 1 0 : 0 0 ~ 1 2 : 0 0

こんな取り組みが必要

テーマ 1 地域活動に関心をもってもらうにはどうしたらよいか	
《 1 人 1 人で取り組むこと 》	
◎あいさつ	◎各役員の仕事をよく確認しあう
◎引き継ぎをしっかりとほつきりを行う	役員の仕事の負担を平等にするように
犬のフン等の環境意識の向上	
《 みんなで取り組むこと 》	
◎サークル活動の充実	自治会・長生会・子供会を一緒にする
◎各種団体との交流	◎回覧板で報告
◎花見会・バーベキュー大会	◎飲み会・食事会
◎バスツアー	◎バザー・野菜販売
◎アンケート調査（参加したい取り組み）	何ごとも目的をはっきりと
未入会世帯はオーナーさんの協力いただきたい	長生会の方に送迎があれば福祉センターに来れる
情報の公開（各団体活動の取り組み）	隣組の充実
町会にしても団体にしてもつながりの強化	町会活動内容 PR
福祉広報紙の全世帯配布	

テーマ2 高齢者や子どもが住みよいまちにするためにどうすればよいか	
《1人1人で取り組むこと》	
あいさつ運動	家にこもらない
外で遊ぶようにする（誰かが見守る）	
《みんなで取り組むこと》	
◎町民全体の交流	ふれあい交流会には長生会と子ども会を一緒にする
自治会に長生会の方が役員に1人か2人になってもらう	車歩道の分離と段差の解消
空き地の活用（農地も含む）	児童公園をつくる
茶話会で知り合う	会館の広場を活用する
排ガスを和らげる・植物を植える	各種団体の長に対する定期的な会合をもつ
お年寄りに対する町民の声かけ	

◎＝すぐに取り組めること

※同じ意見は集約しています

三小地区

1 回目の意見

平成 25 年 8 月 4 日 (火) 10 : 00 ~ 12 : 00

地域のいいところ

地域住民同士の仲が良い	
あいさつが多い	仲良しで声をかけ合っている
隣近所の人を全部知っている	隣近所の仲が良い
住民の出入りが少ないので隣近所の交流が密である	子どもが知らない人と一緒だと声をかけたりすること
町内会とのつきあい。隣組との交わり	町会加入率が高い
人がよく集まる	団結力がある
住みやすい	安心して生活ができる
地域福祉が行きとどいている。 福祉委員会が充実している。	三小校区の団結力が強み
親切な人・思いやりのある人が多い	
親切な人が多い	思いやりのある町
人情味がある	人が温かい
近所の助け合い	ゴミ置き場をいつもきれいに掃除してくれる人がいる
災害が少ない気候・風土	
災害が少なく安心して暮らせる	おだやかな気候、風土
生活が便利である	
交通が便利（道、鉄道、空港など）	郵便局が近くて便利
夜は静か	近所にうるさい人がいない

地域の課題・困りごと

ゴミ出しのマナーが悪い、ペットの飼い主のマナーが悪い、動物（犬猫鳩）の糞害など	
糞害（犬や猫の糞尿の放置）	犬のしつけの問題。飼い主のマナーが悪いのが気になる（リードを放していきなり糞の始末など）
犬・猫のふんの始末をしてほしいです	
犬の管理	
犬の鳴き声	隣組に犬がいて大変
野良猫が多い	空き地があり草で困る
ハト、カラスの糞が多い	カラスが多い。鳴き声がうるさい。
ゴミ出しが守られていない	ゴミが山積みになっている場所がある
道路にゴミ捨てが多い	全体的に汚い

高齢者が多く、若者が少ない	
高齢者が多い	人口が少なく高齢者が多い
若い人が少ない	若い人が住みたいと思える魅力がない
小児が少ない	後継者の育成
若い人＆子どもが少ない。結婚したら町外に出ていく（市内でも）	若い人が少なく活気に乏しい
だんだん空き家が多くなる	空き家が多い
中学生が公園でタバコを吸う	特定健診の受診率が低い
道が狭くて不便である	
道が暗い	道路が狭い割に車がよく通る
道路が狭いところが多い	道路が狭く車が入れないところが多い
路地ばかりで自由に車が行き来できない	
そのほかの困りごと	
災害に弱そう	大震災に対する備えが乏しい
災害が起こった時の救助のしかた	遊歩道の花壇に布団・洗濯物を干す

こんな地域になったらいいな

若い人が増えてほしい	
人口がもう少し多い方がいい（特に若い人）	高層化マンションなどの建設
若者が増えてほしい	若い人・子どもがもう少し近所にいればいい
青年団の充実・復活（若者あつまれ）	子どもの声が聞こえる街に
子どもの多い、子育てしやすい町	三小の人数が少ないのもっとおおくなったらいいな
高齢者が多く子どもが少ないので、三町合同で婚活するといいのではと思う	少子高齢化はどうすることもできないけれど現状維持に努力したい
空き家の今後対策・空き家の解消	若い人が町内に残ってくれる町
買い物しやすい町になってほしい	
商店街が発展してほしい	近くで買い物がしやすい
歩いて行ける商店街活性化に、みなで近くに買い物に行きましょう	近くで何でも買えるお店がほしい
日常品の移動販売を希望	
安全な町になってほしい	
夜に女性も安心して歩ける明るい町	近くに交番・派出所があったらいいのに
各戸で門燈をつけてほしい	安全・安心な町
健康な人の多い町になってほしい	
健康診断を多くの人に受けてもらいたい。自分で健康管理すべき	高齢者が多いので、新築の家は道が広くなるように協力してほしい

高齢者に必要な運動をしっかりと日常的に行う	高齢者が寝たきりにならないように
高齢者が多くなってきたのでひきこもりにならないように。 いろいろな行事に参加できるようにしたい。	長寿で健康な明るい今迄とおりの町であってほしい
町内に医療機関が欲しい	高齢者の未病の対策・予防 市の福祉の協力で活用したい
きれいな町になってほしい	
町内が常にきれいな町に	町内にお花がいっぱいの町に
夜はホテルも飛んでいる町	きれいな公園
道路わきに草やゴミが生えてきたら、誰でもいいからすぐにとって始末するようなきれいな町になってほしい	
住民同士のつながりのある町になってほしい	
笑顔であいさつのできる町	信頼感がお互いに多い町
町内の行事やボランティア活動に参加してくれる人がもっと増えたらいいな	知らない人でも気軽にあいさつができるような町づくり
道で会ってもだれでも笑顔で挨拶が自然に出来る	小さな子どもからお年寄りまでみんなが知り合いですよ、と言える町に
みんなで協力して共に楽しく出来たらいいね	お互いに楽しく暮らせる町
近所の助けあい	
その他	
活気のある町に	老若男女楽しく暮らせる町
もう少し若い人が年寄りの気持ちをわかってあげてほしい	
車が気楽に通れる道幅がある町	道路を含めた区画整理された町割り
これ以上の地域はない	今のままだがよい

2回目の意見

平成 25 年 10 月 27 日(火) 10:00~12:00

こんな取り組みが必要

テーマ1「若い人が増え、活気のある子育てしやすい町づくり」	
《1人1人で取り組むこと》	
住民同士・家族の関係	
◎子育て中のお母さんには、こちらから積極的に声かけをしたい	◎新しく引越して来た家に訪問し親しくなっていく
◎思いやりのある町にしていく	◎近所の仲を良くする

◎若い同世代の女性を大事にする	◎若い独身を結婚させて住居の提供
嫁姑の関係を良好なものにする（同居）	あいさつ
二世帯住宅を増やす	若い同世代の女性に福祉を知って貰う
安全・安心	
◎安全な町づくり	外灯
空家活用	
空家になっている所に若い世帯を誘致	空家を活用し若い世代を迎えたい
その他	
◎里親制度を利用する	ボランティアに対するポイントを出し福引で商品
	を出し町会を盛り上げる
《みんなで取り組むこと》	
人・活動	
◎子ども達に声かけをする	◎会館にてサロンを開催する
◎長生会・子供会協力してラジオ体操	青年団の充実（今ないです）
◎福祉活動に限られた人だけでなく、もっと協力してほしい	商店の空店舗に若者用の作品展など企画したらどうか
若者が増えてほしい	三小の人数が増えてほしい
話しやすい場所が・・・	子供会の充実
若者が外にでない様なし話合いを地区でする	若い夫婦を町内で住んでいただく運動をする
安心・安全	
◎防災活動に中高生をひきこむ	◎門燈をつける呼びかけ運動×3
夜でも安心して歩ける町にしたい	（街を明るくするため）
空き地・土地活用	
◎空き家の持ち主は至急なくするように努力する	空地・空家を市が借り上げし、子育て世代に貸す
空き家が多いので片づけてほしい	空き地・空き家を少なくする
マンション、ハイツが増えるとよい	臨空道沿いにマンションを
古い家をつぶして新しい家を建てる	空家のある所に新しい家を建て若者が来るように
空き地をなくし開拓をする	
若い人向けの住宅（マンションなど）を確保するのがまず一番の準備	老朽化した空家を簡単に処理したい
	タイムズ等の有料Pをつくる
交通・道路関係	
道路を含めた区画整理×6	土丸栄線を浜まで延ばす
車が入れる道路を作る	道を通して車が通るようにし若い人を呼び込む
円田川を道路にする	車が町内行き来できる町にしたい
地域環境	
◎児童公園を充実すること	コンビニをつくる
若い人が住みやすい環境にしてい	子育て公園

子育て 保育所	緑の多い広い公園
公園遊ぶ所を増やす	駄菓子屋をつくる
公園の遊具を増やす	
その他	
子供手当の増額	若い人が近くで仕事出来るように
子育てサポートの充実	若い人が税金の安い市を選択している
商店街の活性化	安い安全な住宅が欲しい
子どもを近くの保育所、幼稚園に預けやすくする	働く場所の充実

テーマ2「長寿で健康な人が多く、明るい町づくり」	
《1人1人で取り組むこと》	
健康	
◎よく眠りよく食べる	◎健康診断を欠かさず受ける
毎日の食事が大事	健康診断を受ける（受診率を高める）
一人一人の健康が第一	ウォーキング×2
サイクリング	スポーツセンターで体を動かすこと
活動	
◎長寿の人のボランティアへの参加	◎仲良く元気で話し合う
◎特に近所の仲を良くする（近所の助け合い）	◎ボランティア活動がもっと活発にできるような市等が働きかけをする(町だけにまかせない)
◎隣近所で声かけをする	
隣近所の交流（相互の安否確認）	手芸等をする場
社会福祉の地域活動を理解してもらう	隣近所の仲良くしている人たちで各戸に声かけて仲良しの輪を広げる
いろいろな行事に参加してほしい	
お年寄りから若い人達に今までの習慣などを伝達していく	高齢者が自由に出入り出来、おしゃべり出来る場所を作る
会館を利用したい少人数の趣味の会	
《みんなで取り組むこと》	
地域活動・サロンの充実	
◎年長者の方に料理やいろいろ教えてもらいたい（昔の話なども）	◎子育てサロン開催に合わせて世代間交流のミニサロンを同時開催にする
◎カラオケ大会を拡大していく（人数を増やす）	◎いきいきサロンに今まで来なかった方をさそう
◎長生会・子供会協力してラジオ体操	◎高齢者の会合で特定健診をすすめる
◎話し合えるサロンを開く（茶話会）	◎長生会館を月に3回位開放して簡単なサロンを開く 福祉の充実
◎福祉充実してなるべく外でお話できるような場所をつくる	

ミニサロンを開催して集いの場を作ってほしい	隣組どうし誘い合いをして、いきいきサロン等に参加してほしい
いきいきサロンの内容をさらに充実	健康診断を毎年受けて体を動かすことをする
毎朝ラジオ体操を放送する	福祉センターで体操しているのを町会でする
健康セミナー等で知識を知らせる	お茶のみ会を開く
町会主催の行事を増やす	いつでも集まって話出来る場所を作る
地域的に運動、その他勉強の日を決める	町会で集まる(茶会)など出来る場所があれば
一人暮らしの人も多いので近くでお店がほしい	町内で食事できる所がない。町営で何かできないか。最初は老人喫茶で良い
その他	
手押し車や歩行しやすい道づくり	羊を飼って子どもと世話をする。草も食べてくれるので一石二鳥である
隣組の復活	
きがるに行ける病院がない	商店街の活性化で町内又は地区資本を提供してもらい利益ができれば配当金を出す。
近くにスーパーがほしい	
この傾向が続いてほしい	
道路を整備する(足の悪い方でも歩きやすい道に)	若い人が住みたいと思える魅力がない

◎＝すぐに取り組めること

※同じ意見は集約しています

二小地区

1 回目の意見

平成 25 年 8 月 22 日 (木) 19:00~21:00

地域のいいところ

生活しやすい	
駅が近くて住みやすい	医療機関、福祉施設が多い
何をするにも便利	病院が近い
生活するのに便利	入院出来る施設が多い
どこに行くのも便利	医療機関が多い
買い物が便利	道路が広い
コンビニが近くて多い	高速に近い
周りに店が多い	幹線道路に近い
シャッター通り商店街が近い	官公庁が近い
りんくうタウンに近い	二小が近い
野菜が安い	安心安全な町
人との結びつき	
皆さんが協力的	隣組なかよし
あいさつし合う	町会の仲がいい
皆が親切	近所付き合いが良い
近くに親戚が多い	色んなことに対して協力的
会えば挨拶をする	みなさん協力的である（クリーン作戦等）
社交的	元気が良い
近所の深い交流がある	色んな物を預ける
団結心がある	まとまりがある
古い町であるので近所づきあいがある	もめることがない
昔の行事が残っている	隣近所親しみやすい
大人と子供の接点がかなりある	行事に参加する人が多くいる
町会経験者が多い	町会役員、民生委員が素晴らしい
環境	
静かな町	緑が多い
何も無いところが良い	周囲が静か
ゆったりしている	落ち着いている
田畑が残っている	空気がきれい
昔の自然が残っている	災害が少ない
こじんまりとしている	散歩する人が多い

地域の課題・困りごと

人との関係	
同じ組での交流が少ない	新興住宅地との知り合う機会がない
隣近所の付き合い方が…	新しい家がまとまって建つ
ちょっと離れると家庭環境が分からない	表札がかかっていない
連帯感が少ない（栄町・大西町）	古くからの住民と新しく入居された方との交流がない
町全体のまとまりが弱い（上町）	住民の交流が少ない（高松東、西、北）
高齢化	独居老人が多い
若者が少ない	子どもが少ない
個人情報保護法で高齢者世帯の把握が出来ない	障がい者を把握できない
自己的な人がある	何でも相談に来る
政治に関心のない人が多い（投票率が低い）	うわさ話の好きな人がいて困る
地域活動の担い手不足	
町会に入ってほしい	権利を主張し義務をしてない人がある
隣組に入ってほしい	協力しない人がある
町会役員、民生委員になろうとしない	町会の必要性を認識していない
ボランティア精神がない人が多い	地域に協力してほしい
ゴミの問題、動物の問題	
ゴミのポイ捨て	野良猫、野良犬が多い
風でゴミが散らばるマンションがある	犬、猫のフン
ゴミの片づけ	鳥のフンが多い
たばこの吸い殻を道に捨てる人がある	カラスがゴミをつつく
公園にゴミが多い	害虫（蚊）が多い
溝に土やゴミが溜まっている	
交通・公共	
道が狭い	車が良く通るのでほこりっぽい
道が狭いのに車が突っ込んでくる	公園が少ない
通学路があちこちでガタガタ	市役所が遠い（高松南、西）
信号のないところがある	学校が遠い（大宮）
車の交通量が多くなった	ポストが遠い
空連道そばの騒音と排気ガスが気になる	下水道の処理が出来ていないところがある
治安・防犯面の課題	
防犯面に不安がある	植木が度々盗まれる
街灯が少ない	
マナー、その他	
バイクの騒音	車の音がうるさい

車の運転手のマナーが悪い	職業安定所前が不用心
マンションの住民の行儀が悪い	食べ物屋さんが少ない
空地が多い	空地の雑草が気になる

こんな地域になったらいいな

住みやすい町	
住民が気持ち良く住める町	定住者が多く住める町
きれいな町	清潔で安心な町
もっと明るい町に	ボランティア活動をする人が多い町
いじめのない町	虐待のない町
町全体が把握できる町	人の幸せを第一に考える人が多い町
貧富の差が少ない町	人通りの多い町
心の豊かな人が多い町	高齢者を尊重する町
マナーが守れる	お金がいっぱい落ちている
グループがない町	べっぴんさんが多い町
若者が多い町	自主防災組織を作りたい
公共	
市役所の分所を1つ設けてほしい	公園がある町
必要な所に信号がある	木・花が多い町
町全体を自然エネルギーで運営される	商店街の発展
議員の数を減らして高齢者に手厚く	大型スーパーが出来てほしい
区画整備が進んだ町	閉店舗のない町
下水使用料が安い町	街灯が多い町
子どもが自由に遊べる場所が欲しい（広場）	明るい町（街灯など）
人との結びつき	
さらに助け合いの取れる町に	世代間の交流が盛んの地域になってほしい
声掛け気配りを大切にしたい	世代がつながる
1日1回「あいさつ」の町	あいさつ出来る町
閉鎖的でなく交流のある地域	隣近所にどんな人が住んでいるのか分かる
皆が知り合い	子どもたちの交流の場をもっと持ちたい
町会全体で虐待問題に取り組む	人々のコミュニケーションが取れた町
出来るだけ町会に入ってもらう	他人にやさしい町
町会加入率アップ	もっと人と人のつながりが欲しい
隣組がなにかあれば連絡しやすくしておく	昔のように近所付き合いが深くなる
町のみんなが気持ちよく挨拶ができる	人類みな兄弟という町

2回目の意見

平成 25 年 9 月 19 日(木) 19:00~21:00

こんな取り組みが必要

テーマ1「いじめや虐待を防ぐ、孤立する人のない地域づくり」	
《1人1人で取り組むこと》	
◎声掛け・あいさつ運動、人に出会ったら挨拶を交わす、声をかけあう(×5)	町会に入る(×2)
子どもの見守り運動(特に不登校時)	知らない人にも会ったら挨拶する
子供会に入る	イベント前に誘いに行く(直接家に)
隣近所の会話	行事に積極的に参加する
幼児虐待についての講座(大西町公民館で月1回開催)に参加する	優しい目でその人を見る
地域の交流の場を育む時間をとる	友だちを作って相談する、助けてもらう
《みんなで取り組むこと》	
◎情報を伝える	集会を数多く開く
個人情報を知る	全員町会に入会してもらう
虐待防止法の運用の強化 ⇒通報しやすくする	町会加入率アップ ⇒町民の把握しやすい
いじめ、虐待の事実をオープンにする	町会のメリットを知ってもらう
通報しやすくする	地域コミュニティを大切に
いじめ、虐待があれば報告してもらう	皆で町会の役をしていけば良い
個人情報の緩和 ⇒知りたい情報がとれる	町民が一同に会するイベントの計画、実施
家庭環境の把握しやすい行政の体制	町内主催のレクリエーション
小学校の道徳でいじめ問題をとりあげる	防災をキーワードに結束の活動
いじめや虐待は今のところない	シニア会で交流会開催(月見祭など)
人の事はとやかく言うが、いざ、我が家の事になれば話ししない	クリーングリーン、町会館の掃除への参加を促す
家庭教育	簡単な茶話会を行う
子ども達とお年寄りの交流会	年末には町内で夜警に廻っている
ボランティアによる家庭訪問⇒実態把握	集合住宅で孤立を防ぐため月1回是認で掃除している
集合住宅も町会に加入する	ネットの充実 交流会の実施
祭をやれば良い	世代間交流のためのイベント実施
町内会館に於いて納涼会やお月見の会など年4~5回寄っている	町会役員選出に困っている状況
若い人の町会行事参加	

テーマ2	
「地域活動の担い手（町会役員、民生委員、ボランティアなど）をどうやって確保するか」	
《1人1人で取り組むこと》	
◎町会役員の仕事の良さを伝える	定年後の第2の人生
家族の協力	人の良さそうな人を常にさがす
2年で替わろう	会長がしつこく口説く
家族友人を誘う	仕事の都合でできない
役員等になっての意義をどう感じさせるか	活動的な人を探す
町内会（自治会）にメリットを感じない	年代を問わず皆忙しい
地域活動に意義を感じない	自分の事だけで精一杯
《みんなで取り組むこと》	
◎活動内容、特に良い所を伝える	不謹慎な話しですが有償にすればすぐ確保できる ⇒実例が多々あります
町会の前役員に相談する （協力的ではない）	仕事を会長に集中させずに全員でやる体制にする
ボランティアを行っている人と交流会をする	共稼ぎの家庭が多いので確保難
役員全員で頼む、何回も頼みに行く	バーベキュー等の飲み会を企画する
将来の町会役員確保のため、今の子供会青少年指導員を巻き込む	団体で参加してもらう （小学校5年生全体など）
ボランティアごと、町会の活動ごとの チラシ配付を増やす	交流会に来てくれた時直接誘う

◎＝すぐに取り組めること

一小地区

1 回目の意見

平成 25 年 9 月 1 日(日) 18 : 00 ~ 20 : 00

地域のいいところ

地域住民同士の仲が良い	
近所との付き合い	昔なじみ
町会の人々と話しやすい	ものたのみ ok
ボランティアの団結が強い	話がしやすい
まとまりがよい	年齢問わず仲が良い
話し合いが出来る	程良い付き合い(笠松)
隣近所気が許せる	協力性がある
人柄に関するいいところ	
自分達の住んでいる所は良い人が多い	お世話好きが多い
積極性のある責任感の強い民生委員がいる	男前がいる
まじめな人がいる	美人がいる
声をかけると必ず返してくれる	あいさつがしやすい
親しみやすい	年寄りが多いが良い人ばかり
清潔な人が多い	面倒見がいい
おだやか	常識的(笠松)
地域のイベント・行事・楽しみ	
もちつき大会がある	子どもだんじりがある
夕涼み会がある	小学校運動会の応援
子育てが楽しみ	月 2 回カラオケをやっている
生活の便利なところ	
病院が近い	整骨院が多い(元町)
歯科が多い(羽倉崎)	大学がある(羽倉崎)
空港が近い(羽倉崎)	駅が近い(羽倉崎)
スーパーがある	24H 営業のスーパーがある(羽倉崎)
近くにニトリがある(松原町)	食事をするところが多いので 女子会が楽しい(羽倉崎)
コンビニが町内にある(西本町)	ワシントンホテルの食事
環境面のいいところ	
海がある	山がある
田畑が近くにあり緑が多いこと	田畑があるので季節を感じることが良い
散歩コースが近くにある	公園が近い

町が清潔	あまりゴミがない(元町)
安心・安全な町	
治安がいい	犯罪が少ない
安心に暮らせる(西本町)	事件等がない
雨が降っても被害は少ない	安全な町
災害がない	
その他	
市長と話がしやすい	町が明るい、他町に比べ(笠松)
子どもの声がよく聞こえる(本町)	暮らしやすい(西本町)
新川邸がある(本町)	隣の声は聞こえる(本町)

地域の課題・困りごと

ペットの飼い主のマナーが悪い、ゴミ問題、動物に関する害など	
犬の糞のほったらかし	犬の放し飼い
ネコの害(捨て猫が多いなど)	野鳥の食害
ゴミの不法投棄(タバコの吸い殻)	ゴミ収集の決まりが守れない
自分達の近くのゴミや草など少しでもきれいにしたい	各家庭の家の周りをきれいにする心がけが小さい
中学校の近くの通路にゴミ袋を捨てている	市のプランターのそばにゴミ
自転車・単車の放置	
高齢化、若者の減少	
ボランティアの高齢化	町会役員のなり手が少ない
月1回皆で掃除するのが足腰が痛い	町会加入が少ない
少子高齢化	若い人が少ない
子どもが少ない	新しく入会者が少ない(町会)
道に関する困りごと・課題	
道路が狭いし路面も悪い	細い道でも車が入ってくる
道路がでこぼこ	道が細い
車の止める所	緊急車両が通れない
環境に関する困りごと・課題	
中学生が通学途中に何列にもなって歩いている	小学校が遠い(羽倉崎)
子どもの遊び場がない	子育て支援がやりにくい
他町の外灯切れ	側溝がつまりぎみ(蓋がない)
騒音問題	土曜日、暴走族がうるさい
夜中のバイクの音(羽倉崎)	不審者対応
空き巣が多くなった	店屋がない(元町)
空き地・空き家が多くなった	空き地の草

そのほかの困りごと	
自分勝手に困る	すぐパトカーを呼ぶ・寛容さが無い(西本町)
特定の人がゴミを拾っている (みんなでの活動になっていない)	～ながらスマホ

こんな地域になったらいいな

若い人が増えてほしい	
若者が多い町にしたい	若い人がもっと話しかけてほしい
生活しやすい道がほしい	
もっと広げてほしい	自転車道が完備された町
車が多いので家の近くの道路のところにミラーを付けてほしい	雑草のない道
安全な町になってほしい	
町で気兼ねないあそぶところがほしい	防災に対する準備・計画
環境面が充実した町になってほしい	
下水道完備の町	商店街の活性化
買い物のしやすい店がある	小さいスーパーが欲しい
都市ガスを通してほしい	電信柱のない町
きれいな町になってほしい	
住民参加の美化運動(月 1 回)	ゴミのない町
溝が汚いのでみんなで一緒に掃除するのはどうか	公園の掃除をしてほしい(用心が悪い)
緑が多い空気がきれい	
住民同士の絆のある町になってほしい	
みんなの顔の見える町	みんなが楽しく暮らせるように
子供会の親がボランティアに入ってくれたらいいなあ	みんなで催し物を楽しむ地域
ボランティアが増えてほしい	お年寄りがゆっくり話ができる公園が欲しい(西本町)
住み良い町に、みんな仲良く	
その他	
明るい笑い声がする町	個人的少欲知足、環境的裕福

2回目の意見

平成 25 年 10 月 25 日 (火) 18:00~20:00

テーマ1「地域活動に若い世代が参加できるようにするには？」	
《1人1人で取り組むこと》	
参加の呼びかけ	
町会に必ず入ってもらう	行事に参加を呼びかける
関係性の構築	
若い人たちと出来るだけ親しく、あいさつをするようにする。	隣の方との付き合いを大切にする言葉をかける
若い人自身が何をしてほしいか、求めてもらう	
居住形態の変化	
親との同居	まず若い世代が実家にもどる。
《みんなで取り組むこと》	
若い世代の意見が通りやすい組織運営	
若い方々の希望・意見が聞き入れてもらえない(のを解消する)	子ども会の人と出来るだけ対話をし、コミュニケーションを図っていく
若い人の意見が通る町会にしたい	町会役員と各団体との話し合いをスムーズに運営する
世代間交流をもう少し全町民にアピールし、参加しやすい内容に	活動の日を日曜日を多くする
若い世代むけの行事・活動を行う	
親子で楽しめるようなテーマを出し、お互いに誘い合えばいいかと・・・	親子で一緒に出席できる催しを開く 子ども同席のできる行事
子ども主体を中心に催し物を考える。	料理教室（親子）
合コンをする	若い人に参加してほしい活動を考える （町内清掃・防災活動）
若い人の活動・イベント	◎子どもだんじり
全世代むけの行事・活動を行う	
各種団体・行事の充実	防災訓練
町内運動会を開催し、全町民の参加を促す	ボウリング大会・書道展・絵画展の主催
町内会主催の旅行等	クリスマス会等のレクリエーション
行事の料理（お月見など）	会館で集まってするハロウィン
郷土料理を教えてもらう	◎カラオケ大会
◎タコ焼き他、バザーを作る	空き工場内場所で室内ゲームをする
◎家族対抗ボウリング大会	ディスコン（みんなで）
誰でも若い人・年寄りもできるスポーツ・ゲーム	趣味のクラブをつくる。
身体を動かすラジオ体操や歩く会	◎夕涼み会を全町民に呼び掛け

◎餅つき大会・シメナワつくりを町全体の行事に	フリーマーケット（物々交換） 本の交換会
スーパー銭湯を作る	コミュニティカフェ （地域の惣菜屋さん）
社交ダンス	サウナとマッサージ
これまでの取り組みの改善	
◎イベントのお知らせを更に良くする	◎清掃作業のローテーション化で集めるごみを縮小化
町会館の活用	会館の無料開放（各種団体・隣組）
若い世代に住んでもらう	
住宅建てる	空家活用
新しい家が売れて若い人が来るように！	若い女性を増やす。住んでもらう。

テーマ2「高齢者や障害者が安心して暮らせる町にするには？」	
《1人1人で取り組むこと》	
見守り・声かけ	
◎高齢者等に声かけ、見守りが大切だと思います。	◎家に行って話し相手する
◎声かけして昔話を聞く	◎回覧板をまめに出す
◎顔見知りになれる機会をつくる （あいさつ運動）	おすそ分けをする
元気ですよーのサインを出すようにする	◎散歩する人を増やす（見回り強化）
相談しやすいように心がけ、お手伝いができるようにと思います。	
生活支援	
◎ゴミ出しの手伝いをする	◎買い物などの手伝いをする ◎一緒に買い物をする
◎外出の手助けをする	日常生活で困ったことに誰かが手伝ってやれる
社会参加の促進	
趣味を持ちかける	◎長生会に入れる資格のある人に進んで加入してもらう
◎昔してきた事を教えてもらう	
ボランティアの増加	
ボランティア（協力員）を若い世代に呼びかけ	ボランティアの方々の高齢化で若い方々の参加を

《みんなで取り組むこと》	
要援護者の把握	
高齢者の生活状態を把握する。	障害者のリストが欲しい
買い物支援	
小規模の量販店が近くにあればいい	小さいスーパーがほしい
昔ながらのお店、買物	移動販売
移動支援	
コミュニティバスの停留所の場所を考えてほしい（スーパーの前など）	タクシー料金の補助
病院が近くにあれば良い	車いすが通れる白線
自動車の通らない道を作る	道路の段差をなくす
集まる場所・機会をつくる	
会館をもっとつかい若い人・年寄りいろいろの楽しい活動をしたい	集会の場をつくる。 町会館の活用。
公園・広場が欲しい。	ベンチを置く
高齢者同士の話の場	AED を設置する
長生会のイベントをふやしてやる	食事会に招待する。
高齢者の保育所（宅老所）	高齢者の農園づくり
災害時の備え	
災害のあった時、高齢者の声かけをする人を決めておいたらよいと思う	いざという時の連絡網
防災を隣組単位で	防災訓練
防犯の取り組み	
夜道を明るくする	警察官に見回りを増やしていただく
地域での見守り体制を強化する	
町あげての見守り体制をつくる	各隣組で見守りのアシスタントを置く
近所に助けてくれるボランティアさんを募っておく（買い物・困った時）	もっと隣組を活用する
民生委員の方の若返り（体力が必要）	高齢者や障害者の相談者をつくる
その他	
ゴミ収集場所が家の前以外の所があります。出す為に大変困っています。その方々が家の前でも収集してもらえないでしょうか	本件は市がイニシアチブをとるべきこと。あまりにも地域に期待しすぎる。

◎＝すぐに取り組めること

※同じ意見は集約しています

末広地区

1 回目の意見

平成 25 年 9 月 1 1 日(水) 19:00~21:00

地域のいいところ

生活が便利であり、交通の便が良い	
末広公園が近い	住宅地の近くに畑がある
街灯が多い	スナックやカラオケが近くにある
気候が良い	プールがある
駅にエレベーターができる（来年 3 月）	魚がおいしい
環境美化（清掃、分別、リサイクル）	銭湯がある
空港が近い	環境が良い（町がきれいで空気がおいしい）
体育館が近い	福祉が充実している
交通の便が良い	駅が近い
小学校が近い	スーパーが近い
病院が近い	コンビニが近くにある
地域住民同士の仲が良い	
人と人との輪を作っている	以前より話し合いが多い
昔からの住民が多く良く知っている	近隣の方同士関心を持っている
隣組の方みんな親切	仲のいい人同士で楽しく話している
皆が声掛けを良くする	挨拶を良くする
野菜なもらい物のやり取りがある	自治会役員の方がお世話くださるので暮らしやすい
助け合いができる	まとまりがある
毎月の掃除にたくさん参加される	町会が素晴らしい
相談をできる人が多い	当班内のチームワークが良い
遠慮なく話ができる	行事が多くて楽しい
親切な人・思いやりがある人が多い	
親切な人が多い	動物愛護の気持ち強い
気さくな人が多い	協力的である
ツバメなどを可愛がっている	福祉に熱心
ルールを守る	町会長が率先して動き回る
困っていたら助けてくれる	思いやりの心を大切にしている
元気な人が多い	
元気な人が多い	みんな明るい
高齢者も元気	

地域の活動が活発	
子育てサロンがある	子どもの見守りが活発
子どもを大切にしている	回覧板は手渡しで行い、安全確認をしている
地域の安全守る活動がある (子ども見守り、防犯等)	他人の子どもでもよく見てくれる
週2回長生会の体操がある	婦人会で健康体操をしている

地域の課題・困りごと

生活の便が悪い	
自販機が少ない	買い物するところが遠い
コンビニがない	近くに商店街がない
病院が少ない	来客用の駐車場がない
水洗トイレではない	エレベーターのスピードにばらつきがある
町会館が遠い	階段が辛くエレベーターを付けて欲しい
子どもの遊び場所が少ない	側溝の草伸びている
人とのつながりが薄い	
名前が分からない	引っ越してきた人からの挨拶がない
子ども会がない	町内の呼称がない
表札がない	町会加入率が悪い
町会などの役員候補が少ない	町を愛する意識が低い人が多い
高齢者が多く、若者が少ない	
高齢者が多い	子どもが少なくなっている
独居高齢者が多い	空き家が目立つ
道が狭い、暗い、危ない	
緊急車両の進入路が狭い	駅までの道が暗い
側溝が危ない	道路が狭い
学路が危ない	地下道が危険
街灯が少ない	車が多い
災害対策ができていない	
災害が起きた時が心配	近所に高い建物が無い（津波の時に心配）
動物の糞害、飼い主のマナーが悪い	
猫のフンが多い	犬のフンの後始末ができていない
ペットのにおいが気になる	ペットによる他人への迷惑が多い
犬のフンが多い	野良ネコが目につく
ゴミ出しのマナーが悪い、ゴミのポイ捨てが多い	
ゴミの不法投棄が多い	側溝にゴミを捨てる

ポイ捨て	ごみ袋代が高い
公園にゴミが多い	ゴミを他町から捨てに来る
末広公園の砂場が汚い	
車、自転車のマナー、その他マナーが悪い	
車の騒音	違法駐車が多い
エレベーターを汚す人がいる	駐輪場の整理ができていない
教習所の騒音	近所の騒音
マナーが悪い	非常識の人がいる
エレベーターを降りたところにタイヤを置いている	子どもの自転車のマナーが悪い
階の上から物が落ちてくる	上からボール等を投げ落とす
その他	
野焼き	生活保護世帯が多い
独居老人宅へのオレオレ詐欺が多い	

こんな地域になったらいいな

若い人が増えてほしい	
子どもが多い町	子どもを産んで育てやすい環境
子どもが安心して暮らせる	
高齢者が元気に過ごせる町へ	
65歳は高齢者ではないと思えるような町	歩いてすぐの所に買い物出来る所が欲しい
一人になってもここで暮らしたいと思える	健康な町
理想の町へ	
きれいな町	風通しの良い町（情報が客に伝わる）
楽しい町	ほがらかな町
マナーを守るまちへ	
ルールを守りながら暮らす	ゴミを捨てないまちへ
交通ルールを守る	
住民同士つながりがあるまちへ	
もっと近所でコミュニケーションが取れる	子育てで悩んでいるお母さんを支えたい
皆で声掛けをする	一人ひとりの違いを理解できる町
子ども達と触れ合いながら暮らしたい	助け合いの出来る町
お互いを尊重し合う	今以上に団結する
高齢者も若い人も仲の良い地球になりたい	皆が顔見知りになる
人の悪口を言わない	明るい挨拶ができる町
頑張っている人をほめる	

活動の活発化	
町全体の活動をしたい	地域の力で住みよい町にしたい
心を一つにして泉佐野一番の町に	地域で青少年の育成をする
町会館をもっと大きくしてほしい	もっと若い人達に自治会をひっぱってもらう
若い世代が積極的に町会に参加	役員になることを人任せでいる人が少ない
町会イベントができる	
防犯・防災の整備	
防災グループをつくる	駅までの道に防犯カメラも設置
治安の良い町	交通事故のない町
災害時、緊急時の備えが万全な町	犯罪のない町
緊急放送の設置	
その他	
高齢者施策の充実	泉佐野市の財政が黒字に
総合病院の充実	団地内全部にエレベーター設置
下水道の完備	道路が広くなってほしい
高齢者のスポーツ大会の実施	子どもが遊べる室内プールが欲しい
健康診断、人間ドックの補助が欲しい	自転車専用の道路が欲しい

2回目の意見

平成 25 年 10 月 16 日(水) 19:00~21:00

こんな取り組みが必要

テーマ①住民同士つながりを増やすためにはどうすればよいか

《一人一人で行き組むこと》

◎まずは挨拶からはじめる	◎やさしい心を持ち人と接するようにする
◎何事も自分の事に置き換えて行動する	◎声かけや安否確認する
◎子どもに話しかける	◎話しかけやすい雰囲気をつくる
◎挨拶して顔見知りを増やす	◎花を植える
◎隣家との付き合い	◎声かけをする
◎感謝の気持ちをもつ	◎怒らない
◎悪口をいわない	◎威張らない
◎学校行事に参加する	◎町内行事に参加する
◎コミュニケーションを増やす	◎笑顔を心がける
◎身近な人とのコミュニケーションを大事にしてそれを広げていく	◎助け合いの気持ちを持つ
	◎散歩することで知りあう
◎高齢者に優しい心を	◎いろんな行事に参加する

一人一人の違いを理解する	運動会に参加
いろんなマナーを守る	親切心をもつ
《みんなで取り組むこと》	
◎食事会	◎お互い尊敬しあう
子どもと大人の交流会をおこなう	顔見知りになるために、話し合う機会を持つ
声かけし合い地域で登校するようにする	団結心で一致する心
皆で草刈りに参加し、終了後お茶会を行う	多くの人が集える場所、サークルが増えてほしい
集会所で加竹をして、終了後お茶会を行う	町会イベントが出来る町
夜廻りをして、終了後お茶会を行う	地区でする催しが無い（催しが欲しい）
子ども会がない（作りたい）	町会への強制参加
住民同士合う機会を増やす	防災訓練
近所での助け合い	交流をとりやすい行事を行う
町会が住民の意見を聞く機会を多く持つ	地域で旅行に行く
町内の清掃の推進を強く広げる	隣組全体でコミュニケーションをとる
町をあげてのイベントをおこなう	年中行事を利用し集まる機会を増やす
楽しいイベントを開催する	料理自慢、料理教室の会を行う
趣味の会の集い	のど自慢を行う
同郷同士のふれあいを行う	将棋、囲碁、ゲートボール、カラオケの会

テーマ②高齢者が安心して暮らせるようにするにはどうすればよいか	
《一人一人で行きとるこゝろ》	
◎一人暮らし高齢者に声をかける	◎買物の手伝い
◎話や悩みを聞く	◎困っている様子を見たら声をかける
◎高齢者の相談相手になる	◎近くに住む高齢者を認識する
◎出来るだけ話の輪の中に誘う	◎近所の住民が声かけを行う
◎高齢者を家から外へ誘う	◎思いやりの心を大切に
◎いたわりの気遣いを大切に	◎高齢者の要望を聞く
◎買物や掃除の手伝い	◎お隣同士の安否確認
◎物を買う時に相談を受けるようにする	◎定期的に様子を見るため訪問する
◎いたわりの心をもつ	趣味を持つ
友愛電話は心強い	相手の立場に立って物事を考える
不安を持った高齢者に声をかけ不安を取り除く	
気軽に相談に乗り話しやすいよう努める	些細なことでも話を聞き、話相手になる

《みんなで取り組むこと》	
◎倒れた時に知らせる所がわかるようにする	◎耳、目が不自由な人へのサポート
◎隣近所のお付き合い、声の掛け合いをする	◎近所の方が常に気をつけ見守る
人と人の輪を作る	高齢者の検診票を作成し福祉で保管
仲の良い友人を作る	皆で声かけし合える町
高齢者同士集まる機会を増やす	子どもと高齢者の交流会を開く
介護保険サービスを取り入れる	介護予防の充実
近くにかかりつけ医がある	団地内のILパター設置
集まって話せる場所を作る	町会管轄外の整備をする（南海高架下）
隣組が親しく声を掛け合う様にする	分かりやすい防災マップを作る
街灯をふやす	バスの本数を増やす
通院サービスの充実	近くで買物が出来る町
近くにスーパーがある	歩道の整備
福祉の充実	段差のない道路
インターネットでの買物をお年寄りが出来るように支援する	
町内のバリアフリー化	警官のパトロール強化
近くに交番が欲しい	近くに八百屋がほしい
高齢者とのふれあいの場を作る	チームワークを良くする
地域全体で高齢者に暖かい気遣いが必要	（仮称）お年寄り１１０番
環境をよくしたい	高齢者に優しい情報の共有
広い道幅が欲しい	お寺のような施設がほしい
各町内で集会所を作る	コンビニが町内に欲しい
高齢者が集まりやすい施設を近くに造る	

◎すぐに取り組めること

長滝地区

1 回目の意見

平成 25 年 8 月 20 日 (火) 19 : 30 ~ 21 : 00

地域のいいところ

人から	
人が良い	皆さん明るい
人情深い	人々が親しみ深い
保守的	人が優しい
良心的な人の集まり	
人のつながり	
地域に愛着がある	団結力がある
人のつながりが強い	皆の和
隣近所の助け合い・つきあいが深い	人のまとまりがよく仲が良い
祭りのため一致団結している	結構まとまっている
地域の連携がある	人がきびしいところ
親睦力	よくわかってきている友達が沢山いる
知り合いが多い	
環境が良い	
災害が少ない	のどかである
ゴミゴミしていない	おだやか
スーパーや病院が充実している	歴史ある蟻通神社がある
魚、野菜などたくさんある	水が枯れる心配がない
気候が安定している	台風・洪水が少ない
学べる場所・公民館がある	集いできる会館がある
いなか	花壇がある
人口が少ない	緑が多い
平和	玉ねぎ水ナスおいしい
犯罪が少ない	都会に近いところ
田んぼのあるところ	自然がのこっている
海に近い	
地域活動が活発	
お祭りがにぎやかでいいところ	祭りが多い
各種団体の活動が活発	子どもを大切にする(集団下校など)
福祉活動が充実している	各種団体のチームワークが良い
長生会が協力する	ボランティア・長生会・カラオケが盛ん

自治会に協力している	グランドゴルフをしている
だんじり祭りが続いている	隣組組織がしっかりしている
盆踊りがある	
その他	
子どもが元気	同居が多い

地域の課題・困りごと

ゴミや犬の糞尿のマナーに関すること	
ポイ捨てが多い	ゴミを前日に出す人がいる
ゴミの集める場所	ゴミのルールを守らない人がいる
タバコのポイ捨て	道路沿いの田んぼにゴミがいっぱい
水路が汚い	溝にゴミが落ちたままになっている
犬のフンが多い	犬のおしっこに困っています
車内からゴミを捨てる	
道路・交通に関すること	
道路のでこぼこが多い	交通の便が悪い
信号つけてほしい	村中の道が狭い
電車の停車本数が少ない（長滝駅）	街灯が少ない
車の運転ができないので困っている	駐車違反が多い
少子高齢化など	
若者・子どもが少なくなっている	高齢者の一人暮らしが多すぎる
地元を離れる人が多い	子どもが少ない
地域活動の担い手不足	
町内会の役員の人選が難しい	青年団が少ない
神社や長生会の役員人選が難しい	子ども会の役を逃げるために会に入らない
災害に関すること	
災害時の対応	道路が狭くて災害時に困る
災害の時の避難場所が少ない	
地域の間関係に関すること	
協力が無い	自分勝手
保守的	近視眼的
井戸端会議が無い	地域を良くしようと思う人が少ない
訪問してもドアを開けてくれない	人とのふれあいが少ない人がいる
地域活動に参加しない人が多い	言葉がちょっとだけきつい
親密すぎる	新しく入ってきた人との関係
環境に関すること	

空き家がふえる	公園のスペースが少ない
子どもが外で遊ばない	安全に遊べる場所がない
下水がととのっていない	くつろげる公園が少ない
野焼きが多い	人口が増えない
不審者が多い	飲食店が少ない
その他	
若者の仕事が少ない	地場産業が少ない・苦しい

こんな地域になったらいいな

人のつながり	
祭りの継続	みんな仲良く
明るく、出会ったらあいさつするまち	若い人も地域との交流をしてほしい
近隣の助け合い	だれもが顔見知り
助け合えるまち	家族が仲良く
集える場	
憩いの場をつくってほしい	文化施設の有効的な利用
気軽に集まれる場がほしい	公園を広く
飲み屋が増えてほしい	喫茶店などみんながくつろげる場がほしい
世代間交流が豊か	
地域活動	
ボランティアが盛んになったら	新しく来た人も町会にはいってほしい
子どもに関すること	
子どもが元気に育つまち	子ども達が安心して遊べるまち
児童公園のあるまち	学力の向上
交通	
交通の便よくなってほしい	道路の舗装
バスがほしい	道を広く
スーパーが近くにほしい	
環境（マナー向上を含む）	
犬のフンをみんなが自分で始末する	街路樹のある豊かなまち
緑と花のある町	緑の多い公園がほしい
町をきれいにしようというマインドをもつ	マナーを守るきれいな地域
大きなデパートがほしい	都市ガス下水道の整備
街灯を増やす	自然が維持される
町の活性化	
駅や駅前を活気づける	活気がある町
アーケードの商店街があるまち	飲食街があるまち

健康を維持して安心できるまち	
病院の充実	特定健診の診察項目を増やす
医療・老人ホームの充実	
現状維持	
このままでいいかも	

2回目の意見

平成 25 年 10 月 30 日(水) 19:00~21:00

こんな取り組みが必要

テーマ①若い人が地域活動に参加するためにはどうしたらよいか	
《1人1人で取り組むこと》	
◎	◎
若い人は地域の行事に参加しない	若い人と話し合う機会を作らなければ
やりがいを見つけてもらう	青年団に入る
《みんなで取り組むこと》	
◎イベントを増やす	◎活動内容を知ってもらう
◎他地域から引っ越しされてきた家族との交流会	◎休日を利用したイベント活動。食事会などコミュニケーションづくり
◎飲み物や食べ物をだす	◎子供会・育成会・青年団に入る
◎若い人の集いの場を作り話し合いをする	◎若い人の集まりやすい時間とリーダーを考える
◎若い人たちにお誘いの声を何回もかける	
子育て。一緒に遊ぶ	美化活動・公園・道路
異世代間交流・保育所と長生会	入口を大きくする誰でも入れるように
町会全体の活動を増やす	ピーアール・宣伝
見守りパトロール	参加しやすい雰囲気にする
メリットがあることを知らせる	若い人の意見もくみ上げてくれる
男女の交流を図る	ポイント制にして還元する
子供会などの集まりに老若男女が関係なく参加する（年長者側から歩み寄る）	お墓掃除などを絶対参加にする（交流のきっかけづくり）
たのしいわを造る	スポーツ大会をする
地区対抗で競う	活動時にだんじりをだす
子供を交えた交流会などの行事を作る	何でも話せる役員がいること
学校からも協力していただく	若い人が本当に喜ぶ内容にする

テーマ②気軽に交流ができる場を増やすためにはどうしたらよいか	
《1人1人で取り組むこと》	
《みんなで取り組むこと》	
◎趣味ごとに集う	◎ペットと一緒に公園などの施設を開放する。交流場所
◎安全な公園	◎食事会などで個人が得意料理を持ち寄って食べる
◎スーパーにたまり場を作ってもら	◎足湯できるところを作る
軽食をはさんでの交流をする（話題は一つにしばって話し合う）	気軽に集会所を利用したら良いがお仕事を持っていてうまくいかない
会館に常駐の管理人を雇ってほしい。いつでも使えるように	各リーダーを決め毎月1回ほど集う
犬が集まれる場所をつくる	カラオケバーをつくる（市や町で）
宮さん等に長椅子を置く	お寺に気軽に入れるように
小公園を増やす	常設の交流スペースを作る
交流の場に託児所的なスペースを作る	地域の活動を明確に提示した配布物を配りみんなに知ってもらう
朝市のようなものを開く	空き地の有効活用
あいさつ運動。誘い合う	地域の開館を子どもに開放
交流・会話の機会をつくる	リーダーになる人が必要
住宅内でハザーなどを行う	グランドゴルフ
安全な遊び場所	

◎＝すぐに取り組めること
※同じ意見は集約しています

南中地区

1 回目の意見

平成 25 年 9 月 20 日(金) 19:00~21:00

地域のいいところ

暮らしやすい環境	
交通の便が良い	のどかな所
街頭が多く明るい	病院が近い
静かな町でがやがやしていない	町内のゴミが少ない
道路網が良い	春になったら桜が見どころ
井戸が多く、災害に強い	スーパーが近い
災害が少ない町	食べ物がおいしい（水ナス）
住民同士の仲が良い	
付き合いがしやすい町	皆明るく楽しい
となりの人が良い人ばかり	絆が太い
まとまりが良い	地縁・血縁で結ばれている
地区全体が仲が良い	みんなの顔を知っている
お互いに声を掛け合っている	町会の皆が一つにまとまっている
団結力がある	気安く物が言える
おもしろいおっちゃんがたくさんいる	若い力が強い
皆が笑顔	
親切な人・人情味のある人が多い	
ゆずりあいの気持ちがある	皆に親切
婦人会のおかげで墓がきれい	近所の人優しい
人情深い	思いやりがある
行事が活発で団結力がある	
神社でのラジオ体操	祭りがあり、賑やかで楽しい
ボランティアが盛ん	お盆には各種団体が協力しあって賑やか
子育てサロンに力を入れている	行事の際には団結力がある
健康・生活を意識している人が多い	
健康を目的に、体操やグランドゴルフを行っている人が多い	年配の方、若い方も元気な人が多い
高齢者が多い	
その他	
選挙での投票率が高い	小さいコミュニティで広報が楽

地域の課題・困りごと

高齢者の増加と子どもの減少	
子どもが少ない	子育てサロンの参加者が少なくなっている
子どもの声が聞こえない	高齢化が進んでいる
今後、空き家が増える	少子化が進んでいる
青年団の団員が減る一方	若い人の流出
人数が少ない	
交通アクセス、生活環境が整っていない	
駅が遠い	道路幅が狭い
四つ角時の道路標示がない	犬の鳴き声で夜中に目をさます
コミュニティバスの回数が少ない	道が暗い
街頭が少ない	道路が一部悪い
ルールを守らない	
ポイ捨てが多い	ゴミの出し方を守らない
犬の散歩中の「ふん」処理	通学時の道路右側通行を守らない
私道を私物化している	
人間関係の希薄化	
未婚者が多い	町会に入ってくれない人がいる
高齢者と子どもの会話が少ない	葬儀が会館でないため、団結力が弱まっている
協力員にあまり参加してもらえない	自己中心的
建物、生活資源が少ない	
行く所がない	スポーツの設備がない
町によって、病院がない	スーパーが近くにない
親密すぎて、プライバシーが確保できない	
隠し事が出来ない	悪い噂がすぐに広がる
親しすぎて、犬が鳴いても何も言えない	農家が多く田舎でいろいろと難しい

こんな地域になったらいいな

子どもが多く、賑やかな町にしたい	
子どもが多い町	子どもが集まり、賑やかな声が聞こえる町
子どもを多く作る	周辺に新築の住宅地が出来れば
老人が少なく子どもが多い	若年層が多い明るい町内
若い人たちがここで住み続けたいと思う町	子ども会に皆入って仲良くして欲しい
コミュニケーションが多く、活気のある町	
話し合いが多く出来る町	みんながあいさつできる町
笑顔で明るい町	経済的・文化的に活気のある町
夜になればネオンがまぶしいくらいの賑やかな町	楽しく、皆お祭りに参加する町
協力員がころよく協力できる町	
安全に安心して暮らせる町	
車がゆっくり通れる町	町内の道路が広がって欲しい
夜が暗い	街灯を増やしてほしい
並木がある広い道路のある町	
交通アクセスの充実	
バスの時間を長くして欲しい	バスの回数を増やして欲しい
駅までの道に歩道が欲しい	
建物、生活資源が充実している町	
商店街があったら嬉しい	スーパー、コンビニのある町（不便）
温泉が出たら嬉しい	公衆電話が欲しい
ゴミのないきれいな町にしたい	
ゴミのない町	皆が気をつけて、きれいな町にしたい
その他	
毎月 10 万円ぐらいポストに入れてくれる	一週間に一回は一人暮らし高齢者の食事のお世話を して欲しい
全戸町会に加入する	

2回目の意見

平成 25 年 1 1 月 1 5 日(金) 19 : 00 ~ 21 : 00

こんな取り組みが必要

テーマ①「若い世代がずっと住み続けたいと思う町になるには」	
《1人1人で取り組めること》	
町内をきれいにする	
◎自宅前の道路清掃を行う	◎ゴミのポイ捨てをしない
◎町中をきれいにする	
あいさつを心がける	
◎声かけ、みんなであいさつする	◎年配の方から声をかけるようにする
◎笑顔であいさつから	
サロンやイベントに誘い合って参加する	
◎祭り参加を誘う	◎子育てサロンに誘う
親対象のサロンをつくる	
子育てしやすい環境をつくっていく	
◎古い習慣にこだわらない	子育てに協力していくようにする
子育ての環境を整えていく	話し合える場所をつくっていく
若い世代の人々の意見を参考に	
交通ルールを守っていく	
交通ルールを守る	交通の便が良くなるようにする
《みんなで取り組むこと》	
子育てしやすい地域づくり	
◎思わず立ち寄りたくなるような、美しい公園をつくる	ディズニーランドのようなテーマパークがあれば
子育てしやすい地域にすること	保育所、幼稚園の充実
子どもとの遊び場を多くする	子どもと遊べる施設をつくる
学校を近くに	子ども手当を多く渡す
子育てを協力する	就学前の児童全てに市の補助を
病院、保育所を近くに	
若者が就労し安心して住みやすい町づくり	
若い人が簡単に独立出来るような家が欲しい	若い年齢層の人を多くしていく。その為には交流を深くする
新婚家庭補助制度の創設	企業を誘致し、仕事の安定を図る
近くで働ける場所があれば遠くには行かないと思う	国民健康料が高いので、若者の負担を少なくする
働ける場所（職場）があれば	税金が高い

町内に企業を作ることによって、若者を残す	温泉が出て近くで働ける場所が出来れば
買い物の出来る所を近くに	物価を安くしたい
世代間交流を活発に行う	
◎各種団体との交流	◎子どもから高齢者までどの方も参加する交流の場を作る
税金が安い町に	楽しい盛大な「祭り」があること
町内会館をいつも開けて人が集まれるように	毎年決まった時期に地域の「スポーツの祭典」を催しする
サークル活動を行う	
交通機関を充実し、買物が出来やすい町に	
交通を便利にすること (バスの運行を良くして欲しい)	老後も安心して暮らせるように
買い物を便利にする	
街灯を増やす等して安全な町づくりを行う	
安全な町に	街灯を増やしていく
その他	
上下水道の整備	

テーマ②「誰もが安全に安心して暮らすにはどうしたら良いか」	
《1人1人で取り組めること》	
あいさつ等をとおしてコミュニケーションを取り合う	
◎コミュニケーションをとれる町づくり	◎皆にあいさつを行う
◎児童に対して挨拶の徹底を行う	◎お互いに声を掛け合う
◎皆と仲良く話をする事	
防犯や安全、人権の意識を持つ	
子ども 110 番	道徳を守る
防犯対策	忙しい時も相手の立場に立つ心を持つ
運転手のマナー向上（車をゆっくり走らす）	
その他	
◎常に健康に気を付ける	
《みんなで取り組むこと》	
住民同士のコミュニケーションを活発に図る	
◎常に隣近所の「声掛け」を心がけるムード作りを行う	老若男女の交流を密にする

話し合いが多く出来る町に	絆を太い町に
横のつながりを深める	皆で見守りあう
歩道の整備	
道路のミラーを多くしていく	歩道をつくっていく
道路整備	道路のでこぼこ（かまぼこ型）を直す
通学路を広くする	道路を良くチェックして段差のない道路をつくる
道は歩車分離	
防犯灯等の防犯対策	
街灯を増やしていく	防災対策
夜でも一人歩き出来る町に	独居の方に防犯ブザーを取り付ける
防犯灯がたくさんあれば	夜も明るい町（街灯をたくさんつけて防犯対策する）
防犯カメラを増やす	ポリボックスを町の真ん中に
警察のパトロール強化	
町会館の活用	
気軽に寄れる場所をつくる	バリアフリーの集会場があれば
マナー意識の向上	
車の通りぬけ禁止	制限速度を設置できる状況にする
ゴミだしを守らない人への罰則 （ゴミの出し方を守る町に）	生活地域への車乗り入れ禁止
町内の道（農道）は町内の人だけ	悪い者をなくす事
その他	
◎災害時の避難場所を示す表示をする	墓石の整備
経済的に活気のある町に	昔のような、八百屋、商店街があれば
高収入の方が出来ること	子ども会に入って仲良くすること
大会社が近くに出来るように	病院を整わす
皆で町会加入する （地域の全員が加入して欲しい）	車がなくても生活できる町に

日根野地区

1 回目の意見

平成 25 年 9 月 10 日(火) 19:00~21:00

地域のいいところ

地域住民同士の仲が良い	
上下、横のつながりが強い	あいさつをし合える
人付き合いが親しい	皆で作ったふれあい広場がある
信頼がある	近所で頼れる
町内会が組織している	町内会が長を中心にまとまっている
隣近所の交流が濃い	
親切な人・思いやりのある人が多い	
親切な人が多い	田畑で見守りがある
災害が少ない気候・風土	
災害が少ない	気候がよい（温暖）
生活が便利である	
スーパーが近く買物が便利	交通の便が良い（駅、空港が近い）
病院が多い	学校が近い
公園がある	墓地在近い
魚屋が残っている	農協がある
ガソリンスタンドがある	商店が多い
街灯が多い	道路が整備されている
自然が豊か	
自然が豊か	空気がおいしい、のどか
自然が多く子育てに良い	野菜が新鮮
犬鳴山がある	水がきれい
田んぼが多い	景色が良い
千本桜がある	蛭がいる
伝統文化がある	
青年団がある	盆踊りがある
日根神社がある	国宝がある
多宝塔がある	
その他	
夜が静か	町がきれい
子どもが増えた	糞の放置が少なくなった
北庄司酒造	町会館がりっぱ

長生会が頑張っている	
------------	--

地域の課題・困りごと

ゴミ出しのマナーが悪い、ペットの飼い主のマナーが悪い、交通マナー悪い、動物（犬猫鳥鳩）の糞害など	
ゴミ出しのマナーが悪い	鳥のフンが多い
車の運転のマナーが悪い	煙草のポイ捨て
糞害（犬、猫糞尿の放置）	バイクの騒音
高齢者が多く、若者が少ない	
高齢者が多い	子ども、若者が少ない
地域の交流が無い	
世代間の交流が無い	近所付き合いが少ない
意見を出す後日批判が出る	若者が町を出ていく
祭りの運営が難しい	知らない人が多い
道路が狭く、整備されていない	
道路が狭い	整備されておらず、凸凹が多い。
駐車スペースが無い	通学路が狭い
大雨が降ると道が水であふれる	街灯が少ない
下水が整備されていない	
下水が整備されていない	
カラス	
カラスが多い	カラスの声がうるさい
カラスが悪さをする	
交通の便が悪い	
駅から遠い	通勤通学に不便
生活の便が悪い	
お店が無い	図書館が無い
交通量が多い	町が大きすぎる
災害対策がなっていない	治安が悪い
交通手段が無い	交通渋滞
公民館が無い	子育てしにくい
そのほかの困りごと	
無関心の人が多い	協調性に欠ける
商店街がさびしい、お店が少ない	開かずの踏切がある
歴史、伝統が薄れている	市民税が他界
人通り少ない	町内会入らない人が多い
公園汚い	地域が広すぎる
家族葬が増加	長生会入会が少ない

地域が一つとなるイベントが無い	ゲートボール広場が無い
子ども会の活動が衰退している	先進医療が無い
町会の加入率が低い	ネット対象者急増
歩道の植木の枯れ葉のゴミが多い	川が小さく水があふれる

こんな地域になったらいいな

若い人が増えてほしい	
若者がもっと増えてほしい	子どもの声が響く町へ
若者が集える地域	
下水道の整備	
下水道の整備をして欲しい	
災害対策の充実	
災害組織が確立している町	避難場所が身近にある町
町内の放送設備の充実を図ってほしい	災害時対応できるまちへ
安全な町になってほしい	
事故の無いまちへ	玄関開けばなしでも暮らせる町へ
子どもが安心して住めるまちへ	町のバリアフリー化
防犯カメラを設置してほしい	
新しい施設、事業の提案	
高齢者、子どもが集える施設が欲しい	
高齢者が無料で使えるサービスを増やしてほしい	
生活の便が良くなってほしい	
買物しやすい町へ	道を広くして欲しい
子どもの遊び場がほしい	何でも揃うまちへ
温泉が欲しい	無料バスが通ってほしい
ごみのないまちへ	
ゴミの無い町	ポイ捨ての無い町
地域の清掃	
住民同士のつながりのある町になってほしい	
子ども高齢者に住みやすい町へ	挨拶し合えるまちへ
品物の貸し借りが自由にできるまちへ	町内会費住民全て払ってほしい
世代間の交流ができるようなまちへ	町内のイベントを増やしたい
声かけしあえる町	
伝統行事の復活	
だんじりのある町へ	
その他	

高齢者だけの世帯を無くしたい	皆が集う居酒屋が欲しい
----------------	-------------

2回目の意見

平成 25 年 1 1 月 5 日 (火) 19 : 00 ~ 21 : 00

こんな取り組みが必要

テーマ①「新旧住民のつながりがある地域づくりのために、どうすればよいか」

《一人一人で取り組むこと》

住民同士

◎自治会（町会）加入を働きかける

◎挨拶をする

◎子供を通じて親しくなる

近所との交流

親同士仲良くなり、地域になじむ

行事参加の呼びかけ

行事、団体へ参加

◎地域の行事への参加

◎清掃活動への参加

◎町会加入を勧めるための活動をする

町内会員になる

ラジオ体操への参加

長生会に加入

ボランティアに参加

地域の旅行に参加

町内会役員になる

その他

旧住民の行事に積極的に誘い、新しい人も無理なく入れる状態を作る

地域全体でできることを見つける

町会加入を勧めるための活動をする

集まる場を探す

食事会

《みんなで取り組むこと》

住民同士

◎飲み会

子供会の交流を盛んにする

支部をまたがった交流

高齢者交流会をもつ

世代間交流を行う

話し合いの機会を多く持つ

保護者の交流を深める

町内会に入会する

知らない人がいない町

行事、団体等などの参加

◎地域ぐるみでの防災訓練

◎全住民での町内の大掃除

◎新旧合同の美化運動

◎地域全体参加のイベント

◎町内のゴミ拾いを行う（年二回）

テーマを決めサークル活動を推進する

みんなが集まるイベントをする（だんじり）

毎年枕祭りの開催

イベントを増やす	子供のイベントを行う
環境整備	
子供、高齢者の遊び場	町会を通じて集まる場をつくる
公民館を町民で運営	集える場所をつくる（食堂など）
その他	
◎町会館の利用者、使途条件を緩和し、みんなで 使用できるようにする	町内会の規約変更
住宅エリアごとの代表者をつくる	子供会友の会の会長を新人に当てない
マンション単位で自治会の組織を行う	

テーマ②「よい魅力のある町づくりのためにどうすればよいか」	
《一人で取り組むこと》	
住民同士	
◎子供会の加入を勧める	◎出会った方全てに挨拶をする
◎声掛け運動	納涼大会やクリスマス会を呼びかける
町会員以外の人も含め清掃活動を行う	貸し農園をする
行事、団体、クラブ活動等への参加	
◎多くの人が参加できる家庭菜園を作る	◎行事に進んで参加
◎川をきれいにする	ゴミのない町
クラブ教室を開く	道路、公園の清掃
情報発信	
◎インターネット、雑誌に掲載する	魅力ある物、場所を見つけ発信する
町で生産されるものを全国にアピール	
マナー	
◎ゴミのポイ捨てをやめる	◎個人のマナーの向上
その他	
地域発展するためにどうすればよいか考える	老化した桜を植えかえる活動を行う
クリスマスなどのイルミネーションで人を呼び込む	
《みんなで取り組むこと》	
住民同士	
◎クラブ、サークルでの仲間づくり	◎町おこしを共同で考える
◎話し合いながら地域の整備をする	世代間交流を図る
連携の強化	若者の話を聴く機会を持つ
困ったことを気軽に話し合える町にする	住民同士助け合う
きれいで明るい町づくり	活気のある町へ

環境整備	
災害時の避難場所が身近にある	交通渋滞を解消（高架を作ってほしい）
交通手段を増やしてほしい	コンビニがほしい
空連道のバス停を作る	町内道路の拡大
テーマパークを作る	高齢者が娯楽を楽しめる施設を作る
大人が遊べる公園を作る	運動のできる場所が欲しい
年中解放している高齢者が楽しめる広場	みんなが集う商店がほしい
子供が室外で遊べる広場が欲しい	高齢者が集う場所を作る
世代間交流ができる場所がほしい	
新規行事、イベントの発案	
◎桜公園、国宝をアピールするようなイベントを組む	◎子供から高齢者まで一緒にできるイベントを行う
◎イベントの企画をする	◎バザーを行う
◎公民館を作り、いろんなクラブを作って、みんなが集える場所にする	◎盆踊り、だんじりなどの行事を増やす
日根野合同盆踊り大会	神社、仏閣を中心にした定期的なイベントの開催
イベントを増やす（祭りごと）	
土地の有効活用	
◎高速道路下の有効活用（テニスコート、グランドゴルフ）	小・中学校の利用
安心・安全	
安心して住める町づくり	安全な地域づくり（防犯含む）
治安をよくする	災害に強い町を作る
町会員外の人も避難できるような町づくり	自主防災の充実
その他	
役員をなくして運営する	名人、名物をつくる
町名を売る	青年の多い町づくり

◎すぐに取り組めること

上之郷地区

1 回目の意見

平成 25 年 9 月 20 日(金) 19:00~21:00

地域のいいところ

人との結びつき	
近所づきあいがある	誰とでもあいさつを交わす
隣組の付き合いが良い	団結力がある
近所が仲良し	何事にも協力的
見守りがあり、安全	地域の輪があり、協力的
活動の参加率が高い	子育てサロンの設立・運営
子どもが明るい	子ども会があること
人なつっこい	地域の方々の意見を尊重
高齢化率が思ったより低い	以外と子どもの数が多い
村の行事が多くある	だんじり祭等の祭りがある
祭りを中心に若い人が活躍している	お年寄りが明るく幸せそう
環境	
自然豊かな所	空気が良い
見晴らしが良く、広々している	緑が多い
田畑、山、川がある	星を見ることが出来る
蛍が見れること	虫が鳴いている
田舎くさい、いつまでもかわらない村	静かな環境で住みやすい
のんびりしている	安全なところ（玄関開けっ放しでも大丈夫）
災害が少ない	交通の利便
思いやり、人情味がある	
町民が優しい	穏やかな方が多い
包容力がある	困っていると助けてくれる
親切	人情味がある
声かけがある	高齢者を大事にする
食べ物がおいしい	
農業している人が多く、野菜が新鮮	野菜がおいしい
新鮮な野菜や魚が手に入りやすい	
その他	
偉人を排出している	公園があり子どもが遊べる
信仰心が厚い	

地域の課題・困りごと

交通アクセス、環境が不便	
交通の便が悪い	車がなかったら生活が難しい
ガソリンスタンドがなくなった	交通量が増えた
道路が狭い	小学校、中学校が遠い
バス等、交通機関が少ない	インフラ整備が出来ていない
建物、生活資源が整っていない	
医者がない	近くで買い物できる所がない
コンビニがない	商店、病院等に不便を感じている
喫茶店がない	子どもの遊び場がない
公園が小さい	店がない
高齢化	
空き家が多くなった	ゴミだしが大変
一人暮らしの人が多い	若者が少ない
少子高齢化のため、活動に支障をきたす	
人間関係	
人の関わりが多いのでたまにしんどくなる	気を遣う人がいる
知っている人と知らない人との差がある	訪問しても「もういいよ」と言われる
新興住宅との交流があまり出来ていない	若者の新築が多くなり、知らない人が多くなった
人間性	
人まかせの傾向あり	活気に欠ける
協調性に欠ける	保守的で課題になかなか取り組めない
新しい人の町会加入が少ない	子ども会に加入していない人がいる
慣習を優先し、法令を守らない	あまり話合わない
噂になりやすい	
マナー	
ゴミが田畑に捨てられている	ゴミ捨てが多い
犬の糞のしまつ	庭木が道路まで伸びている
防犯、災害	
夜は暗い所が多い	信号が少ないので危険
街灯が少ない	山が荒れている（災害も含む）
動物による被害	
イノシシが出る	アライグマが出る
カラスが多くゴミを荒らす	
担い手不足	
町会役員等の後任選定	小規模な町での福祉委員の運営

件数が少ないので役職が当たりやすい	
その他	
建売住宅が増えて、農業がやりにくくなった	寄付金等多すぎる
学校区が町会と違う	

こんな地域になったらいいな

アクセスが良く住みやすい町	
店、病院等が充実し、老人の生活が守られる町	高齢者用店舗
介護施設がある	病院、コンビニが発展して欲しい
交通の便を良くして欲しい	スーパーや駅のシャトルバス
移動スーパーがあったら嬉しい	買い物に不便を感じない商店があれば良い
住宅地を避けて幹線道路	安全な町（犯罪、災害など）
暴走するバイク、車がなくなって欲しい	無断駐車していない道路
町内での車の法定速度を決める	働く場所がたくさんあれば
上下水道の完備	道幅の拡張
お金がかからない町	
人との結びつき	
子どもが増えてほしい	若い人が定着しやすい町
年齢層を越えた付き合い	近隣の顔が分かる
新しい人を受け入れる地域	助け合いのある地域
子どもの顔が見える社会	人にやさしい地域
笑が多い町	地域で人を育てる（他人の子どもを注意する）
集える場所がある町	
コミュニティ広場がある町	喫茶店で人々が声をかけあい、ゆったり過ごすことが出来る町
年齢を超えて集まれる場所	皆仲良く話し合える町
若い世代と年配の世代の交流	
自然豊かな環境	
これ以上自然を壊さないように	明るい町
緑がある町	自然は絶やしたくない
その他	
現在で良い	今の良い所を続けていきたい
他のモデルになるような地域	こじやれた町（花の道）
産業を育てる	新旧の融合

2回目の意見

平成 25 年 10 月 22 日 (火) 19:00~21:00

こんな取り組みが必要

テーマ 1 「いつまでも地域で生活が続けることが出来るようにするには」	
一人で取り組めること	
声かけ、あいさつを積極的に行う	
◎声掛けを行う	◎あいさつを行う
顔見知りを増やし、近所の人を大切にする	
◎遠くの親戚より、近くの他人を大切にする	◎顔見知りを増やす
◎互いの助け合いを大切にする	近所の人を頼る
隣組をいつまでも仲良く	
子どもの遊び場所を増やす	
◎遊ぶ場所を作る	◎運動場を確保する
健康を意識する	
◎健康である事を意識する	◎健康づくり
その他	
◎上之郷の歴史を知る	
みんなで取り組むこと	
移動手段の充実・確保	
交通機関の充実	お迎えサービス
ガソリンスタンドの新設	老人用タクシー
駅、スーパーへの無料バスを走らせる	ガソリンの配達
スーパーへの送迎支援	バスの便の増加
食料品の充実・確保	
朝市	食料品の配達業者を入れる
移動スーパー	
病院、郵便局等の生活に密着した施設の充実	
病院が必要（小さくても OK）	医院の開設
町内で介護施設を充実する	郵便局の親切
週数回、医者を呼び	店の開設
診療所の設置	近くに医院や買い物できる店を増やす
食堂開設	コンビニの出店
文化館及び美術館の設置	
みんなが集いやすい場所の開催・確保	
運動が出来る場所をつくる	おしゃべり会

情報の交換できる場所を持つ	週に 1 回、昼食会を行う
集会場でお遊び会を開催する	喫茶コーナーを設ける
気楽な喫茶店を開設	
その他	
将来のビジョンづくりを行う	生活環境が整った地域
道路・下水の整備	災害に強い地域づくり

テーマ 2「世代間を通して交流でき、日常的に集える場を増やすには」	
一人で行き来すること	
会館、公民館等の施設の利用	
◎町会館を利用する計画を立てる	◎いつでも利用できる公民館の利用 (お茶、コーヒー等が出せる所)
◎食事しながら話し合える場所	会館の利用を増やす
催しものや行事等への参加促し	
◎初盆会への出席 100%	◎上小まつり等の行事に積極的に参加する
◎町内清掃を通じての交流	集まりの場に声掛けや広告を出す
子育てサロンに祖父母の参加声掛けを行う	顔見知りを増やし、参加を促す
趣味を通しての繋がりづくり	
◎趣味で繋がっていく	趣味の合う仲間の場が欲しい
少人数からでも、クラブや同好会を立ち上げる	
その他	
◎気さくになること(プライドを捨てて馴染む、自分はまだ発展途上人であると思うこと)	
みんなで取り組むこと	
公共施設等の活用	
◎会館前の広場に長椅子を設置する	会館や小学校の活用
公の場を解放する	学校の解放
神社、お寺を利用する	公民館でのミニ集会を開催する
人が集まりやすい場をつくる	
雑貨店を作る	広場を設ける
喫茶店を作る	居酒屋(安く飲める所)
貸農園(みんなで野菜作り)	町内の行事を増やす
近隣住民が気軽に集まれる場所を増やす	広場を利用して催しを行う
近所づきあいで自由に使える所を作る	
町会組織体制の見直し	
町会費の区別をなくす	町会加入の条件を緩和する

大土地区

1 回目の意見

平成 25 年 9 月 6 日(金) 19:00~21:00

地域のいいところ

地域住民同士の関係性	
みんな仲が良い	あいさつを気持ちよくかわす
自分の事をよく知ってくれている	ほとんどの家を知っている
ご近所づきあいがいい	まとまりやすい(団結力)
ほぼ全世帯が町会に加入している	人間関係が親しみやすい
ヤゴで呼ぶ	知らない人がいない
行事に協力的である	人と人との繋がりが強い
人柄に関するいいところ	
みんな笑顔で健康です	決めたことをよく守る
親切	温かみがある
のんびりしている	やさしい
地域のイベント・行事など	
祭り	盆踊り
運動会全員参加(小学校)	
生活の便利なところ	
意外と都会に近い	
環境に関するいいところ	
空気がいい	自然が豊かだ
静かな環境	空がきれい
涼しい	静か
のんびりしている	地形
きれいな川がある	田んぼ・畑で耕せる
緑が多い	大木ふじが見える
季節の変化が良くわかる	治安がいい
地域が清潔	
その他	
自給率が高い	米がおいしい
重要文化財がある	伝統がある
葬式(ほぼ全員香典くれる)	温泉がある
特色のある小学校	

地域の課題・困りごと

ペットの飼い主のマナーが悪い、ゴミ問題、動物に関する害など	
野良猫風が多い	道や水路に物を捨てる(ゴミ)
犬のフンが所々そのまま	犬が走っている
高齢化、若者の減少	
高齢者や一人世帯の増加	過疎化
少子化	小学校の生徒の数
若い夫婦が大木を出る	世帯数の減少
環境(道・場所など)に関する困りごと・課題	
通学路に歩道がない	道に車を止めて駐車場にしている
バスの便が減っている	大雨のとき排水溝が溢れるところあり
曲がり角の雑草が高く、運転に危険	店がない
交通の便が悪い	ガソリンスタンドが遠い
お店がない	外灯が少ない
暗い(夜)	コンビニがない
道路交通量が多くて危険	山・がけ崩れが心配
ガソリン代が高すぎる	車がなければ生活できない(特に買い物)
病院が遠すぎる	川が汚い(ひまわりグループ)
道が狭い	休耕田が増えている
空き家の増加	
人・物に関する困りごと・課題	
ポストがない	付き合いが大変
古い習慣が多い	イノシシがでる
徴収金の内容が分からない	蛙がうるさい
マムシを取らなければならない	朝早くから草刈りの音がうるさい
見守りボランティアの数が少ない	
そのほかの困りごと	
バス代が高い	噂がまわるのがはやい

こんな地域になったらいいな

若い人が増えてほしい	
以前の様に若い人が多く暮らす町	子供の数が多くなれば良い
若い人が住める産業のある町	小学校がにぎわう
地元出身者が帰ってくる	
道の充実した町になってほしい	
道路の整備をする	
環境面(場所など)が充実した町になってほしい	

お年寄りの買い物の出来る場所があったら	交通機関が発達している町
コンビニ・スーパーがある	自然を壊さない
病院のある地域	診療所がほしい
青年が働ける工場がほしい	
きれいな町になってほしい	
川で泳げる	
住民同士の絆のある町になってほしい	
世代間の交流	大人から子供までいつでも楽しめる集会場のある町
その他	
農業の継続	みんな住みよい明るい活気のある町
一部にモラルに欠けている人がいるので守ってほしい	活性化してほしい
	大企業誘致
等級制を廃止してほしい	徴収金がない町
自由がある町	大木の特産物
年老いても楽しめる町	大木の土地の価格があがる
学校維持	現状維持

2 回目の意見

平成 25 年 1 1 月 1 日(金) 19 : 00 ~ 21 : 00

こんな取り組みが必要

テーマ 1 「若い人が住みやすい町をつくるには」

《 1 人 1 人で取り組むこと 》	
◎若い人の意見を聞いてあげる	◎運動する用具
◎交流をする。子供、大人とも。	◎3 世代家庭を作る
町会の行事の自由参加	婦人会の参加自由
《 みんなで取り組むこと 》	
交通関係	
交通の便×2	乳幼児の保育所送迎バス
市のコミュニティバスが回ってこない	日根野へのアクセス
コミュニティバス×2	電車が通る
交通機関が少ない（バスの時間）	バスの時間を 1 時間に 2 本(終バスは 11 時)×2
施設・環境整備	
家を自由に建てる	保育所
子供達が安心して遊べる公園	レジャー施設誘致

近くに高校大学があればいい	大規模店の誘致
宅地を増やす	遊林農地を宅地化する
安価な住宅（1戸建て）	レンタルビデオ屋さんがあったらいい
民芸品を作り茶屋で売る	観光の町、雨山城山大池、大木地区へのロープウェイを作る
自然を生かした民宿をつくる	
その他	
若い世帯に補助金	他所から移住しやすいようにする
働ける所ほしい	若人の働ける職場がない×2
村おこし	青年団も活発になってほしい

テーマ2「高齢者が住みやすい町をつくるには」	
《1人1人で取り組むこと》	
◎高齢者の物作り協同作業	◎花などがあるきれいな町
子、孫と一緒に暮らす	
《みんなで取り組むこと》	
交通関係	
コミュニティバスが来てくれる×4	病院の送迎をしてもらえる
バスの時間 1時間に2本	病院へ行く乗物が使いやすいように
地域活動	
街角ケアハウス	デイよりも気軽にいける場所をつくる
誰もが楽しめる集会場がほしい	高齢者の交流の場所を作る
グランドゴルフ、できる広場×2	話合いの場、施設を作る
集まって話せる機会を多くする（長椅子を使用）	交流する場所と設備（軽いスポーツ）フォローする人をつくる
地域全体が楽しめる行事がある	
医療面	
病院がほしい（診療所）×4	地域に根差した診療所みたいな機関があること
病院が近くにあったらいい（整骨院等）	移動クリニックなど
買物	
自分で買物できる場所×3	お店があればよい
村でコンビニ経営	コンビニがあること
カラオケなど遊べる場所	皆が集う店がある
その他	
市や町や府から高齢者が必要とするものを貸してくれるサービス	巡回タクシー化、連絡すれば来てくれるタクシー、電話でサービス

◎＝すぐに取り組めること

地域の暮らしを話す会 2回目 全地区共通トークテーマ

金銭管理・契約支援（成年後見制度）の担い手について

選択肢①＝専門職後見

選択肢②＝法人後見

選択肢③＝後見制度を利用しない支援

選択肢④＝市民後見

選択肢⑤＝その他

※ワークの時間設定上、単純化して選択していただきました。

長坂校区【開催日時：平成25年11月26日(木)19:00～21:00】

A班ででた意見	①	人	②	6人	③	人	④	2人	⑤	人
②安心だから 一番安全だと思う 信頼関係、金銭が絡むと難しい 支払、報酬が少ない、複数の職員 個人の財産を扱うことになる⇒半ば公的機関が better 社会福祉の充実 ④低額でよいが信用性がいまいちな 安心だから ⇒A班の結論 ②福祉法人 対応が望ましい										

B班ででた意見	①	5人	②	1人	③	人	④	人	⑤	人
①安心できる 安心、安全、確実 所得に応じた報酬であり一番安心 安心、信頼度から 所得があれば専門家が安心 ②国で定めた後見人制度であり安心です ⇒B班の結論 ①										

C班ででた意見	①	1人	②	2人	③	人	④	2人	⑤	人
①所得があれば専門家に頼む ②所得に応じた報酬支払 そのための税金や社会保険料だと思う ④頼まれてもよい ボランティアでも良い ⇒C班の結論 ④が理想 ②が現実論										

D班ででた意見	① 人	② 2人	③ 1人	④ 人	⑤ 人
②安心 個人レベルではトラブルの元になる 制度を悪用した場合のペナルティを厳しくしておくべき ③安心					
⇒D班の結論 ②福祉、NPOの方が何となく安心					

E班ででた意見	① 1人	② 3人	③ 人	④ 2人	⑤ 1人
①他人に迷惑をかけたくない ②信頼が出来、金額が少ない 報酬が少ない方がいいから 助け合いの精神で ④無償が良い（年金暮らし） ⑤全体でみる					
⇒E班の結論 ④					

F班ででた意見	① 人	② 3人	③ 人	④ 人	⑤ 人
②安心する 安心だから 高額所得者より税金等を徴収					
⇒F班の結論 ②安心だから					

北中校区【開催日時：平成25年10月26日(土)19:00～21:00】

A班ででた意見	① 人	② 5人	③ 人	④ 人	⑤ 人
②社会福祉法人＝社協＝市役所の福祉課との認識あり 安心できる					
⇒A班の結論 ②					

B班ででた意見	① 人	② 2人	③ 人	④ 5人	⑤ 人
④安心、信頼がある （但し国家資格をもった人のほうが安心）					
⇒B班の結論 ④					

C班ででた意見	① 人	② 4人	③ 人	④ 人	⑤ 人
②①が安心してベストだが、本人の収入が分からないため①は選べない ②だが、始めは地域の民生委員に相談すべき					
⇒C班の結論 ②					

D班ででた意見	① 1人	② 6人	③ 人	④ 人	⑤ 人
②複数の人で管理するほうが安心 ②金銭面が安心					
⇒D班の結論 ②					

E班ででた意見	① 人	② 1人	③ 人	④ 6人	⑤ 人
②福祉の知識を知っていて安心できる ④長期の場合低額ですむ ④無償でお願いできる ④					
⇒E班の結論 ④					

日新校区【開催日時：平成25年11月16日(土)14:00~16:00】

A班ででた意見	① 1人	② 3人	③ 人	④ 1人	⑤ 人
①一番問題が少ないと思うから ②金銭的にはっきりとする。お金が絡むので難くなる。消去法による。 ④信用が出来るか。金銭的。					
⇒A班の結論 ②					

B班ででた意見	① 1人	② 人	③ 人	④ 1人	⑤ 人
① 金銭的な面。もちは餅屋。 ④ 町で何人か指定し、当事者が決める。その人の信頼度が問題。知っている人には頼みにくい。町会役員が会をつくり、相談を受ける。					
⇒B班の結論 ①or④					

C班ででた意見	① 3人	② 2人	③ 1人	④ 人	⑤ 1人
① 他人の金銭管理には責任が伴う。第3者の専門家に有償で頼むべき。 負担が大きいのが不安。安心。周りの人に迷惑をかけたくない。 ② 対象者は経済的に恵まれていないこともあるので、報酬が少ない方が良い。 知人やボランティアでは続かない。 ③ 所得が少ない。立替倒れ。 ⑤ パンフレット等で情報を持ち合い、自治会でアドバイスする。					
⇒C班の結論 ①（望ましいのは③④）					

D班ででた意見	① 1人	② 2人	③ 人	④ 4人	⑤ 2人
① 安心して頼めると思う。 ② 市民、個人ボランティアでは負担が大きい。ある程度の所得がある人は良いと思う。希望通りで受け入れてくれるのか。 ④ お金のことより、本人が納得すると思う。安心、依頼しやすい。チェック体制をどうするか。お金をあまり持っていない方、出したがらない方も多いと思うので。住み慣れた地域の方をお願いしたい。研修を受けたということは、その事に関して意識が高いと思うから。自分が頼まれたら相手のことも考えて少しでもお金を支払っていただく。一人だと相手も自分も不安なので二人で行う。 ⑤ 市の担当課から民生委員等に頼んでもらう。多少の報酬を支払ってもらって人員の確保を行う。足らない分は行政の負担は仕方ない。需要が多いならば専門の団体へ。					
⇒D班の結論 ⑤					

佐野台校区【開催日時：平成25年10月6日(日)10:00～12:00】

A班ででた意見	① 人	② 4人	③ 人	④ 2人	⑤ 人
②信用できる ④理想的である ルールを守ること					
⇒A班の結論 ②					

B班ででた意見	① 人	② 1人	③ 1人	④ 3人	⑤ 人
②公的機関が良いと考える ③親友だから ④もめごとになってできないかも、手続きが簡単、ボランティアになってもよい					
⇒B班の結論 ④					

C班ででた意見	① 1人	② 2人	③ 人	④ 2人	⑤ 人
① 対価が高くつく ② 官庁がついているので安心感がある 専門知識が必要で素人には無理 ④ プライバシーが立ち入り不安 低所得者の方も助かる 財源が分からないので 責任が重い ⑤ 民間業者に市から依頼 金銭管理は弁護士に、病院の付添などは民生 委員になど業務別に考える					
⇒C班の結論					

D班ででた意見	① 4人	② 7人	③ 人	④ 人	⑤ 人
① 報酬を支払う能力があるのか ① ②トラブルを防ぐため ①②報酬を支払えない人の分は法人の運営費で ① ②介護の必要な方の命の関わることは公的機関の関与が望ましい ② 民生委員を介して信頼できるプロの頼む ②行政サービスの活用 ②問題の程度による					
⇒D班の結論 ②					

E班ででた意見	① 人	② 2人	③ 人	④ 人	⑤ 人
② 窓口は包括で ②ボランティアとしては活動してもよいが、金銭管理はできない ②年金生活者は保証人になれない場合がある ②後見人制度の手続きをし、その後最終的には①になるのか ②運営費は公費で					
⇒E班の結論 ②					

中央校区【開催日時：平成 25 年 11 月 30 日(土) 10：00～12：00】

A班ででた意見	① 3人	② 1人	③ 1人	④ 0人	⑤ 1人
① それ以外無理 トラブルがあった場合解決しやすい ② スタッフが多数なので安心 ③ 気心の知った人をお願いしたい 自分のできる力で協力お世話したい ⑤ 金融機関 預金利息はない。又は低くする。財産管理を含む知識がある					
⇒A班の結論 ①専門的知識がある・トラブル発生時に解決しやすい それ以外は無理					

B班ででた意見	① 人	② 人	③ 1人	④ 人	⑤ 1人
③ 一番頼みやすい ⑤ 銀行預金・行政職員⇒複数の目で管理できる 横領がこわい。監視が大事 人の価値観を高める。 人を不幸にしない。					
⇒B班の結論 ⑤銀行預金・行政職員 郵便預金でも可。金出し入れは銀行、郵便局が取り扱うので責任とれる。行う人は行政職員。取り扱う課には数人で協議して明確					

C班ででた意見	① 人	② 1人	③ 3人	④ 人	⑤ 人
③ 友人に頼むけど近所の方にもお知らせする					
⇒C班の結論 ③友人に頼むけど近所の方にもお知らせする					

三小校区【開催日時：平成 25 年 10 月 27 日(木) 10：00～12：00】

A班ででた意見	① 人	② 5人	③ 人	④ 2人	⑤ 人
②複数の職員があること 5千～1万ぐらいだったら払いやすい。安心感もあるから 年金貰っている人が多くあると思うので少しのお金を支払ってもいいと思うから ④市民後見人のボランティアの人がどれくらい居られるか今後の課題 ④だけでなくまわりの方（地域の方）の見守りも大事だと思う					
⇒A班の結論 ②多くの職員が経験されているので安心して任せられる ④まだ未知の部分があるので、これからの課題が…					

B班ででた意見	① 人	② 4人	③ 1人	④ 人	⑤ 人
②所得に応じた報酬を支払い、社協やNPOに頼む 金が絡む事実を友人等に頼むのは気の毒、負担になる 制度があるから / 適当な金額 / 身近で頼みやすい ③④はトラブルが起こる可能性が大、①は頼むには敷居が高い、費用が高い ③信用している					
⇒B班の結論 ②全員に信頼できる友人がいるか？ 頼む、断る、共に困難					

C班ででた意見	① 人	② 6人	③ 2人	④ 人	⑤ 人
②職員や法人の人の方が安心 なんとなく信頼できそう 安心、安全、低負担 / 安心感と報酬金額 / 安心 ④財産により選択されるが、④が一般的であると思う 安心感があると思う					
⇒C班の結論 ②信頼と安心、報酬金額が低負担					

D班ででた意見	① 人	② 5人	③ 人	④ 人	⑤ 1人
②信頼できそう / 信頼できる 仕事とわりきってもらえそう なるべく迷惑がかからないから 気を使わない、安心して任せられると思う					
⇒D班の結論 ②信頼ができる					

E 班ででた意見	① 2 人	② 2 人	③ 人	④ 人	⑤ 1 人
①なんとなく信用できるから 重責のため専門家に頼むのがよい ②専門の人がたくさんいるので安心できる 専門の人に相談する方がよい ⑤まず相談窓口として社協が対応する					
⇒E 班の結論 ②初期段階では社協が窓口になる 社協の中に専門家を採用していただいて相談窓口を広く大きくしていただく					

F 班ででた意見	① 3 人	② 1 人	③ 人	④ 1 人	⑤ 人
①まず法律の専門家に判断してほしい 専門知識が豊富（安心） ①と②迷ったが、②の場合 NPO 法人にはあまり信頼できない所もある ②安心である ③短期間であれば良いが長期間になると友人もどうかな ④個人情報心配					
⇒F 班の結論 ①専門知識があり信頼できる（安心）					

二小校区【開催日時：平成 25 年 9 月 19 日(木) 18：00～20：00】

A 班ででた意見	① 2 人	② 2 人	③ 0 人	④ 1 人	⑤ 1 人
①と②について …専門知識がない、時間の余裕がない、金銭的負担ができない。 安心できる。 ②の進行形→⑤の入所					
⇒A 班の結論 ①もしくは② 但し、金の余裕のない人はどうなるか？どうすればよいか？					

B 班ででた意見	① 1 人	② 0 人	③ 2 人	④ 2 人	⑤ 0 人
①…老後のお金を貯めておく ③…頼む人を決めておく。 友人に頼む。 ④…国・府・市が責任をもって対処してほしい。 費用の上（面）から 市民後見または社協と町会・民生委員で討議をしてもらう。					
⇒B 班の結論 ①③④					

C班ででた意見	① 0人	② 4人	③ 0人	④ 4人	⑤ 0人
②…専門知識、公益性。継続性がある。 1～3万円の支出であれば生活できる。 ④…その地域に住んでいる方である。 ある程度の知識・思いがある。					
⇒C班の結論 ② 願望は④だが④は信用できない（面もある）					

D班ででた意見	① 0人	② 2人	③ 0人	④ 0人	⑤ 3人
②…公金を当てる。 消去法。 ⑤…公務員がやれば良い。役所をお願いする。 社会福祉法人に頼む。					
⇒D班の結論 費用、実務ともに「公」が担ってほしい。					

一小校区【開催日時：平成25年10月25日(金)18:00～20:00】

A班ででた意見	① 人	② 1人	③ 人	④ 2人	⑤ 人
④：①か②がよいと思うが、支払い能力がない場合、④がいいと思う。 市民ボランティアがあれば頼みたい ②：金銭管理がからむとボランティアをひきうけたくない ⑤：こんな思い課題は考えられない					
⇒A班の結論 ②か④がいいと思う。					

B班ででた意見	① 5人	② 人	③ 人	④ 1人	⑤ 人
①：お金で済む。遠慮がいらぬ。知らない人に頼む方がいいと思う。後々のことを考えて。トラブルが発生しにくい。 ④：お金のことを考えて・					
⇒B班の結論：①					

C班ででた意見	① 1人	② 人	③ 人	④ 1人	⑤ 2人
①市が中心となって当事者のことを良く考えてあげる。収入が低額の方、減免制度に！ ④研修を受けた市民ボランティアに頼む ⑤市の公募による市民で研修。制度に基づき認定制度を設置しては？ ⑤事前に説明ルールをつくり、本人に決めさせるのが好ましい					
⇒C班の結論：⑤					

D班ででた意見	① 2人	② 2人	③ 1人	④ 1人	⑤ 人
色々なケースがあるので、事業内容を把握し、自分なりに方向を決める。 ①か②：第3者のほうがうまくいく。金額が高い。 ③：トラブルになったときに困る ④：低額で済む。ボランティアの負担が大きい					
⇒D班の結論：④だが、責任がどこまでか？					

E班ででた意見	① 1人	② 4人	③ 人	④ 人	⑤ 人
②だと相談したい時すぐ出来る。複数の人がいるから。地域性・プロ、多くの人の目があることが不正がないと思う。 ②：事情のわかる人が良い。他の人に頼みにくい。 ①：法律のプロに頼む。費用が高い？ ③は友だちに頼みたくない					
⇒E班の結論：②安心感があり、気軽に相談できて小回りがきく					

F班ででた意見	① 3人	② 人	③ 人	④ 人	⑤ 1人
①：お金⇒信頼					
⇒F班の結論：⑤。市役所に生活保護課など、専門課を作る。					

G班ででた意見	① 人	② 5人	③ 人	④ 2人	⑤ 人
①お金がかかる。 ②所在がはっきりしている。仕事としてやってもらえる。 ③お金のことを頼むのは心配。 ④無償は申し訳ない。保証人はボランティアには重すぎる。 ④無償で頼めるから。					
⇒H班の結論：②有償の方が信頼を持てる。仕事として確立してもらえる。複数の職員だから信頼できる。					

H班ででた意見	① 1人	② 4人	③ 人	④ 人	⑤ 人
①新聞で不正があり、管理方法に不安 ②他に方法がない。所得に応じて支払いするのはいいと思う。専門家は高くつくと思うので。					
⇒I班の結論：②生活保護の法律を変える。 (低所得者の人の金銭管理をする報酬を生活保護から払えるように)					

末広校区【開催日時：平成 25 年 10 月 16 日(水) 19:00～21:00】

A班ででた意見	① 6人	② 人	③ 人	④ 人	⑤ 人
①お金が絡むと何が起るかわからないので①が安心 ①金銭が関わると個人的には出来ない ①金銭トラブルの回避 ①専門的知識がある ①友人が①でもらって良かったと言っていた ①後々問題にならないように					
⇒A班の結論 ①					

B班ででた意見	① 1人	② 4人	③ 人	④ 5人	⑤ 人
② ①が安心で信用できるが、費用がかさむので②にした					
⇒B班の結論 ②					

C班ででた意見	① 人	② 3人	③ 人	④ 1人	⑤ 1人
②金銭がかさむので ②友人に頼のむのも、頼まれたほうも大変であり信用は難しいので② ②信用、信頼、安心 後々問題発生を防げる					
⇒C班の結論 ②					

D班ででた意見	① 1人	② 1人	③ 人	④ 3人	⑤ 人
④金銭的に安心 ②バランスがよい					
⇒D班の結論 ④					

E班ででた意見	① 人	② 2人	③ 1人	④ 5人	⑤ 人
② ④は信用の問題があるので② ④ 責任ある研修をされていると考える					
⇒E班の結論 ④					

F班ででた意見	① 人	② 6人	③ 人	④ 人	⑤ 人
②安心感がある ②社会福祉法人だから安心 ②金額が安く安心 ②は利益を得る団体ではないので安心 ②友人では、心変わりや、長生きしたときに安心できない					
⇒E班の結論 ②					

G 班ででた意見	① 2人	② 2人	③ 人	④ 1人	⑤ 1人
①専門家に頼む安心 ②安心できる ④研修もあり、低額 ⑤まず隣近所に相談してから					
⇒E 班の結論 ②					

長滝校区【開催日時：平成 25 年 10 月 30 日(水) 7：30～9：00】

A 班ででた意見	① 人	② 2人	③ 人	④ 5人	④ 人
②所得に応じて支払う ④ 研修を受けたボランティアだから 年金生活のため ボランティアの人なので気安くお願いできるし、お金についても高くないと思う 無償や低額					
⇒A 班の結論 ④研修を受けたボランティアだから					

B 班ででた意見	① 3人	② 3人	③ 人	④ 1人	④ 人
① 専門分野でもある。プロの知識に任せる ② 安価 社会福祉法人で老人介護施設を持っているところ入ったらいいのでは 当人の生活状況を知っている人が望ましい ④ お金の問題があるので友人知人では不安かなあと思う。行政よりは市民ボランティアのほうが頼みやすい					
⇒B 班の結論 ②ある程度の専門分野の方に頼み報酬の問題もあるので信頼のできる行政に頼むのが望ましい					

C 班ででた意見	① 人	② 2人	③ 人	④ 3人	⑤ 1人
② 安価で法人であり、個人では金の扱いは難しい ② 複数の職員がいる点が安心できる ④ 安くつく ④ 身近なこととして捉えるようになる ⑤ 市役所で管理部門をつくる					
⇒C 班の結論 ④					

D班ででた意見	① 1人	② 6人	③ 人	④ 人	⑤ 1人
③ ④は負担が大きい ④ ④は実際問題としてむずかしい ① は費用が高すぎる					
⇒D班の結論 ②親子でも金銭管理については問題が生じる。だから友人やボランティアでは無理→公的なところで					

E班ででた意見	① 1人	② 1人	③ 2人	⑥ 1人	⑦ 2人
① 犯罪のことを考えたら ② 理想は③無理なら② ⑤ すべての手続きをわかりやすくする（複雑すぎる）→簡単に理解できるよう					
⇒E班の結論 結論が出ない。④は無理です。保険制にする。					

F班ででた意見	① 人	② 8人	③ 人	④ 人	⑤ 人
② 所得に応じた報酬だから ② みんなで管理してくれるから ② もめごとになるといけないので無難な選択 ② 気を使わずに頼める ② 法人後見は信頼もできるし金額妥当					
⇒F班の結論 ②もめごとになりにくい。法人だから信頼できる 理想はボランティアが無償でできたらよいが、もめごとになると難しい（長引く）					

南中校区【開催日時：平成25年11月15日(金)19:00~21:00】

A班ででた意見	① 2人	② 2人	③ 1人	④ 人	⑤ 人
①所得に応じた報酬で良い。特に金銭の件で騙されないような気がする。 ②法人を社協として、成年後見制度を活用する。①より気軽に、③④より安心だから。 ③友人だと気軽に質問も頼みごとにも出来る					
⇒A班の結論 ② 自分自身が知的障害があるので、公的な人をお願いする方が良い。①の人達よりも気軽に頼める					

B班ででた意見	① 2人	② 1人	③ 人	④ 1人	⑤ 1人
①②④お金のことなので、他人や友人には頼めない ⑤誰も信用できない。夫婦でも信用できない。					
⇒B班の結論 ① 他人は信用できないから					

C班ででた意見	① 2人	② 人	③ 人	④ 1人	⑤ 人
①大事なものを管理してもらうため。いろいろな事があるので専門の人が安心できる。 ④研修を受け、ボランティアでする意識の高い人					
⇒C班の結論 ①					

D班ででた意見	① 1人	② 2人	③ 人	④ 2人	⑤ 人
③ やっぱりお金に応じた対応をしてくれると思う ②年間でまかなう範囲で低額で受けて、安心 ④年金暮らしやから、年金でまかなえるから					
⇒D班の結論 ②					

E班ででた意見	① 2人	② 2人	③ 人	④ 人	⑤ 1人
①当然！税金を使う、責任が問える、プライバシーの保護 ②信頼性がある、他の方法は騙されそう、安心だと思う ⑤元気な時に財産を国が管理し、必要な時に出す					
⇒E班の結論 ② 信頼性と安心					

F班ででた意見	① 人	② 人	③ 人	④ 2人	⑤ 4人
④1人ではなく、何人かで行う、認知症の対応等で、1人での担当、判断は無理 ⑤役所に窓口をつくる、医師の判断、行政の対応、後見人利用でも自由に財産が使えなかったりするので用途によって変化が必要か					
⇒E班の結論 ⑤ 複数の後見人で支援する					

G班ででた意見	① 1人	② 1人	③ 人	④ 人	⑤ 人
①弁護士料が高い ②社会福祉法人だから信用できると思う					
⇒E班の結論 ② 社会福祉法人の人に頼む					

日根野校区【開催日時：平成 25 年 11 月 5 日(火) 19:00～21:00】

A班ででた意見	① 人	② 3人	③ 人	④ 1人	⑤ 人
②安心できる ②頼みやすい ④支払い能力がなければ、④に頼むのが良い					
⇒A班の結論 ②					

B班ででた意見	① 人	② 3人	③ 1人	④ 人	⑤ 1人
②プロがいる ②無料より安いものはないので少しでも支払いたい ②少しでも安価で、仕事としてやってもらえるほうが動いてもらやすい ③自分に判断しかねる ⑤介護保険で対応できないか					
⇒B班の結論 ②					

C班ででた意見	① 人	② 2人	③ 人	④ 1人	⑤ 1人
②所得に応じたところ ②友人やボランティアだと最初は良いが、後々ややこしい ④出来るだけ無償がよい（もしくは低額） ⑤本人の考えとか金銭を考えた場合①～④は選べない					
⇒C班の結論 ②					

D班ででた意見	① 1人	② 4人	③ 人	④ 人	⑤ 人
①専門家だから ②の法人の職員を信じている ②法人格で安価な報酬 ②一番頼みやすい ②運営費を税金や社会保険料で補う必要があるとしたらいいが、不正があってはならないので管理、監督、監査を厳しくする必要あり。					
⇒D班の結論 ②					

E 班ででた意見	① 2 人	② 2 人	③ 人	④ 2 人	⑤ 人
① 認知症の周辺症状に対応するのは負担が大きいので ① お金を持って新でもしょうがない ② 福祉のことをよくわかっているから ② 複数の職員に話しをきけるため ④ 経済力があるかどうかの問題 ④ ①は研修する必要有り ②奉仕の精神があるかどうか					
⇒E 班の結論 ②					

F 班ででた意見	① 2 人	② 4 人	③ 人	④ 人	⑤ 1 人
①個人では責任が重い。専門性が高いほうが安心できる ①金銭管理の問題だから ②個人に頼らない / ②社協は健康面も一緒に見てもらえる ②しかるべき選択 ⑤所得に応じ市役所、国がアイデアをだす					
⇒E 班の結論 ②					

G 班ででた意見	① 人	② 5 人	③ 人	④ 1 人	⑤ 人
②法人格のほうが安心感がある ②低額で安心 / ②信頼できる ④いろんな事が身近にすばやく頼める					
⇒E 班の結論 ②					

H 班ででた意見	① 4 人	② 2 人	③ 人	④ 人	⑤ 人
①専門家に任せたほうが事故がすくない ①高くつくが後になってトラブルを 100%近く避けることが出来る ②②に頼み税金や社会保険料については市に手続きを依頼					
⇒E 班の結論 ① ②					

I 班ででた意見	① 人	② 3 人	③ 1 人	④ 1 人	⑤ 1 人
②信頼性がたかい / ②ある程度の安心と金銭面 / ②報酬金額が安い ③本人が納得するから ④低額ですむ ⑤まずご縁、公的サービスは最低限					
⇒E 班の結論 ②					

上之郷校区【開催日時：平成 25 年 10 月 22 日(火) 19：00～21：00】

A班ででた意見	① 人	② 2人	③ 人	④ 4人	⑤ 人
②報酬を支払うことで責任感を持つ					
④無償はダメ。たくさんのボランティアが関わって力を合わせるシステム作り					
⇒A班の結論 ④					

B班ででた意見	⑤ 2人	⑥ 人	⑦ 1人	④ 1人	⑧ 人
② 後日のトラブルを避けるため					
③ 報酬が支払えない人もいる					
④ 専門家にもボランティアとして参加してもらう					
⇒B班の結論 ①（費用減額が条件）					

C班ででた意見	⑥ 4人	⑦ 1人	⑧ 1人	⑨ 1人	⑩ 人
③ 専門家であれば安心。認知症や障がいのある金銭管理は専門家に限る。 トラブルの発生とその処理。					
④ 報酬を支払えない場合は国費充当。					
⑤ 友人が支払えるかどうか。					
⑥ 町会で町民の世話をする。					
⇒C班の結論 ①					

大土校区【開催日時：平成 25 年 11 月 1 日(金) 19：00～21：00】

A班ででた意見	① 3人	② 人	③ 人	④ 2人	④ 人
①保証人は個人にはたのめない 信頼できる					
④低額で頼める					
⇒A班の結論 ①					

B班ででた意見	① 5人	② 1人	③ 1人	④ 1人	⑤ 人
①どっちがいいかをふりわける機関が必要					
②弁護士でも信用できるか不安 税金で報酬を支払うのもしかたない					
③友人親戚信用できるか不安					
④所得の無い人には					
⇒B班の結論 所得のある人は①、所得のない人は④ どちらにあてはまるか振り分ける公共の機関が必要					

C班ででた意見	① 1人	② 2人	③ 人	④ 2人	⑤ 人
①信用がある ②今後も増えるのであれば、③④では限界がある ③④は気を使う ①は确实だが身近にいない 信用がおける ④年金が少ない					
⇒C班の結論 ②個人よりも団体、団体の中でも信用がある団体に依頼したい					

D班ででた意見	① 3人	② 1人	③ 人	④ 1人	⑥ 2人
①動いて頂きやすいと思う 何事かあるときは①はスッキリする（頼りになる） ⑤機関保証の制度増設					
⇒D班の結論 ①					

【再掲】選択肢について

金銭管理・契約支援（成年後見制度）の担い手について

選択肢①＝専門職後見	選択肢②＝法人後見
選択肢③＝後見制度を利用しない支援	選択肢④＝市民後見
選択肢⑤＝その他	

※ワークの時間設定上、単純化して選択していただきました。

ボランティアセンター座談会

平成 25 年 9 月 25 日 (水) 14:00～16:00

(重複している意見は省略しています)

地域（ボランティアセンター含む）のいいところ

泉佐野市にあるいい環境	
場所がしずか	自分の住んでいる所
田んぼが多い	畑があることがイイ
山と海がある	山の幸にも海の幸にも恵まれている（複数）
魚がおいしい	おいしい食材で恵まれた町です
野菜が豊か	気候が温暖
物価が安い	泉佐野は昔から生活しやすい
買い物が便利	交通が便利
関西空港があって外国へ行けます	関西空港の世界に自慢してみたい
災害が少ない	
災害が少ない（今のところ）	災害が少なく住みやすい
大きな災害がないこと	台風がなく生活しやすい
近隣間の仲が良い	
年寄りが多くて何事も相談してくれる	人情味のある街
助け合いがある	皆さんがとてもやさしく親切です。
何事も仲良く暮らす所	おもてなしの心
（夫婦）2 人とも聴覚障がいですが、何かあったらおとなりの方がしらせてくださる。 インターホンが光ってわかる	私の地区は高齢者町です。みんなで助け合いをめだしています
みんなとなり近所仲が良い	泉佐野の人は親切で明るい人が多い。 住みやすいです。
コミュニケーションがよくとれること	近所同士の付き合いが良い （年齢構成が近い）
住民が元気・健康づくりにとりくんでいる	
高齢の方々の「カラオケ」頑張っています	住民の方が元気
内海周りのウォーキング	末広公園朝早くラジオ体操
仲良くウォーキング	健康の源
ウォーカーが多い	
ボランティア活動のよいところ	
ボランティア先での人たちとの時間が楽しいです	お年寄りの笑顔
音楽療法で自分も楽しませています	初めてのボランティアで楽しかったです

ボランティアセンターがあること	ボランティアセンターが、気楽に行ける。 色んな方とふれあえる。
年齢の近い人が多い	ボランティア同士が仲良しです
聴覚障害の私でも、できることがいっぱいある	手話ができる方がいらっやって、サポートしてくださる
活動先が明るく親しみやすい雰囲気です	活動先の皆さまの笑顔が大好き
活動先は絆を大切にいつも楽しく参加しております	
ボランティア活動が充実している	
趣味の活動がある	ボランティアが多い
子育ての活動	ネット活動が活発
赤ちゃんのお守り	
参加者の住む地域にある社会資源のよいところ	
日根野地区・日根野神社がありお正月はにぎやかです。	小学校が近くにあり毎日子供の元気な顔が見える
公園が近い（末広公園）	大きな救命救急センターが有るので安心です。

地域（ボランティアセンター）の課題・困りごと

動物についての困りごと	
飼い主さん 犬のフンをとってほしい	ペットの糞の後始末の件
犬の散歩でフンの放置 犬のフンの始末をしない人が多い	犬の排泄の後始末 （ビニール袋にいれて捨ててある）
犬のこと	犬猫のフン害が多い
捨て猫が多い	野良猫にエサをやる人がいる
ゴミについて	
ゴミのポイ捨て	不燃物の不法投棄が多くなった
町内会のクリーン作戦 参加する人しない人決まっている	ポイ捨て等マナーが悪い
他市に比べるとマナーが悪い（汚い）	
治安が悪い	
治安が悪い	古紙を回収してもらう日、新聞紙を置いたら誰かが 持って行ってしまう
道路や交通についての問題	
坂が多い	道のせまい所が多い
地域整備が遅れている	外灯が少ない
車が多いところがある	高速道路がついたため、排気ガスで困る

自動車が多いこと	無断駐車が多い
信号無視	散歩の時、話し合いのおしゃべり
自転車に乗っている人のマナーが悪い (電話をしながら、など)	
少子高齢化	
ボラセンに若い人がいない	地域ボランティア、年寄りが多くなりました
高齢者世帯が多い	10年後・20年後、要介護老人ばかりになる
高齢化対策。子どもがいない	若い人が結婚しない
不便なこと	
ボランティアで行く施設が自分の所から遠い場所が多い	市役所に行くのに便利が悪くてこまっている
バスの回数が少ないので不便です	お買い物不便
銭湯が少ない	昔からのお店が少なくなった事
災害への不安	
防災の具体的な話し合いがあまり行われていない	1人暮らしの人が多いため災害が心配
避難所遠い	
地域の付き合い・関わりが減っている	
転居してきた人との接点がないこと	新しい家の人は町会に参加しない
町会に入っていない人が多い	近隣のコミュニケーションがとれない
家族葬が多いので近所でも分からない	地域の回覧板やポスターを見たら活動がわかるがなかなか会合とかにはいけない
障害者(家)に対する思いやり。 例：町内会の行事、 集会などの知らせはほとんどない	障害者だからといって差別しないで！
泉佐野市の景気低迷	
産業が低迷している	町の活気がない。店が閉まっている
赤字財政である	

こんな地域になったらいいな

互いに仲の良い親切的な町	
お互いにコミュニケーションがとれている	親切的な人が多い
お年寄り・子どもを大切に出来る町に	皆さん仲良く楽しい毎日が過ごせます町に
周りの人にあたたかい町。バリアフリー	誰もが嫌な思いをしない町
地域の人同志の仲が良い	挨拶する人が多い
ひとりひとり相手の気持ちになったらいいな	

楽しく笑顔の町	
楽し暮らしやすい町	安心して住める街
笑顔のたえない町にしてほしい	笑顔いっぱいの町
市の経済的な発展	
お金のがのこればいいのに	豊かな生活ができる市
財政黒字を願う	財政健全化された市
観光地として発展できるまち（山手に）	地場産業祭りを年 1 回
町の活性化。もっといいところを啓発してほしい	名所をつくる
土産売り場がたくさんあればなあ	
道路やインフラの充実	
歩道を広くして、また、平らにしてほしい	自転車道の整地を望む
道路が整備されればよい	区画整備が出来たら明るい街になる
外灯の充実	下水道が整備されれば良い
公園をもう少し欲しい	子供が遊ぶ広い場がある町
近くでスポーツ観戦ができる設備がほしい	
移動しやすい町	
コミュニティバスの方向は一方でなく反対方向もほしい	足になる車が安くてあればなあ
交通費が安いと良いのに	交通の便利の良い所
町の美化	
住んでいるまわりをきれいに	駅周辺の美化をすすめてゴミのない町
ゴミのない町	きれいな街
空き地の雑草をこまめにとって	
緑の多い町	
緑が多い町になれば良い	緑の多い公園があってほしい
緑が近い多い街	
市民が集える活動がある	
地域的な活動。山又は海 人が集まる場所がほしい	市民が一同になって活動する行事が多くあってほしい
老稚園が欲しい	
治安やマナーの向上	
駅の自転車をとりしめしてほしい	若い人が自転車に（乗る時に）気をつけてほしい
自転車のマナーをよく	スーパーも、視覚障害者の点字ブロックに自転車を置かないように時々、チェックしてほしい（コープ）
マナーをもっと守ってほしい	治安が良くなってほしい
医療の充実	
眼科あったらいいな	りんくう病院（市立病院）を一般に開放してほしい

腕のいい医者がほしい	
その他	
若い人達が多く住む町	子供が多い町
社協さんに高齢者向けの講座を地域等を開いてほしい	静かで何事も起きないので良いなー
消費税増税をやめてほしい	ゴミ袋のお金が安くなったら

こんなボランティア活動がしてみたい

ボランティアが楽しめる活動	
楽しい活動があれば・・・	無理のない楽しい活動
支援しながら自分みがきもできるボランティア	
相手に喜んでもらえる活動	
相手によろこんでもらえる活動	認知症の方が喜んでいて顔をみたらつづけて行きたい気持ち
さびしい人の話をじっくり聞いてあげたい	
ボランティア活動先	
施設の受け入れがよい所へ行きたい	雨がふっても行ける所がよい
近い所がよい	
災害ボランティア活動	
災害ボランティア	被災地域（和歌山や京都、台風）にボランティアに行ってみたい
子供・若者と一緒の活動	
子どもとふれあえる活動（世代間交流）	子供達ともっとふれ合って歌体操をしてみたい
若い人や学生さんと共にしたい	青少年の健全育成（道徳や教育）
若い人たちと一緒に活動したい	若い人との交流もあって良いのにね
老若男女の集い	
具体的な活動メニュー	
独居老人宅の訪問	高齢者の食生活の改善のお手伝い
家内の簡単な作業	高齢者・身障者の買い物・通院 etc の手伝い
ひとり暮らしの人の食事作りたい	あいさつ運動
ハイキング	囲碁の対局（私の実力不足で今の所は無理）
小鳥がさえずり花が咲き誇り人の笑顔のあふれる町につながる活動 （コスモポリスに花を植えたりする活動）	昔のように朝のラジオ体操に参加ができれば
今の活動に満足している	
今のままで十分です。	今のままでいいです。
今日のこの活動がいい	

その他	
若くないので希望するボランティアが出来ない	健康第一元気で生きること
全て国の出来ることでボランティアのない国になれば良い	民生委員とボランティアとの線（境）
何でも出来る	各地域にボランティアセンターを設置してもらいたい（公民館）
木馬園ひと筋	

当事者団体座談会

平成 25 年 9 月 27 日 (金) 13:30~15:30

(重複している意見は省略しています)

当事者座談会での意見抜粋

(重複している意見は省略しています)

当事者団体を運営していく上での組織や地域の強み

団体になることでの発信力	
病院との連携が出来る	行政とつながりやすい
ドクター、看護師へ情報を伝えることができる	病院のドクターや他職種の人と知り合える
町単位では難しいクラブ活動ができる	
会員間のつながり	
入会する事により話す場	親睦を深められる
孤立しない	見守られている
近いので会いやすい	近くにいるので頼りになる
地元という近さ	
話すことで元気になれる。安心して話せる	相談しやすい
情報交換ができる	会うとほっとする
患者の気持ちをわかりあえる	聞きづらいことが安心して話せる
患者しかわからないことが聞ける	自分たちのことを理解してくれる人に多く会える
子だけでなく、家庭の話もわかってもらえる	経験者の方の話を聞ける
多世代の人と知り合いになれる	
親どうしが仲がいい	子供同士も顔見知りが多い
親睦を深められる	会員同志のつながり強い
同じ趣味の集まり	連合会の和
周囲の協力	
マンションの人々が理解して接してくれる	声をかけてくれる（あいさつ）
活動していることが病院内に掲示できる	
活動がもたらす会員への影響	
楽しく過ごせる	介護予防になる
地域へのメリット	
地元長生会の活動活発	地元の団体の活性化につながっている
長生会さんどうしの連携が有る	地元の見守り隊の結成に大きく尽力している

当事者団体を運営していく上での課題や困りごと

入会してくれない	
連合会会員減少	入会してくれない
自主的な入会者ない	声かけがなければ入会しない
会員が少なくなり淋しい！	もっと会の楽しさを知ってほしい
会の認知は市内でどれくらいあるかな・・・	必要な時に必要な人に必要な情報が行きわたらない
身体障害者の方の参加が少ない	身体障害の方など、移動がたいへん参加しにくい
小さいお子さんをお持ちの方が会に入ってくれない	同世代の会員は少ないかも・・・
成人になっている子供の付き合い方がむずかしくなった。	60 歳こえてすぐの人はちょっとゆっくりしたいと思う人が多い
会の運営費がたいへん（会員数減）	ボランティアとしての限界（人的・費用負担）
行政からの助成が少ない	
役員負担が大きい	
役員なるのが嫌がる	会長の負担多く申し訳ない
役員さんにまかせる事が多い	役員負担が大きい
役員さんの負担は大きい。でも・・・	
会員が多様で集約が難しい	
年齢・障がいの種類がさまざまなのでイベント考えるのが難しい	定期行事など児童中心になる事が多い
子供の年齢があがり、余暇の過ごし方が違う	全員の意思の集約が難しい
会員への支援の課題	
厳しい状態になった人への対応が難しい	命と向き合うことを理解する難しさ
親の体調で参加する日数が少なくなった	子供の体調次第で参加できない時が多い
障害の種類が違いわかってあげられないが話をきいて勉強になる	
地域の課題	
検診に行かずに放置する人がいる	障害のある子の親が亡くなった時のこと
1人1人の気持ちはかわってないが、どこかゆがんでいる	
その他	
地元にないところには情報が届かない	地元で長生会がなく入れない人がいる
“老人”クラブという名前が不評	全国共通の悩みである。他団体も一緒。
親の年齢が高い	

こんな地域になったらいいな

困った時に助け合える町	
地域で子育て・介護・見守りができる	町内の方々が見守ってくれる (声かけ、災害時)
困った時に助け合える(防災とか)	町内で避難訓練できる
きょうだいにも近所の人にも見守ってもらえているので続くように	見られてるからするのではなく、気持ちの支えあい ができる町
手助け、思いやり絆のある町	1人1人支え合える町
住民同士の交流・あいさつ	
地域住民ふれあい	あいさつする町
行っていい町と思える町。“あいさつ”のある町	
親なき後も安心して暮らせる町	
親がいなくなった後も、安心して過ごせる	親が年とっているので子供のこれからの将来の展 望見えるようにしたい
相談窓口の改善	
学校・保健所・医療の連携	問題を1つだけでなく多くの機関で解決できる仕 組み
時間外対応の必要性	1つの窓口で全てが相談できるところ (団体・会社)
介護もある障害の子もいてサポートする機関が欲しい	各機関が相談しやすい(雑談から)
相談しやすい窓口が近くにほしい	医療機関充実してほしい(近くで)
町の環境改善	
車いすの使いやすい道、場所	道幅が広い・交通しやすい(車いすやつえ)
モラル・マナーの向上	
駐車禁止を守ってほしい	犬のフン税のない町
モラル低下をくい止め、向上する町	
その他	
働き手が働きやすい(特に女性)	

当事者団体として取り組みたい活動

役員構成	
(長生会) 女子リーダーを半数以上に	今のままの楽しい会議。 ただ役員若返り早くなるといい
会長が良い人なのであまえてしまうが手伝いたい!	

講座・勉強会など	
障がいに関する勉強会をしたいと思います (成年後見人制度など)	公開講座
病院内で定期的な勉強会	病気の知識(予防含む)を伝える資料の作成・配布
新しい活動のアイデア	
長生会独自の専門相談の開設(ボランティア?) できれば出張で・・・会員さんの中でみつける	病院の相談室にコーディネーターとして活動する
入院や通院時に、子供や介護のカバーをする	長生会の方との交流もいいかも
活動上の気持ち	
子供が親よりガイドさんに行くことを喜ぶ。 子離れ、親も	
活動拠点の整備	
長生会連合会単独事務所がほしい	